

# 令和 5年度 施策評価表 モニタリング

<b>施策名</b>	310100	スマートシティ“エコポリス板橋”の推進											
<b>SDGs (関連性のあるGOAL)</b>	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	17 パートナーシップで目標を達成しよう		
<b>基本目標</b>	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち												
<b>基本政策</b>	Ⅲ-1 緑と環境共生												
<b>所管部長</b>	資源環境部長					所管課長 環境政策課長							
<b>関連所管</b>	資源循環推進課												

## 【施策基本情報】

<b>施策概要（「基本計画2025」）</b>	<b>施策のアウトカムイメージ</b>
<p>【概要】 都市の脱炭素化を図る「スマートシティ」の概念を取り入れたまちづくりを推進し、人と環境が共生する都市「エコポリス板橋」の実現をめざす</p> <p>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 [主体] 区民・事業者等 ・環境に対する関心を持ちエコライフスタイルを実践して環境保全活動に積極的に参加する ・温室効果ガス削減に向けて率先的に行動する ・ごみの減量に努め、リデュース・リユース・リサイクルを実践する ・商品包装の簡素化や資源回収に努める</p> <p>【主な取り組み】 「板橋区環境基本計画2025」が掲げる基本目標を具現化する計画である「板橋区一般廃棄物処理基本計画2025」、「板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025」、「板橋区環境教育推進プラン2025」の推進、スマートシティ推進事業の実施</p>	<p>スマートシティの実現に向けて最先端の技術の導入が進み、資源やエネルギーを効率的に使用するライフスタイルが普及している。また水素や再生可能エネルギーなどの有効なエネルギーが活用され、環境と防災の両面で持続可能な脱炭素社会を実現するまちづくりが進んでいる。さらに、区民などのごみ減量・リサイクルなどに対する意識が高く、地域全体の連携した活動により資源循環型社会が進み、区が有する自然環境や生物の多様性が保全されている。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 環境基本計画の進捗状況	%	35.2	18.7	33.3	—	100.0
		達成率(%)	—	—	—	—	令和 7年度
	② 実証実験の件数	件	1.0	3.0	3.0	3.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—
	③	達成率(%)					
④	達成率(%)						
⑤	達成率(%)						

### 特記事項

①の計画は2016年から2025年までの10年間の計画で、進捗管理のために複数の成果指標を10年後の目標値とともに設定している。10年間の計画であるため原則各成果指標の目標値に対して1年で10%ずつ数値を改善の方向に押し上げたものを「順調」とし2年目は20%、3年目は30%…10年目には100%の改善が見られるものを「順調」と評価する。各年度の実績については各成果指標の「順調」の数を指標全体の数で割った数値である。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	37,184	31,830	31,739	35,782	61,522
事業費	千円	6,444	1,367	1,269	5,312	31,052
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	2,365	177	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	22	66	66	66
一般財源	千円	4,057	1,124	1,203	5,246	31,008
人件費合計	千円	30,740	30,463	30,470	30,470	30,470
経費	千円	0	0	0	0	0

### フルコストの増減理由

令和4年度はスマートシティの新規事業である「板橋区宅配ボックス導入助成事業」を行ったためフルコストが増加した。

<b>施策名</b>	310100	スマートシティ“エコポリス板橋”の推進
------------	--------	---------------------

**【前回の評価結果への対応状況】**

<b>前回の評価内容</b>		
評価用語／改善の方向性		
<b>前回の評価結果への対応状況</b>		
対応状況		

**【一次評価】所管部長による評価**

<b>【成果の分析】 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移</b>		
評価		
<b>【成果の分析】 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因</b>		
<b>【アウトカムの分析】 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か</b>		
評価		
<b>【環境変化の分析】 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）</b>		
評価		
<b>【今後の展開方針】 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか</b>		

**【外部評価】行政評価委員会による評価**

評価用語／改善の方向性	

**【二次評価】区の最終評価**

評価用語／改善の方向性	



# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

<b>事務事業名</b>	310100 - 001 環境基本計画推進経費		
<b>担当所属</b>	環境政策課		<b>連絡先</b> 3579-2591
<b>関連所属</b>			

## 【事務事業基本情報】

<b>基本目標</b>	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
<b>基本政策</b>	Ⅲ-1 緑と環境共生		
<b>施策</b>	310100	スマートシティ“エコポリス板橋”の推進	
<b>根拠法令要綱</b>	東京都板橋区資源環境審議会条例・東京都板橋区資源環境審議会条例施行規則		
<b>計画事業番号</b>		<b>事業期間</b> 平成 7年度 ~	<b>施設種別</b>

## 【事業概要・環境変化】

<b>事業概要</b>	<b>環境変化・備考</b>
<p>【対象】 ①板橋区資源環境審議会 ②環境白書の作成 ③ICLEI(イクレイ)への参加</p> <p>【手段】 ①板橋区資源環境審議会の開催 ②定期的な環境白書の作成 ③継続したICLEI(イクレイ)への参加</p> <p>【意図】 ①資源及び廃棄物並びに環境に関する行政の円滑な運営を図る。 ②「板橋区環境基本計画2025」に定める指標の進捗を発信する。 ③世界各国における最新情報を取得する。</p> <p>【成果】 ①環境行政全般に係る施策の推進に関し公平・公正性を担保する。 ②「板橋区環境基本計画2025」の適正な進行管理を期待できる。 ③世界各国における最新かつ多様な情報を取得することができるとともに、区の取組に関する機動的な情報発信が期待できる。</p>	<p>【現状の周辺環境】 2023年4月現在、ICLEI(イクレイ)参加自治体(東京都内)…東京都、墨田区、武蔵野市</p> <p>【備考】 資源環境審議会 設置年月 平成9年11月 構成メンバー 学識経験者4名、団体代表8名、区民代表1名、議会選出5名、行政機関1名、区職員1名 計20名</p> <p>イクレイ(ICLEI) 「イクレイ(ICLEI)ー持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会ー」は、持続可能な社会の実現を目指す2,500以上の都市や地域で構成された国際ネットワークであり、区は平成7年度より加盟している。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標年度
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	
① 成果指標	環境基本計画の進捗状況	%	35.2	18.7	—	33.3	—	—	100.0
		達成率(%)	—	—	—	—		—	令和 7年度
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							

### 特記事項

①の計画は2016年から2025年までの10年間の計画で、進捗管理のために複数の成果指標を10年後の目標値とともに設定している。10年間の計画であるため原則各成果指標の目標値に対して1年で10%ずつ数値を改善の方向に押し上げたものを「順調」とし2年目は20%、3年目は30%…10年目には100%の改善が見られるものを「順調」と評価する。各年度の実績については各成果指標の「順調」の数を指標全体の数で割った数値である。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	13,585	13,289	13,385	12,944	13,385	
事業費	千円	1,123	939	1,032	591	1,032	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,123	939	1,032	591	1,032
人件費	千円	12,462	12,350	12,353	12,353	12,353	
正職員	千円	12,462	12,350	12,353	12,353	12,353	
	人員	人	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—	

### フルコストの増減理由

令和 4年度は令和 3年度と比べ、資源環境審議会の開催回数が減ったことによりフルコストが減少した。

事務事業名	310100 - 001 環境基本計画推進経費
-------	-------------------------

**【前回の二次評価結果への対応状況】**

前回の二次評価内容	
評価評語/改善の方向性	概ね順調/事業手法の見直し
<p>事業コストについては効果の薄いと思われるものについて適切に削減できている。          また各事業の中で環境教育については特に新型コロナウイルス感染症の影響により、実施方法を工夫するなどして、デジタル情報を活用し柔軟に対応を行っている。今後は現行計画である板橋区環境基本計画2025の後継計画である第4次板橋区環境基本計画の策定の準備に向け、新型コロナウイルス感染症が環境事業に与えた影響について分析し、持続可能で効果的な事業を研究し、新たな計画の策定に繋げていく。</p>	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	検討中
<p>令和4年度は板橋区環境基本計画2025の次期計画を策定するため検討体制や予算要求の準備を行った。また感染症が拡大する中でも続けられる効果的な事業等については、今後次期計画策定を行う中で協議し検討していく。</p>	

**【一次評価】所管課長による評価**

[活動結果や成果の分析]		達成度	-
1. 活動指標の計画値を満したか	-		
2. 成果指標の計画値を満したか	-		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	-		
<p>一部の指標は、継続的に目標値を達成している。また環境教育関連の指標については、新型コロナウイルス感染症の影響が強く、まだ十分に実績が回復していないものも見られたが、前年度の実績と比べると多くの指標で改善が見られた。</p>			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		大きく寄与している	
<p>本事業を推進していくことで、中間アウトカム「環境分野におけるSDGsの認知度理解度醸成」に大きく寄与する。SDGsは国連が定めた持続可能な開発を行うための国際的な目標であり、区が推し進めている環境行政の方向性と一致している。</p>			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	A
1. コストは最適であるか	最適である		
2. コスト最適化への取組状況	-		
<p>必要な経費を常に精査しており必要最低限の経費に抑えている。</p>			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト維持/活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について	-		
<p>感染症の拡大などにより環境を保全する取り組みが可能な限り停滞しないよう、次期計画を策定する中で効果的な手法を検討していく。</p>			

**【二次評価】所管部長による評価**

評価評語/改善の方向性	概ね順調/事業手法の見直し
<p>事業コストについては必要なものを適切に精査できている。また環境教育については対面など人同士が接することが多く、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けるためまだ十分に実績が回復していないものも見られたが、令和3年度の実績よりは回復しているものが多かった。今後は令和7年度に期間満了となる板橋区環境基本計画2025の次期計画を策定する中で、新型コロナウイルス感染症が与えた取組への影響等を分析し、感染症が拡大する中でも環境の取組を可能な限り継続できるよう新たな計画の策定に繋げていく。</p>	

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310100 - 002 環境基本計画推進経費 (一般廃棄物処理基本計画)			
担当所属	資源循環推進課		連絡先	3579-2218
関連所属				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310100	スマートシティ“エコポリス板橋”の推進		
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「東京都板橋区資源環境審議会条例」「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」			
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 清掃事業を推進するうえでの、課題等</p> <p>【手段】 資源環境審議会清掃・リサイクル部会等で審議</p> <p>【意図】 区内の一般廃棄物の処理に関する計画の策定及び見直し</p> <p>【成果】 一般廃棄物処理基本計画の策定や見直し</p>	<p>【区民意識意向調査】 環境のために取り組んでいることは何かという項目では78.2%がごみの分別を心がけていると回答。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	
① 成果指標	リサイクル率(新計算方式)	%	22.5	22.5	26.0	—	—	26.7	28.0 令和 7年度
			達成率(%)	80.4	80.4	93.0	—	—	
② 成果指標	区民1人あたりごみ排出量(ごみ量+資源量)	g	658.0	645.0	625.3	—	—	616.2	598.0 令和 7年度
			達成率(%)	110.0	107.9	104.6	—	—	
③ 成果指標	資源とごみを分別している人の割合	%	—	78.2	—	—	—	—	—
			達成率(%)	—	—	—	—	—	
④									
⑤									
			達成率(%)						

特記事項

※指標①②の令和4年度実績については、持込ごみ量及び不燃ごみ・粗大ごみからの再資源化量の実績が令和5年9月に確定。  
 ※指標③については、調査(区民意識意向調査)が隔年実施のため、令和4年度の実績はなし。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	6,392	2,003	1,764	1,647	1,787
事業費	千円	4,730	356	117	0	140
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	2,365	177	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,365	179	117	0
人件費	千円	1,662	1,647	1,647	1,647	1,647
正職員	千円	1,662	1,647	1,647	1,647	1,647
	人員	人	0.2	0.2	0.2	0.2
再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0

フルコストの増減理由

板橋区災害廃棄物処理基本計画印刷完了による減

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310100 - 003 スマートシティ推進事業経費		
担当所属	環境政策課		連絡先 3579-2591
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310100	スマートシティ“エコポリス板橋”の推進	
根拠法令要綱	板橋区スマートシティ推進協議会設置要綱		
計画事業番号		事業期間	平成28年度 ~ 施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 産・学・民・官など多様な主体</p> <p>【手段】 スマートシティ推進協議会の運営及び庁内課題募集</p> <p>【意図】 既存施策や資源を効率化・最適化（スマート化）し、既存市街地における地域価値の向上と都市の再生を達成する「板橋区らしいスマートシティ」を構築し、東京で一番住みたくなるまちの実現、区民の幸福向上を目指す。</p> <p>【成果】 実証実験の実施</p>	<p>【開始時の周辺環境】 「板橋区らしいスマートシティ」をスピード感を持って実現するため、民間活力を活用し、オープンイノベーションの考え方に基づいてプロジェクトを創出する必要がある。</p> <p>【現状の周辺環境】 ICTの技術革新、官民連携プラットフォームの設立などスマートシティに関する動きが活性化し、国内外含めて多くのスマートシティが実現した。国ではスーパーシティ構想が立ち上がり、未来都市実現に向けて動き出している。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	スマートシティ推進協議会の開催	回	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	
② 成果指標	実証実験の件数	件	1.0	3.0	1.0	3.0	—	3.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
特記事項									
指標①については、令和3年12月より協議会の活動を休止している。									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	17,207	16,538	16,590	21,191	46,350
事業費	千円	591	72	120	4,721	29,880
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	0	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	22	66	66	66
一般財源	千円	569	6	54	4,655	29,836
人件費	千円	16,616	16,466	16,470	16,470	16,470
正職員	千円	16,616	16,466	16,470	16,470	16,470
人員	人	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

令和4年度は新規事業である「板橋区宅配ボックス導入助成事業」を行ったためフルコストが増加した。

# 令和 5年度 施策評価表 モニタリング

<b>施策名</b>	310200 脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進									
<b>SDGs (関連性のあるGOAL)</b>										
<b>基本目標</b>	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち									
<b>基本政策</b>	Ⅲ-1 緑と環境共生									
<b>所管部長</b>	資源環境部長			<b>所管課長</b>	環境政策課長					
<b>関連所管</b>										

## 【施策基本情報】

<b>施策概要（「基本計画2025」）</b>	<b>施策のアウトカムイメージ</b>
<p>【概要】 区民、事業者、区の各主体が省エネルギー化や再生可能エネルギー等の導入などに取り組み、エネルギー消費量及び温室効果ガス排出量の削減を図る。</p> <p>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 [主体] 区民・事業者等 ・環境に対して関心を持ち、エコライフスタイルの実践や環境活動に積極的参加をする。 ・温室効果ガス削減に向けて率先的に行動する。 ・緑のカーテンなど身近で取り組める地球温暖化対策に努める。</p> <p>【主な取り組み】 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の推進、いたばし環境アクションポイント事業の推進など</p>	<p>環境負荷低減機器等の普及拡大や省エネ行動の推進、板橋エコアクションやISO14001等の環境マネジメントシステムへの取組み、板橋中小企業診断士協会や産業連合会といった各団体との連携により、区民や事業者等の環境に関する意識の醸成が確実に図られている。また区施設で緑のカーテン事業を行うことにより、身近なところから環境活動に参加できる。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 区内温室効果ガス排出量（CO2換算）	万t-CO2	190.9	0.0	0.0	∞	162.3
		達成率(%)	—	—	—	—	令和 7年度
	② 板橋エコアクション（IEA）参加事業者数	者	182.0	182.0	185.0	∞	∞
		達成率(%)	—	—	—	—	
	③ いたばし環境アクションポイント事業CO2排出削減量	t-CO2	—	109.0	241.0	351.0	351.0
	達成率(%)	—	31.1	68.7	100.0	令和 5年度	
④							
	達成率(%)						
⑤							
	達成率(%)						

**特記事項**  
温室効果ガス排出量を算出しているオール東京62市区町村共同事業による数値の取りまとめに時間を要するため、①の令和3年度実績（数値）は令和6年5月頃、令和4年度実績（数値）は令和7年5月頃確定見込

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	47,419	67,946	71,284	67,586	81,571
事業費	千円	22,495	26,780	30,108	26,410	40,395
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	0	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	1,000	1,000	1,000	1,000
一般財源	千円	21,495	25,780	29,108	25,410	39,395
人件費合計	千円	24,924	41,166	41,176	41,176	41,176
経費	千円	0	0	0	0	0

**フルコストの増減理由**  
「いたばし環境アクションポイント事業」拡充による消耗品費・委託費の増

<b>施策名</b>	310200 脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進
------------	----------------------------

**【前回の評価結果への対応状況】**

<b>前回の評価内容</b>	
評価評語／改善の方向性	
<b>前回の評価結果への対応状況</b>	
対応状況	

**【一次評価】所管部長による評価**

<b>[成果の分析] 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移</b>	
評価	
<b>[成果の分析] 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因</b>	
<b>[アウトカムの分析] 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か</b>	
評価	
<b>[環境変化の分析] 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）</b>	
評価	
<b>[今後の展開方針] 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか</b>	

**【外部評価】行政評価委員会による評価**

評価評語／改善の方向性	

**【二次評価】区の最終評価**

評価評語／改善の方向性	



令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310200 - 001 板橋区環境マネジメントシステム推進		
担当所属	環境政策課		連絡先 3579-2591
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310200 脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進		
根拠法令要綱	板橋区環境マネジメントシステム文書、エネルギーの使用の合理化等に関する法律(省エネ法)、地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例(東京都環境確保条例)等		
計画事業番号	事業期間	平成 9年度 ~	施設種別

【事業概要・環境変化】

<p><b>事業概要</b></p> <p>【対象】 環境に係る区政運営全領域</p> <p>【手段】 国際規格ISO 14001の認証を受けた「板橋区環境マネジメントシステム」を運用。この他、「エコポリス板橋」推進本部、内部環境監査、省エネ法等に基づく各種エネルギーデータ等の集計、報告業務等を実施、区施設の廃棄物の処理、古紙等の資源化を当課において一括で処理業者と契約し一元的に管理</p> <p>【意図】 認証機関からの評価を受けることで、区内部組織や区内事業所への環境活動のアドバイス等へ繋げる。また、環境目標を設定し、取り組むことで環境意識の向上へ繋げる。</p> <p>【成果】 CO2排出量の削減や環境負荷軽減への取組を継続</p>	<p><b>環境変化・備考</b></p> <p>【現状の周辺環境】 ISO 14001の認証取得により、環境マネジメントシステムの適切な運営と地域へのアドバイスやノウハウの提供を行うことができる。</p> <p>【他自治体との比較】 23区の取得状況⇒板橋区(計1区)</p>
---	---

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	ISO 14001外部審査	回	1.0	1.0	1.0	1.0	100.0	1.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 成果指標	区の事業活動に伴って生じたエネルギーの消費量	GJ	589,821.0	628,636.0	554,058.0	0.0	0.0	554,058.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 成果指標	区の事業活動に伴って生じた温室効果ガスの排出量	t-CO2	24,898.0	27,151.0	18,906.0	0.0	0.0	18,906.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
④									
⑤									

**特記事項**  
②③について、まだ令和4年度実績は排出係数が発表されていないため、現時点では算出できない(令和5年8月頃発表予定)  
【単位説明】②の「GJ」は「ギガジュール(ギガは10の9乗)」で熱量や仕事量を表す際に用いる。③の「t-CO2」は「トンカーボン」で二酸化炭素排出量を表す際に用いる。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	30,844	32,876	35,181	31,369	34,153
事業費	千円	18,382	20,526	22,828	19,016	21,800
特定財源	千円	0	0	0	0	0
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	18,382	20,526	22,828	19,016	21,800
人件費	千円	12,462	12,350	12,353	12,353	12,353
正職員	千円	12,462	12,350	12,353	12,353	12,353
人員	人	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

事務事業名	310200 - 002	地球温暖化防止対策
担当所属	環境政策課	連絡先
関連所属		3579-2622

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち	
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生	
施策	310200	脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進
根拠法令要綱	エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）、地球温暖化対策の推進に関する法律（地球温暖化対策推進法）	
計画事業番号	020	事業期間
		～
		施設種別

【事業概要・環境変化】

<p><b>事業概要</b></p> <p>【対象】</p> <p>①いたばし環境アクションポイント事業：区民、区内事業者                  ②ウォーターサーバーの設置：区民、区職員                  ③ゼロカーボンシティ表明の普及・啓発：区民、区内事業者、区職員                  ④「食」による地産地消でゼロカーボンいたばし2050アクション：区民</p> <p>【手段】</p> <p>①いたばし環境アクションポイント事業：電気・ガスの使用量の削減量に対するポイント（区内共通商品券等と交換可能）付与                  ②ウォーターサーバーの設置：ウォーターサーバーを設置し、マイボトル活用機会を増やす。                  ③ゼロカーボンシティ表明の普及・啓発：木製バッジの作成・販売、EV用マグネットステッカーの作成                  ④「食」による地産地消でゼロカーボンいたばし2050アクション：プラントナー等を区民へ配付し、区民自らが食品の地産地消を体験する。</p> <p>【意図】</p> <p>①いたばし環境アクションポイント事業：家庭や事業所におけるCO2排出量削減に向けた省エネ行動等の推進                  ②ウォーターサーバーの設置：無料で使用できるウォーターサーバーを設置し、ペットボトルを使用しない行動変容を促す。                  ③ゼロカーボンシティ表明の普及・啓発：脱炭素社会実現に向けた区の取組の周知を図る。                  ④「食」による地産地消でゼロカーボンいたばし2050アクション：「食」を通じて区民の環境に対する意識改革、行動変容を促す。</p> <p>【成果】</p> <p>①いたばし環境アクションポイント事業：区内のCO2排出量を削減                  ②ウォーターサーバーの設置：プラスチックの生産等で排出される温室効果ガスの削減                  ③ゼロカーボンシティ表明の普及・啓発：区民や地域、事業者の環境配慮行動を促進する。                  ④「食」による地産地消でゼロカーボンいたばし2050アクション：ゴミの減量及び温室効果ガスの削減</p>	<p><b>環境変化・備考</b></p> <p>【現状の周辺環境】</p> <p>①いたばし環境アクションポイント事業                  区内の温室効果ガスはCO2が90%を占め、そのうち家庭と事業所からの排出量が約80%を占めている。                  ②ウォーターサーバーの設置                  令和4年度は区施設に4台を設置した。</p> <p>【他自治体との比較】</p> <p>①いたばし環境アクションポイント事業                  23区内においては世田谷区などで同様の事業を実施している。                  ②ウォーターサーバーの設置                  板橋区ほか、杉並区や足立区などにおいても同様の事業を実施している。                  ③ゼロカーボンシティ表明                  23区においては21区がゼロカーボンシティ宣言・表明を行っている。（令和5年3月31日時点）</p>
--	---

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画	目標年度
① 成果指標	いたばし環境アクションポイント事業 CO2 排出削減量	t-CO2	—	109.0	117.0	132.0	112.8	117.0	351.0
		達成率 (%)	—	31.1	33.3	37.6		33.3	令和 5年度
		達成率 (%)							
②		達成率 (%)							
③		達成率 (%)							

特記事項

指標①については、令和3年度から令和5年度において、累計351 t-CO2の削減を目指している。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	11,419	29,951	30,983	31,097	42,297	
事業費	千円	3,111	5,252	6,278	6,392	17,592	
特定財源	千円	0	0	0	0	0	
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	3,111	5,252	6,278	6,392	17,592	
人件費	千円	8,308	24,699	24,705	24,705	24,705	
正職員	千円	8,308	24,699	24,705	24,705	24,705	
人員	人	1.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	CO2削減量 (1tあたり)	千円	23.21	53.10	264.81	265.79	361.51

フルコストの増減理由

令和2年度→令和3年度：新規事業・人件費によるコストの増（消耗品費）  
 令和3年度→令和4年度：事業拡充によるコストの増（消耗品費）  
 令和4年度→令和5年度：事業拡充によるコストの増（消耗品費・委託料）

事務事業名	310200 - 002	地球温暖化防止対策
-------	--------------	-----------

### 【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容		
評価評語／改善の方向性	順調／工夫して継続	
ESCO事業やいたばし環境アクションポイント事業によりエネルギー消費量及びCO2排出量の削減については十分達成でき、省エネ行動の推進に貢献できた。 また、「板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025」に基づき、板橋区全体における温室効果ガス排出量の削減に努める。		
前回の二次評価結果への対応状況		
対応状況	対応済	
板橋区全体における温室効果ガス排出量の削減のため、令和3年度から実施しているいたばし環境アクションポイント事業を拡充し、参加者数の増加を見込んでいる。 また、職員や区民の環境に対する意識改革・行動変容を促すためウォーターサーバーの導入施設を拡大するなど、普及啓発活動も実施している。		

### 【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	A
1. 活動指標の計画値を満たしたか	-		
2. 成果指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		大きく寄与している	
地球温暖化防止対策の取組を進めることで、電気やガスの使用量を削減することができ、中間アウトカム「CO2排出量の削減」に大きく寄与する。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	A
1. コストは最適であるか	最適である		
2. コスト最適化への取組状況			
いたばし環境アクションポイント事業について、魅力ある事業にするため、事業の拡充を図っており、適切な予算額を見込んでいる。			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	工夫して継続		
2. 具体的な手段を選択してください	-		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			

### 【二次評価】所管部長による評価

評価評語／改善の方向性	順調／工夫して継続
いたばし環境アクションポイント事業において、CO2排出量の削減は十分達成でき、省エネ行動の推進に貢献できた。 CO2排出量のさらなる削減に向け、他課との連携を図り、事業を推進するよう努める。	

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310200 - 003 地球温暖化防止普及・啓発			
担当所属	環境政策課		連絡先	3579-2233
関連所属				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310200	脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進		
根拠法令要綱				
計画事業番号		事業期間	平成18年度 ~	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 本庁舎及び学校を除く区施設</p> <p>【手段】 緑のカーテン育成のためのプランター、ネット、鉢底石、苗（ゴーヤー、ヘチマ）、土のリサイクル材の配布を行う。</p> <p>【意図】 身近な地球温暖化対策として、施設の冷房使用抑制を図るとともに、区民・事業者への普及のモデル（見本）となる。</p> <p>【成果】 区施設だけでなく、一般住宅や事業所等へも普及が図られる。</p>	<p>【現状の周辺環境】 区施設で緑のカーテン事業に取り組むことで、区民の方が間近で緑のカーテンに触れたり、職員に育て方を聞くことができる。</p> <p>【アンケート・統計調査】 取組内容、育成状況、各施設の意向等のアンケートを実施。保育園や児童館では、成長の様子を施設内に掲示したり、園だより等で報告している。園児や保護者と一緒に育てることで、緑のカーテンの普及・啓発につながっている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	緑のカーテンを設置した区施設	箇所	89.0	85.0	86.0	89.0	103.5	88.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 成果指標	緑のカーテンを設置した区施設のCO <sub>2</sub> 削減量	kg	1,383.0	1,321.0	1,337.0	1,383.0	103.4	1,368.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 成果指標	緑のカーテンまちぐるみで広げようプロジェクト	登録件数	152.0	153.0	153.0	153.0	100.0	153.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
④									
⑤									
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	5,156	5,119	5,120	5,120	5,121	
事業費	千円	1,002	1,002	1,002	1,002	1,003	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
一般財源	千円	2	2	2	2	3	
人件費	千円	4,154	4,117	4,118	4,118	4,118	
正職員	千円	4,154	4,117	4,118	4,118	4,118	
	人員	人	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	CO <sub>2</sub> 削減量 (1kgあたり) 千円	3.73	3.88	3.83	3.83	3.70	

フルコストの増減理由

R4→R5 特定財源（助成金）の100万円を満額使用する場合、差額を出さずに購入することが事実上不可能であるため、一般財源より3千円追加し、購入費増となった。

# 令和 5年度 施策評価表 モニタリング

<b>施策名</b>	310300	環境教育・協働の推進					
<b>SDGs (関連性のあるGOAL)</b>	      						
<b>基本目標</b>	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち						
<b>基本政策</b>	Ⅲ-1 緑と環境共生						
<b>所管部長</b>	資源環境部長			<b>所管課長</b>	環境政策課長		
<b>関連所管</b>							

## 【施策基本情報】

<b>施策概要 (「基本計画2025」)</b>	<b>施策のアウトカムイメージ</b>
<p>【概要】                  区民・団体・事業者・学校等の各主体における環境教育・環境活動にかかる協働を推進する。                  【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】                  環境に対して関心を持ち、エコライフスタイルを実践する。地域の環境保全活動へ自主的に参加する。                  【主な取り組み】                  環境教育プラン推進、エコポリスセンター運営、環境協働推進</p>	区民は環境に関心を持って学び、学んだことを他の人に教えるとともに自ら※エコ生活（エコアクション9）等の環境保全活動を実践している。団体・事業者・学校等は地域社会を構成する一員として、地域における環境保全活動に参加するとともに、人材交流やノウハウ・場所の提供など、各主体相互の協力が進められている。 ※エコ生活（エコアクション9）とは地球温暖化防止のために日々の暮らしの中でできる9つの行動のこと。

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 人材育成に関わる環境講座参加者数	人	185.0	218.0	348.0	365.0	400.0
		達成率(%)	46.3	54.5	87.0	91.3	令和 7年度
	② エコ生活（エコアクション9）の実施状況	%	84.3	82.3	83.8	89.2	100.0
		達成率(%)	84.3	82.3	83.8	89.2	令和 7年度
	③ 環境講座受講後の知識・考え方の変化があった者の割合	%	88.1	86.4	86.4	90.9	100.0
達成率(%)		88.1	86.4	86.4	90.9	令和 7年度	
④							
⑤							

### 特記事項

【エコ生活（エコアクション9）9つの行動内訳】  
 ①冷暖房は適切に使っている（室内温度目安・夏28℃、冬20℃） ②テレビを見ていないときは消している ③照明はこまめに消し、買い替え時にはLEDランプを選んでいる ④冷蔵庫の温度は適切に設定し、開けている時間を短くしている ⑤調理の火力をこまめに調節している ⑥シャワーのお湯はこまめに止めている ⑦お風呂はできるだけ間をあげずに入浴している ⑧できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動し、車を運転するときは燃費の良い運転を心がけている ⑨マイボトル・エコバッグを使っている

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	244,408	242,568	235,101	236,346	238,818
事業費	千円	168,674	167,849	159,628	160,873	163,345
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	0	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	305	2,037	108	108
一般財源	千円	168,369	165,812	159,520	160,765	163,237
人件費合計	千円	41,540	41,165	41,175	41,175	41,175
経費	千円	34,194	33,554	34,298	34,298	34,298

### フルコストの増減理由

R3→R4（工事請負費）サマカン工事終了に伴う減等。

施策名	310300	環境教育・協働の推進
-----	--------	------------

**【前回の評価結果への対応状況】**

<b>前回の評価内容</b>		
評価用語／改善の方向性		
<b>前回の評価結果への対応状況</b>		
対応状況		

**【一次評価】所管部長による評価**

<b>[成果の分析] 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移</b>		
評価		
<b>[成果の分析] 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因</b>		
<b>[アウトカムの分析] 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か</b>		
評価		
<b>[環境変化の分析] 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）</b>		
評価		
<b>[今後の展開方針] 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか</b>		

**【外部評価】行政評価委員会による評価**

評価用語／改善の方向性	

**【二次評価】区の最終評価**

評価用語／改善の方向性	



令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

事務事業名	310300 - 001 環境協働推進経費		
担当所属	環境政策課		連絡先 3579-2233
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310300	環境教育・協働の推進	
根拠法令要綱	環境教育等促進法、環境教育推進協議会設置要綱		
計画事業番号		事業期間	平成19年度 ~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民・区民団体・事業者・学校等</p> <p>【手段】 区民団体等と協働・連携しながら、区内の環境活動を拡大させていく。あわせて、環境教育推進協議会（環境教育推進協議会設置要綱）の専門部会において、板橋区環境教育プログラムの活用及び実践のための研究を行う。</p> <p>【意図】 区民・団体・事業者・学校等の各主体が行う環境保全活動を推進するとともに、環境教育に寄与する人材を育成する。</p> <p>【成果】 エコ生活（エコアクション9）の実施率、人材育成に関わる環境講座参加者数</p>	<p>【アンケート・統計調査】 区立保育園・幼稚園・小学校・中学校を対象に、環境教育・学習に関する活動についてアンケートを実施。環境教育プログラムを活用している割合は約6割、外部人材を活用している割合は約5割であった。（令和3年度実績）</p> <p>【他自治体との比較】 環境教育等促進法第8条の規定に基づく行動計画の策定状況（23区）…3区（板橋区・足立区・目黒区）※足立区・目黒区は環境基本計画に統合</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	協働による講座・講習会等の実施回数	回	8.0	8.0	9.0	9.0	100.0	10.0	12.0
		達成率(%)	66.7	66.7	75.0	75.0		83.3	令和 7年度
② 成果指標	エコ生活（エコアクション9）の実施状況	%	84.3	82.3	86.7	83.8	96.7	89.2	100.0
		達成率(%)	84.3	82.3	86.7	83.8		89.2	令和 7年度
③ 成果指標	人材育成に関わる環境講座参加者数	人	185.0	218.0	264.0	348.0	131.8	365.0	400.0
		達成率(%)	46.3	54.5	66.0	87.0		91.3	令和 7年度
④									
⑤									
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	33,630	33,371	33,308	33,308	33,329	
事業費	千円	398	439	368	368	389	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	20	0	0	0	
	一般財源	千円	378	439	368	368	389
人件費	千円	33,232	32,932	32,940	32,940	32,940	
正職員	千円	33,232	32,932	32,940	32,940	32,940	
	人員	人	4.0	4.0	4.0	4.0	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	人材育成講座参加者一人あたり	千円	181.78	153.08	126.17	95.71	91.31

フルコストの増減理由

R3→R4 環境教育事業試行等委託（協働プロジェクト）のエコポリスセンター事業への移行による数値減等。

事務事業名	310300 - 001 環境協働推進経費
-------	-----------------------

### 【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し
令和3年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業中止や回数・定員制限等により参加者数が計画値に達しなかった。一方で、新たに環境教育実践研究部会を立ち上げ、部会で決定したプログラム実践の模様を、イメージのしやすい動画形式にしてホームページに公開する等、DXに繋がる情報発信を着実に進めてきている。今後は、リモートでの講座やSNSの更なる活用等によりDXを加速させ、コロナ禍の影響を受けない環境教育を推進できるよう、事業展開を図っていく。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
令和4年度は、コロナ制限の緩和に伴う講座参加希望者の増に合わせ、定員や回数を増やしたことにより、計画値を大幅に上回った。また、職員自らが作成した動画をSNSやイベント・講座にて紹介・活用することで、動画の再生回数を着実に伸ばし、環境への意識向上に貢献した。なお、令和5年度には、エコポリスセンターが行う講座のライブ配信を実施する予定である。	

### 【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	A
1. 活動指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上		
2. 成果指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		大きく寄与している	
Webコンテンツを充実させ周知した。中でも、動画の配信を積極的に実施したことで、様々な環境学習・活動・取組みの様子を区民により身近に、分かりやすく伝えることができ、中間アウトカム「環境に関する意識の醸成」に寄与している。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	A
1. コストは最適であるか	最適である		
2. コスト最適化への取組状況			
令和4年度より、環境教育事業施行等委託（協働プロジェクト）をエコポリスセンター事業に移行した。これにより、指定管理者のノウハウに基づいた、より質の高い環境学習を効率的に区民に提供できる見込みである。			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	工夫して継続		
2. 具体的な手段を選択してください	-		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			

### 【二次評価】所管部長による評価

評価評語／改善の方向性	順調／工夫して継続
令和4年度は、コロナによる制限の緩和と積極的な周知活動により、全面的に事業の実施回数・参加者数を回復させることができた。また、環境教育実践研究部会による実践授業の様子を動画にまとめて配信することで、教育現場の様子を多くの区民に知ってもらい、環境への意識向上のきっかけを提供することができた。今後も、区民にとって分かりやすく、親しみのあるコンテンツを積極的に発信し、より効果的な環境教育の推進を図っていく。	

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310300 - 002 エコポリスセンター運営経費		
担当所属	環境政策課		連絡先 3579-2233
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310300	環境教育・協働の推進	
根拠法令要綱	環境教育等促進法、東京都板橋区立エコポリスセンター条例		
計画事業番号	055	事業期間	平成 6年度 ~
		施設種別	環境関連施設

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民・区民団体・事業者・学校等</p> <p>【手段】 エコポリスセンターに指定管理者制度を導入することで、民間の知見やノウハウを活用して、事業を企画・実施するとともに、区民・区民団体等の活動を支援する。 ※R4年度来館者数 139,897人</p> <p>【意図】 環境に配慮した生活様式を普及・促進する。</p> <p>【成果】 区民・区民団体・事業者などが自らの環境活動を実践し、地球規模で考え行動できる「環境力の高い」人材育成が図られる。</p>	<p>【開始時の周辺環境】 「だれもが快適に暮らせる社会を目指して、地域環境から地球的規模の環境にまで配慮した生活様式を普及促進することにより、人と環境の共生する都市の形成に寄与し、もって区民の生活環境の向上に資すること」を目的に開設。</p> <p>【区民意識意向調査】 令和元年度に実施した区民意識意向調査において、「緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている」の満足度は5割近くとなっている一方、不満は1割未満。また環境のために取り組んでいることとして、「マイバッグの利用」は、2年間で5%上昇し、6割半ばの方が取り組み、環境への意識も高まっている。</p> <p>【備考】 平成24年度から指定管理者制度導入。令和4年度～「板橋エコみらいプロジェクト」(代表企業(株)小学館集英社プロダクション)</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	展示・イベント	回	573.0	753.0	802.0	802.0	100.0	851.0	950.0
		達成率(%)	60.3	79.3	84.4	84.4		89.6	令和 7年度
② 活動指標	情報提供	回	3,260.0	5,897.0	4,000.0	9,603.0	240.1	4,000.0	4,000.0
		達成率(%)	81.5	147.4	100.0	240.1		100.0	令和 7年度
③ 活動指標	イベント参加者数	人	12,817.0	24,398.0	28,674.0	32,134.0	112.1	35,256.0	41,500.0
		達成率(%)	30.9	58.8	69.1	77.4		85.0	令和 7年度
④ 成果指標	人材育成に関わる環境講座参加者数	人	185.0	214.0	261.0	348.0	133.3	365.0	400.0
		達成率(%)	46.3	53.5	65.3	87.0		91.3	令和 7年度
⑤ 成果指標	環境講座受講後の知識・考え方の変化があった者の割合	%	88.1	86.4	89.8	86.4	96.2	90.9	100.0
		達成率(%)	88.1	86.4	89.8	86.4		90.9	令和 7年度
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	210,778	209,197	201,793	203,038	205,489	
事業費	千円	168,276	167,410	159,260	160,505	162,956	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	285	2,037	108	108	108
	一般財源	千円	167,991	165,373	159,152	160,397	162,848
人件費	千円	8,308	8,233	8,235	8,235	8,235	
正職員	千円	8,308	8,233	8,235	8,235	8,235	
	人員	人	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	34,194	33,554	34,298	34,298	34,298	
減価償却費	千円	34,194	33,554	34,298	34,298	34,298	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	イベント参加者一人当たり	千円	16.45	8.57	7.04	7.08	7.17
フルコストの増減理由							
R3→R4 (工事請負費) サマカン工事終了に伴う減等。							

# 令和 5年度 施策評価表 モニタリング

<b>施策名</b>	310400	快適で健康に暮らせる生活環境の実現に向けた取り組みの推進					
<b>SDGs (関連性のあるGOAL)</b>	     						
<b>基本目標</b>	Ⅲ 安心・安全で快適な緑のまち						
<b>基本政策</b>	Ⅲ-1 緑と環境共生						
<b>所管部長</b>	資源環境部長			<b>所管課長</b>	環境政策課長		
<b>関連所管</b>							

## 【施策基本情報】

<b>施策概要 (「基本計画2025」)</b>	<b>施策のアウトカムイメージ</b>
<p>【概要】 環境汚染物質及び化学物質の適正管理の啓発、自動車の排気ガスによる大気汚染の改善等によって、快適な生活環境をめざす。</p> <p>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 [主体 区] 環境保全活動の普及啓発を図る。 [主体 区民・事業者] 排気、騒音など事業活動に伴う周辺環境への影響に配慮する。</p> <p>【主な取り組み】 公害防止、大気監視、騒音監視等</p>	<p>区が実施する事業所等への規制指導等により、それらの公害防止措置が講じられている。</p> <p>区内の環境状況を公表し、環境改善活動を啓発することなどによって、区民や事業者等の環境負荷の低減に向けた行動変容が起きている。</p> <p>これらの公害防止措置、区民等の行動変容等によって、安心、安全で快適な生活環境の推進が図られている。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 微小粒子状物質 (PM2.5) の基準値Bレベル以上の日数	日	3.0	0.0	0.0	0.0	23.0
		達成率 (%)	—	—	—	—	令和 7年度
	② 騒音に係る環境基準の達成率	%	81.2	76.4	76.9	85.0	85.0
		達成率 (%)	95.5	89.9	90.5	100.0	令和 7年度
	③ 自動車騒音に関する相談件数	件	9.0	5.0	0.0	4.0	∞
		達成率 (%)	—	—	—	—	令和 7年度
	④ 環境保全に関する事業者向け研修会を受講して意識変化があった割合	%	—	83.4	86.5	∇	0.0
		達成率 (%)	—	—	—	—	
	⑤						
		達成率 (%)					

### 特記事項

令和3年度に引き続き、令和4年度の微小粒子状物質の (PM2.5) の基準値Bレベル以上の日はなかったことから、大気環境が改善していると判断する。

近年の騒音に係る環境基準の達成率は目標値に対して約90%と、ほぼ横ばいとなっているが、これは現在の自動車単体騒音規制による効果が一巡したものと推察される。現在、国で審議されている、新たな自動車単体騒音規制の動向について注視していく。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	254,424	145,761	184,617	183,056	171,142	
事業費	千円	158,649	46,964	69,325	67,764	55,851	
特定財源	国庫支出金	千円	0	150	250	50	250
	都支出金	千円	2,530	2,320	2,349	2,289	17,160
	特別区債	千円	0	0	0	0	0
	受益者負担	千円	129	180	120	113	142
	その他	千円	0	0	590	0	0
一般財源	千円	155,990	44,314	66,016	65,312	38,299	
人件費合計	千円	95,775	98,797	115,292	115,292	115,291	
経費	千円	0	0	0	0	0	

### フルコストの増減理由

令和4年度は、令和3年度までに収集した高濃度PCB廃棄物 (疑いを含む) を処分したことから、令和3年度と比較して、PCB廃棄物処理経費が増額となった。しかし、他各事務事業において委託内容の見直し等によりフルコストが減少した。

<b>施策名</b>	310400	快適で健康に暮らせる生活環境の実現に向けた取り組みの推進
------------	--------	------------------------------

**【前回の評価結果への対応状況】**

<b>前回の評価内容</b>		
評価用語／改善の方向性		
<b>前回の評価結果への対応状況</b>		
対応状況		

**【一次評価】所管部長による評価**

<b>[成果の分析] 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移</b>		
評価		
<b>[成果の分析] 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因</b>		
<b>[アウトカムの分析] 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か</b>		
評価		
<b>[環境変化の分析] 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）</b>		
評価		
<b>[今後の展開方針] 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか</b>		

**【外部評価】行政評価委員会による評価**

評価用語／改善の方向性		

**【二次評価】区の最終評価**

評価用語／改善の方向性		



令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310400 - 001 啓発宣伝		
担当所属	環境政策課		連絡先 3579-2591
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310400	快適で健康に暮らせる生活環境の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱			
計画事業番号		事業期間	平成13年度 ~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 板橋区内の事業所</p> <p>【手段】 工場・指定作業場等の公害防止や、地球温暖化対策・省エネルギー対策など環境保全に関する研修会等による意識啓発・情報提供を行い、事業所における環境保全の啓発を実施する。</p> <p>【意図】 区内事業者に地球温暖化防止への社会的責任に対する意識の向上と環境に対する適切なリスク管理を図ってもらう。</p> <p>【成果】 区内事業者の自主的な管理、保管体制が整備され、公害防止や環境保全が図られる。</p>	<p>【現状の周辺環境】 地球温暖化防止対策の一環として、CO2排出量の一層の削減が求められている。</p> <p>【アンケート・統計調査】 中小企業においては、環境対策を担う部署が少ないことや専門知識を持った人材がいないことなど、環境への取組に対するノウハウが乏しい実態がある。本研修会参加者のアンケート結果からも本事業の需要は高い。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	環境保全研修会等の実施	回	4.0	4.0	4.0	4.0	100.0	4.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	環境保全研修会等の参加者数	人	100.0	114.0	135.0	67.0	49.6	135.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 成果指標	環境マネジメントシステム新規認証取得者数(※)	社	9.0	2.0	5.0	6.0	120.0	5.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
④ 成果指標	区の補助金を活用した事業所のCO2排出削減量	t	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
⑤ 成果指標	地球温暖化対策や公害防止等の環境保全に関する事業者向け研修会を受講して意識の変化があった割合	%	0.0	83.4	0.0	86.5	0.0	0.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—

特記事項

※環境マネジメントシステム新規認証取得者数とは、板橋エコアクション、ISO14001、エコアクション21の3種類の環境マネジメントシステムのいずれかを新規に認証取得した事業者の合計数。  
補助金事業は令和2年度をもって事業終了。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	6,316	6,233	6,235	6,235	6,235
事業費	千円	500	470	470	470	470
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	0	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	500	470	470	470
人件費	千円	5,816	5,763	5,765	5,765	5,765
正職員	千円	5,816	5,763	5,765	5,765	5,765
人員	人	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

--

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310400 - 002 公害対策
担当所属	環境政策課
連絡先	3579-2594
関連所属	

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310400	快適で健康に暮らせる生活環境の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	都民の健康と安全を確保する環境に関する条例、大気汚染防止法、騒音規制法、振動規制法、土壌汚染対策法、板橋区土壌汚染調査・処理要綱		
計画事業番号	事業期間	平成 9年度 ~	施設種別

【事業概要・環境変化】

<p><b>事業概要</b></p> <p>【対象】 工場・指定作業場等事業場</p> <p>【手段】 工場等事業場の許認可・届出、及び公害発生源への規制・指導等について、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例等の環境法規に基づき指導している。</p> <p>【意図】 公害発生の未然防止を図る。</p> <p>【成果】 工場等に由来する公害の防止は、固定発生源からの環境負荷の低減、公害苦情等の抑止等、環境保全施策を推進する上で必要不可欠な事業である。工場・事業場等に対する苦情件数は近年増加傾向から横ばいに転じており、公害指導の質の向上を図りながら、公害関係法令に基づき適正に対応している。</p>	<p><b>環境変化・備考</b></p> <p>【現状の周辺環境】 ・特別区の中でも比較的工業系の用途地域が多いが、近年では、工場等事業場の移転や廃止が増え、跡地の大規模開発に伴い住工混在地域が増えている。また、新型コロナウイルス感染予防対策に伴い在宅勤務等を行う区民が増加している。 ・国土交通省の推計によると、建物の解体等工事は増加していき、2028年にピークを迎えるとしており、これに伴い届出も増加することが予想される。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】 ・解体工事の増加に伴う、建設行為の増加</p> <p>【他自治体との比較】 法律及び東京都条例を根拠に指導等を行っているため、東京都及び特別区23区・市は統一的に公害対策を実施している。</p>
---	--

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	工場認可、届出による指導	件	1,046.0	1,055.0	1,000.0	1,165.0	116.5	1,000.0	1,000.0
		達成率(%)	104.6	105.5	100.0	116.5		100.0	令和 7年度
② 活動指標	工場相談処理数	件	212.0	201.0	225.0	173.0	—	220.0	∇
		達成率(%)	—	—	—	—		—	令和 7年度
③ 成果指標	工場・事業場等に対する苦情件数	件	242.0	225.0	220.0	228.0	—	220.0	∇
		達成率(%)	—	—	—	—		—	令和 7年度
④									
⑤									

特記事項

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	68,040	70,161	90,834	90,567	111,431	
事業費	千円	2,659	2,650	2,719	2,452	17,552	
特定財源							
国庫支出金	千円	0	150	250	50	250	
都支出金	千円	2,530	2,320	2,349	2,289	17,160	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	129	180	120	113	142	
その他	千円	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	0	0	0	0	0	
人件費	千円	65,381	67,511	88,115	88,115	93,879	
正職員	千円	62,310	67,511	88,115	88,115	93,879	
人員	人	7.5	8.2	10.7	10.7	11.4	
再任用等	千円	3,071	0	0	0	0	
人員	人	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	1日あたり	千円	186.41	192.22	248.86	248.13	305.29

フルコストの増減理由

令和3年度と令和4年度のフルコストの比較では、事業費は減少しているが、人員増に伴う人件費の増加により増額となった。

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

事務事業名	310400 - 003 大気監視
担当所属	環境政策課
連絡先	3579-2594
関連所属	

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310400	快適で健康に暮らせる生活環境の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	環境基本法、大気汚染防止法、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例、板橋区環境基本計画2025		
計画事業番号		事業期間	～
			施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 自動車公害に関わる区民や事業者</p> <p>【手段】 区内の大気汚染物質の測定・調査を実施し、結果を公表している。</p> <p>【意図】 自動車の排気ガスによる大気汚染を改善する。</p> <p>【成果】 大気環境はオキシダントを除く測定項目が環境基準を達成し、また、PM2.5のBレベル以上の日は無かった。 大気環境の改善に伴い、区民等のホームページへのアクセス数はピーク時と比較し落ち着いている。</p>	<p>【現状の周辺環境】 当課において実施した令和3年度の測定において、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、二酸化硫黄、一酸化炭素、微小粒子状物質は環境基準を満たしていた。オキシダントは年間値で環境基準を超えた。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】 東京都は、2030年の都内の乗用車新車販売に占めるゼロエミッション・ビークル（ZEV）の割合を50%まで高めるとの目標を掲げたことから、自動車排ガスの更なる減少が見込まれる。</p> <p>【区民からの意見】 令和4年度に当課へ寄せられた大気に関する区民相談は1件だった。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	大気情報システムのアクセス数	件	310,081.0	263,131.0	270,000.0	347,419.0	128.7	?	?
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	令和7年度
② 活動指標	環境情報のツイッター発信数	件	137.0	146.0	150.0	125.0	83.3	130.0	?
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	令和7年度
③ 成果指標	PM2.5のBレベル以上の日数	日	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	?
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	令和7年度
④ 成果指標	区役所の低公害車率	%	72.0	72.0	74.0	70.0	94.6	72.0	?
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	令和7年度
⑤									

### 特記事項

大気情報システムについては、令和4年度末に廃止したことから、以降の評価は実施しない。  
令和3年度は新型コロナウイルス感染症により事業等が中止になり、ツイッターによる環境情報の発信を強化したため、件数が一時的に増加した。  
令和4年度に、区役所の車両を7台減車（うち、6台が低公害車）、6台増車（うち、3台が低公害車）した。増車した車両のうち低公害車に該当していない3台の車体形状は、低公害車として指定されている車が存在していない車体形状だった。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 予算
フルコスト	千円	44,500	41,687	39,022	38,477	34,858
事業費	千円	35,707	31,807	29,140	28,595	24,976
特定財源	千円	0	0	0	0	0
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	35,707	31,807	29,140	28,595	24,976
人件費	千円	8,793	9,880	9,882	9,882	9,882
正職員	千円	7,477	9,880	9,882	9,882	9,882
人員	人	0.9	1.2	1.2	1.2	1.2
再任用等	千円	1,316	0	0	0	0
人員	人	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	1日あたり 千円	121.92	114.21	106.91	105.42	95.50

### フルコストの増減理由

大気測定室2箇所の廃止に伴う使用料及び賃借料の減額により、事業費が削減され、減少となった。

事務事業名	310400 - 003 大気監視
-------	-------------------

### 【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語/改善の方向性	順調/目標値・指標の見直し
大気環境が改善されていることから、事業の成果は順調と判断する。しかしながら、大気環境の改善に伴い区民等が大気環境の情報を自ら取得する機会が減っていることから、活動指標である大気情報システムのアクセス数については、研究する必要がある。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
板橋区の大気環境は改善傾向にある。「大気情報システムのアクセス数」に代わる新たな活動指標の設定については、引き続き検討していく。	

### 【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	B
1. 活動指標の計画値を満たしたか	70%~90%がある		
2. 成果指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	新型コロナウイルスの感染状況により事業等が中止になったため、ツイッターによる環境情報の発信を強化し、令和3年度の件数が一時的に増加した。令和4年度は件数が減少しているが、事務事業は概ね順調であると評価する。		
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		大きく寄与している	
これまで、継続的に大気環境の調査を行い、結果を公表してきたことで区民や事業者等の意識が啓発され、大気環境改善に関する行動に影響を与え、大気環境の改善に一定の成果をもたらしたと考える。そのことから、中間アウトカム「微小粒子状物質 (PM2.5) 発生削減」に大きく寄与している。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	A
1. コストは最適であるか	最適である		
2. コスト最適化への取組状況			
大気環境が改善していることから、区が管理・運営する6箇所の大気測定室のうち、2箇所の廃止を進めており、令和4年度に、この2箇所の窒素酸化物及び浮遊粒子状物質の測定を取りやめた。それに伴い、事業費を3,212千円削減した。			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	目標値・指標の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト維持/活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
近年の大気環境状況の傾向を考察し、今後の目標値の在り方等について研究していく。			

### 【二次評価】所管部長による評価

評価評語/改善の方向性	順調/工夫して継続
令和3年度に引き続き、PM2.5のBレベル以上の日数が0日であり、大気環境も改善されているため、事業の成果は順調であると評価する。	

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

事務事業名	310400 - 004 騒音監視		
担当所属	環境政策課		連絡先 3579-2594
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310400	快適で健康に暮らせる生活環境の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	環境基本法、騒音規制法、振動規制法、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例、エコポリス板橋クリーン条例		
計画事業番号		事業期間	～
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 自動車や鉄道の騒音公害に関わる区民や事業者</p> <p>【手段】 区内の自動車騒音等の測定・調査を実施し、結果を分かりやすく公表する。</p> <p>【意図】 自動車等による騒音公害を改善する。</p> <p>【成果】 騒音の環境基準の達成率は、計画値を達成出来なかったが、区民等からの道路に関する苦情件数は令和2年度から減少した。</p>	<p>【現状の周辺環境】 区が実施した自動車公害調査（騒音、定点8地点）の要請限度の達成率は、令和2年度は82%、令和3年度は94%であり、令和4年度は100%達成された。新幹線鉄道騒音については、環境基準の75dB以下を達成したが、引き続き注視していくことが必要である。</p> <p>【区民からの意見】 令和4年度に区民から区に寄せられた自動車の騒音・振動に関する相談は0件であった。航空機に関する相談は4件（すべて羽田空港の機能強化に関する問い合わせ）だった。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	騒音の環境基準の達成率	%	81.2	76.4	85.0	76.9	90.5	85.0	85.0
		達成率(%)	95.5	89.9	100.0	90.5		100.0	令和 7年度
② 成果指標	自動車騒音に関する相談件数	件	9.0	5.0	▽	0.0	—	▽	▽
		達成率(%)	—	—	—	—		—	令和 7年度
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
<p>特記事項</p> <p>道路騒音に関する相談件数が令和3年度と比較し、減少した。</p>									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	9,738	8,340	7,549	7,053	7,379	
事業費	千円	2,261	930	4,255	3,759	4,085	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,261	930	4,255	3,759	4,085
人件費	千円	7,477	7,410	3,294	3,294	3,294	
正職員	千円	7,477	7,410	3,294	3,294	3,294	
	人員	人	0.9	0.9	0.4	0.4	0.4
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	1日あたり 千円	26.68	22.85	20.68	19.32	20.22	

フルコストの増減理由

令和3年度と令和4年度のフルコストを比較すると減少となった。減少要因は、人員の見直しに伴う人件費の削減による減額である。

事務事業名	310400 - 004 騒音監視
-------	-------------------

### 【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語/改善の方向性	順調/工夫して継続
道路の環境基準の達成率について、令和2年度に引き続き、ほぼ横ばいとなっているが、これは現在の自動車単体騒音規制による効果が一巡したものと推察される。しかしながら、自動車騒音に関する相談件数は令和元年度と比較しても減少していることから、概ね順調と評価するが、目標値については、社会情勢の変化を見極めて研究していくことが必要である。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
自動車騒音の測定結果を道路管理者である国や都に対し提供している。成果指標に対する目標値の設定については、社会情勢等を十分に考慮し、引き続き検討していく。	

### 【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	A
1. 活動指標の計画値を満したか	-		
2. 成果指標の計画値を満したか	全てが90%以上		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		大きく寄与している	
自動車騒音の測定結果を道路管理者である国や都に対し提供することで、道路管理者による低騒音舗装等の騒音対策が計画的に行われており、継続的に取り組みを進めていくことで、中間アウトカム「苦情件数の減少」に大きく寄与する。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	A
1. コストは最適であるか	最適である		
2. コスト最適化への取組状況			
人員の見直しに伴う人件費の減額により、1,288千円削減した。			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	目標値・指標の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト維持/活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
現在、国で審議されている、新たな自動車単体騒音規制の動向について注視していくとともに、都が進めるゼロエミッション・ビーグル（ZEV）の進捗具合等の社会情勢を鑑みながら目標値について研究を行う。なお、測定結果について引き続き都及び国に対し提供していく。			

### 【二次評価】所管部長による評価

評価評語/改善の方向性	概ね順調/目標値・指標の見直し
近年の騒音の環境基準の達成率は目標値に対して約90%で推移し、自動車騒音に関する相談件数も年々減少していることから、事業の成果は概ね順調と評価する。引き続き社会情勢の変化を考慮し、目標値の設定をすることが必要である。	

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310400 - 005	P C B 廃棄物処理経費		
担当所属	環境政策課		連絡先	3579-2594
関連所属				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310400	快適で健康に暮らせる生活環境の実現に向けた取り組みの推進		
根拠法令要綱	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法			
計画事業番号		事業期間	~ 令和 4年度	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区が所有する高濃度 P C B 廃棄物</p> <p>【意図】 国が定める処理期限の令和 4 年度末までに、区が保有する高濃度 P C B 廃棄物を処理する。</p> <p>【成果】 区が一つの事業者として責任を果たす。</p>	<p>【現状の周辺環境】 高濃度 P C B 廃棄物の処理施設は、国の P C B 廃棄物処理基本計画により、拠点的広域処理施設を全国で 5 カ所定めている。そのうち、東京都内にある事業所で発生した安定器等については、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法施行令で令和 5 年 3 月 3 1 日までに処分することと定められている。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】 高濃度 P C B 廃棄物は、処理期限を過ぎると処分場が無くなることから実質上処分ができなくなる。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画	目標年度
① 活動指標	高濃度 P C B 廃棄物残量	トン	2.0	0.8	0.0	0.0	0.0	—	0.0
		達成率 (%)	0.0	0.0	—	—		—	令和 4年度
②		達成率 (%)							
		達成率 (%)							
③		達成率 (%)							
		達成率 (%)							
④		達成率 (%)							
		達成率 (%)							
⑤		達成率 (%)							
		達成率 (%)							
特記事項									
国が定めた処理期限である令和 4 年度末までに、区保有の高濃度 P C B 廃棄物の処理が完了した。以降の評価は実施しない。									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	109,677	7,397	29,011	28,912	0	
事業費	千円	103,861	1,634	23,246	23,147	0	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	103,861	1,634	23,246	23,147	0
人件費	千円	5,816	5,763	5,765	5,765	0	
正職員	千円	5,816	5,763	5,765	5,765	0	
	人員	人	0.7	0.7	0.7	0.0	
	再任用等	千円	0	0	0	0	
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他職員	千円	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
コスト指標	維持管理費 1 日あたり	千円	300.48	20.27	79.48	79.21	—

フルコストの増減理由

令和 4 年度は、令和 3 年度までに収集した高濃度 P C B 廃棄物 ( 疑いを含む ) を処分したことから、令和 3 年度と比較して、増額となった。

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310400 - 006 事務諸経費		
担当所属	環境政策課		連絡先 3579-2591
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310400	快適で健康に暮らせる生活環境の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱			
計画事業番号		事業期間	~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 環境保全（公害対策）事業に係る事務諸経費	

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
①		達成率(%)							
②		達成率(%)							
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	16,153	11,943	11,966	11,812	11,239
事業費	千円	13,661	9,473	9,495	9,341	8,768
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	590	0	0
一般財源	千円	13,661	9,473	8,905	9,341	8,768
人件費	千円	2,492	2,470	2,471	2,471	2,471
正職員	千円	2,492	2,470	2,471	2,471	2,471
人員	人	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0

フルコストの増減理由

令和 4年度決算は令和 3年度決算と比較し、約132千円減となっている。主な減少要因は、東京都環境公社補助金返還金の減、旧三園中継所敷地内樹木伐採及び除草シート設置の減が挙げられる。

# 令和 5年度 施策評価表 モニタリング

<b>施策名</b>	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進				
<b>SDGs (関連性のあるGOAL)</b>	     					
<b>基本目標</b>	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち					
<b>基本政策</b>	Ⅲ-1 緑と環境共生					
<b>所管部長</b>	資源環境部長		<b>所管課長</b>	資源循環推進課長		
<b>関連所管</b>	板橋東清掃事務所 板橋西清掃事務所					

## 【施策基本情報】

施策概要（「基本計画2025」）	施策のアウトカムイメージ
<p><b>【概要】</b> ごみの発生抑制と資源の再利用・リサイクルなど環境に配慮した意識啓発と資源回収を推進し、資源循環型都市の実現をめざす。</p> <p><b>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】</b> [区（行政）] ごみの発生抑制と適正な処理に取り組む [区民（家庭）・地域・NPO・ボランティア]ごみの減量に努め、リデュース・リユース・リサイクルを実現する。 [関係機関・事業者] 商品包装の簡素化や資源回収に努める。</p> <p><b>【主な取り組み】</b> 資源回収、集団回収、不燃ごみの資源化、まちの美化の普及啓発など</p>	<p>循環型社会の実現に向け、3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生利用）を推進していくために、区による資源回収の充実、ふれあい指導・大規模排出指導・環境学習等を通じた区民・事業者への意識啓発、町会・自治会等と連携した意識啓発活動並びに集団回収等の区民の自主的な活動への支援など多角的な事業が実施されている。</p> <p>また、社会全体で、ごみを出さない暮らし方や、ごみの発生源を増やさない生産方法を区、区民及び事業者等による協働の手法によって生み出す、板橋区版資源循環型都市を実現している。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 区民1人あたりごみ排出量（ごみ量＋資源量）	g	658.0	645.0	622.0	∩	∩
		達成率(%)	—	—	—	—	令和 7年度
	② リサイクル率（総資源化量÷総排出量×100）	%	22.5	22.5	22.0	26.7	28.0
		達成率(%)	80.4	80.4	78.6	95.4	令和 7年度
	③ 区民1人あたりごみ排出量の削減率（平成27年度689gに対して）	%	4.4	6.3	9.7	8.0	13.2
達成率(%)		33.3	47.7	73.5	60.6	令和 7年度	
④		達成率(%)					
⑤		達成率(%)					
<b>特記事項</b>							

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	7,445,869	7,510,429	8,095,606	7,940,803	8,591,598	
事業費	千円	5,672,224	5,743,415	6,333,093	6,171,014	6,819,338	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	17,352	0	0	8,624
	特別区債	千円	0	0	0	0	0
	受益者負担	千円	462,373	534,328	546,754	523,073	584,103
	その他	千円	297,417	444,664	445,911	641,110	610,228
一般財源	千円	4,912,434	4,747,071	5,340,428	5,006,831	5,616,383	
人件費合計	千円	1,723,547	1,716,319	1,709,231	1,716,507	1,718,978	
経費	千円	50,537	50,695	53,282	53,282	53,282	

### フルコストの増減理由

東京二十三区清掃一部事務組合経費分担金の増による中間処理経費の増等

<b>施策名</b>	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進
------------	--------	---------------------

**【前回の評価結果への対応状況】**

<b>前回の評価内容</b>		
評価用語／改善の方向性		
<b>前回の評価結果への対応状況</b>		
対応状況		

**【一次評価】所管部長による評価**

<b>[成果の分析] 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移</b>		
評価		
<b>[成果の分析] 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因</b>		
<b>[アウトカムの分析] 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か</b>		
評価		
<b>[環境変化の分析] 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）</b>		
評価		
<b>[今後の展開方針] 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか</b>		

**【外部評価】行政評価委員会による評価**

評価用語／改善の方向性	

**【二次評価】区の最終評価**

評価用語／改善の方向性	

## 【施策を構成する事務事業一覧】

(単位：千円)

事務事業名	R 4年度決算	R 5年度予算
	フルコスト	フルコスト
310500 - 001 板橋かたつむり運動推進経費	13,667	13,208
310500 - 001 食品廃棄物減量	3,164	4,203
310500 - 002 環境美化啓発経費	42,018	67,549
310500 - 003 エコポリス板橋環境行動会議、エコポリス板橋地区環境行動委員会	13,266	15,136
310500 - 004 プラスチックごみ再資源化推進経費	15,044	156,269
310500 - 005 ふれあい指導	307,391	307,370
310500 - 005 大規模建築物排出指導	4,432	4,409
310500 - 006 浄化槽指導経費	1,738	1,746
310500 - 007 集団回収	91,441	111,042
310500 - 008 東清掃事務所維持管理経費	87,893	50,024
310500 - 009 西清掃事務所維持管理経費	52,665	30,448
310500 - 010 志村清掃事業所維持管理経費	36,636	36,898
310500 - 011 中継所維持管理経費	14,743	15,751
310500 - 012 リサイクルプラザ運営経費	65,096	65,252
310500 - 013 安全衛生管理経費	34,811	34,891
310500 - 014 事務諸経費（収集総務）	29,909	37,460
310500 - 015 車両雇上	2,392,163	2,488,768
310500 - 016 車両更新・維持	295,774	301,759
310500 - 017 中継所作業運営	374,340	380,438
310500 - 018 古紙回収	212,304	218,660
310500 - 018 ペットボトル回収	354,967	358,726
310500 - 018 びん・缶回収	344,713	360,200
310500 - 018 トレイ・ボトル回収	28,226	29,151
310500 - 018 使用済小型電子機器等回収	25,318	25,703
310500 - 018 拠点回収	43,226	45,391
310500 - 018 不燃ごみ資源化	220,771	234,549
310500 - 019 し尿収集経費	10,690	12,499
310500 - 020 動物死体処理経費	13,038	14,059
310500 - 021 ごみ処理券経費	52,859	66,706
310500 - 022 粗大ごみ受付センター経費	100,866	106,709



令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

事務事業名	310500 - 001 板橋かたつむり運動推進経費		
担当所属	資源循環推進課		連絡先 3579-2258
関連所属	板橋東清掃事務所 板橋西清掃事務所		

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」		
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

<p><b>事業概要</b></p> <p>【対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民</li> <li>・区内小学1年生、小学4年生、保育園・幼稚園児</li> </ul> <p>【手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区ホームページ上での小学1年生・小学4年生向け環境啓発冊子の公開</li> <li>・東西清掃事務所、清掃車両係と連携し、小学4年生、保育園・幼稚園児対象の出前講座を実施</li> <li>・町会、自治会から推薦された区民をリサイクル推進員に委嘱し、研修を実施。任期2年。</li> <li>・啓発ポスターの掲示</li> </ul> <p>【意図】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの出し方やリサイクルへの正しい理解</li> <li>・リサイクル推進員の資質向上</li> <li>・3Rの周知と啓発</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に対する意識の向上により、資源循環型社会の構築に寄与する。</li> <li>・地域でのごみの減量、リサイクルの啓発を図る。</li> </ul>	<p><b>環境変化・備考</b></p> <p>【現状の周辺環境】</p> <p>国内のみならず地球規模で資源が効率的かつ持続的に使われる社会を実現することが目標とされている。</p> <p>【アンケート・統計調査】</p> <p>板橋かたつむり運動の認知度：「名称も内容も知っている」(7.7%) 「名称は知っているが内容は知らない」(15.8%)</p> <p>【区民からの意見】</p> <p>「劇やクイズなどにより、児童が飽きずに学ぶことができた」 「ごみの分別やリサイクルに対する意識が向上した」など（出前講座実施施設から）</p> <p>【他自治体との比較】</p> <p>啓発冊子：「北区の家庭ごみ・資源の分け方出し方」（東京都北区）</p>
---	---

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 対象指標	リサイクル推進員	人	536.0	529.0	509.0	506.0	99.4	506.0	506.0
		達成率(%)	105.9	104.5	100.6	100.0		100.0	令和 5年度
② 活動指標	小学校、幼稚園・保育園 出前講座実施回数	回	0.0	0.0	44.0	43.0	97.7	44.0	44.0
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	97.7		100.0	令和 5年度
③ 活動指標	かたつむりのおやくそくハ ンドブック発行部数	部	41,000.0	40,000.0	40,000.0	45,000.0	112.5	359,000.0	359,000.0
		達成率(%)	11.7	11.4	11.4	12.9		100.0	令和 5年度
④ 活動指標	リサイクル推進員研修会 開催回数	回	2.0	2.0	2.0	2.0	100.0	2.0	2.0
		達成率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	令和 5年度
⑤ 成果指標	小学校、幼稚園・保育園 出前講座の参加人数	人	0.0	0.0	4,000.0	2,892.0	72.3	4,000.0	4,000.0
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	72.3		100.0	令和 5年度

特記事項

令和2年度及び令和3年度小学校、保育園・幼稚園出前講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を中止した。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	14,425	14,048	13,819	13,667	13,208	
事業費	千円	3,625	3,345	3,113	2,961	2,502	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	26	26	29	22	28
	一般財源	千円	3,599	3,319	3,084	2,939	2,474
人件費	千円	10,800	10,703	10,706	10,706	10,706	
正職員	千円	10,800	10,703	10,706	10,706	10,706	
	人員	人	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—	

フルコストの増減理由

事務事業名	310500 - 001 板橋かたつむり運動推進経費
-------	----------------------------

### 【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語/改善の方向性	停滞/事業手法の見直し
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出前講座等中止した事業があったが、啓発動画を作成する等、事業手法の見直しを行った。引き続き、事業が開催できない場合における周知・啓発手段を研究していく。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
講座等は感染症対策を実施しながら開催した。	

### 【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	B
1. 活動指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上		
2. 成果指標の計画値を満たしたか	70%~90%がある		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	感染症対策のため、小学校、保育園・幼稚園出前講座では対象人数を制限して、実施した。		
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		大きく寄与している	
ごみ減量、リサイクルに対する意識啓発は、循環型社会形成の基礎となるものである。とりわけ、小学校、幼稚園・保育園出前講座等を通じて、幼少期よりリサイクルに対する意識を根付かせることにより、「循環型社会実現への協働意識の醸成」に寄与するものである。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる		
2. コスト最適化への取組状況			
保育園・幼稚園出前講座で使用するかたつむりのおやくそくダンスの音源について、YouTubeで動画を閲覧してもらい、CDの配布を行わないなどして、啓発にかかるコストを適宜見直している。			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト維持/活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
講座やイベントは、リサイクルに対する意識醸成に寄与するものであり、継続実施していく必要がある。一方で、感染症拡大時等においても事業を停滞させることがないよう、啓発動画を作成する等、事業内容を工夫して実施していく。			

### 【二次評価】所管部長による評価

評価評語/改善の方向性	概ね順調/工夫して継続
講座、イベント等でのリサイクルに対する意識啓発は今後も継続実施していく必要がある。感染症拡大時等の啓発方法についても考え、工夫して、事業の実施をしていく。	

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 001 食品廃棄物減量		
担当所属	資源循環推進課		連絡先 3579-2258
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱			
計画事業番号		事業期間	平成23年度 ~ 施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 区民、区内店舗 【手段】 講習会の実施、協力店の募集 【意図】 ごみの減量および食品ロスの削減 【成果】 生ごみのリサイクルおよび食品ロスの削減に関する普及啓発	【区民からの意見】 生ごみからたい肥講習会受講終了時における、家庭での実践希望者 (83%) 食品ロス対策関連講座受講終了時における、家庭での実践希望者 (100%)

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標年度
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画	
① 活動指標	生ごみからたい肥づくり講習会実施回数	回	1.0	1.0	1.0	1.0	100.0	1.0	令和 5年度
		達成率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	
② 活動指標	食品ロス対策関連講座実施回数	回	1.0	1.0	1.0	1.0	100.0	1.0	令和 5年度
		達成率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	
③ 成果指標	講習会参加者総数	人	58.0	74.0	80.0	73.0	92.5	80.0	令和 5年度
		達成率 (%)	72.5	92.5	100.0	92.5		100.0	
④ 成果指標	食べきり運動協力店舗数	店舗	37.0	37.0	100.0	22.0	22.0	100.0	令和 5年度
		達成率 (%)	37.0	37.0	100.0	22.0		100.0	
⑤ 成果指標	フードドライブ回収量	kg	898.0	1,538.7	1,800.0	4,766.3	264.8	5,000.0	令和 5年度
		達成率 (%)	18.0	30.8	36.0	95.3		100.0	

特記事項

コロナウイルス感染拡大防止により講習会が中止になったため、実績が減少した。  
 生ごみ排出量 (区民1人1日あたり) は、平成27年度調査時の161.7gが最新の実績である。  
 食べきり運動は令和元年度開始、フードドライブは令和2年度から地域センターに常設化した。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	3,028	2,893	3,433	3,164	4,203	
事業費	千円	536	423	962	693	1,732	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	536	423	962	693	1,732
人件費	千円	2,492	2,470	2,471	2,471	2,471	
正職員	千円	2,492	2,470	2,471	2,471	2,471	
	人員	人	0.3	0.3	0.3	0.3	
	再任用等	千円	0	0	0	0	
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0		
経費	千円	0	0	0	0		
減価償却費	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0		
コスト指標	講習会参加1人あたり	千円	16.82	38.57	42.91	42.76	52.54

フルコストの増減理由

食べきりチャレンジ運動啓発用品の増

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 002 環境美化啓発経費		
担当所属	資源循環推進課		連絡先 3579-2258
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	エコポリス板橋クリーン条例		
計画事業番号		事業期間	平成10年度 ~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民及び事業者</p> <p>【手段】 平成10年度にエコポリス板橋クリーン条例を制定し、地球環境への配慮や環境美化などに取り組んでいる</p> <p>【意図】 迷惑喫煙行為を防止し、安全で快適な地球環境の形成を図る</p> <p>【成果】 これまで地域では実践・行動していくという意識が浸透してきており、少しずつではあるが、自主的な取り組みが増えてきている。また、キャンペーンについても、今年度は新型コロナウイルスの感染対策を講じたうえで、計画どおり実施した。</p>	<p>【区民からの意見】 歩行喫煙や吸い殻のポイ捨てなど迷惑喫煙行為の防止を求める区民の声が多い。令和2年4月から改正健康増進法と東京都受動喫煙防止条例が全面施行され、路上での喫煙が増える傾向があることなどから、苦情が増加している。</p> <p>【他自治体との比較】 ポイ捨て防止、迷惑喫煙防止関連の条例は、都内23区全てで制定している 都内23区で過料を実際に科している区は、千代田区、品川区、大田区、渋谷区、杉並区、足立区（令和4年度）</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	キャンペーン開催回数	回	0.0	8.0	30.0	27.0	90.0	30.0	30.0
		達成率(%)	0.0	26.7	100.0	90.0		100.0	令和5年度
② 成果指標	路上禁煙地区内定点吸い殻月平均本数	本	722.7	626.2	950.0	589.5	62.0	950.0	950.0
		達成率(%)	76.1	65.9	100.0	62.0		100.0	令和5年度
③ 成果指標	歩きたばこ件数	件	8,774.0	8,904.0	10,000.0	8,668.0	86.7	10,000.0	10,000.0
		達成率(%)	87.7	89.0	100.0	86.7		100.0	令和5年度
④ 成果指標	クリーン作戦・ポイ捨て防止キャンペーン参加人数	人	0.0	0.0	20,000.0	16,675.0	83.4	20,000.0	20,000.0
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	83.4		100.0	令和5年度
⑤									
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 予算
フルコスト	千円	42,612	41,969	57,523	42,018	67,549
事業費	千円	32,642	32,089	47,641	32,136	57,667
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	0	0	8,624
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	32,642	32,089	47,641	32,136
人件費	千円	9,970	9,880	9,882	9,882	9,882
正職員	千円	9,970	9,880	9,882	9,882	9,882
	人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2
	再任用等	千円	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

フルコストの増減理由						
------------	--	--	--	--	--	--

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

<b>事務事業名</b>	310500 - 003 エコポリス板橋環境行動会議、エコポリス板橋地区環境行動委員会			
<b>担当所属</b>	資源循環推進課		<b>連絡先</b>	3579-2258
<b>関連所属</b>				

## 【事務事業基本情報】

<b>基本目標</b>	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
<b>基本政策</b>	Ⅲ-1 緑と環境共生			
<b>施策</b>	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進		
<b>根拠法令要綱</b>	エコポリス板橋環境行動会議設置要綱 (平成13年9月17日区長決定) 各地区で策定する「エコポリス板橋〇〇地区環境行動委員会規約」エコポリス板橋地区環境行動委員会活動補助要綱			
<b>計画事業番号</b>		<b>事業期間</b>	平成13年度 ~	<b>施設種別</b>

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p><b>【対象】</b> 環境活動を実践している団体の代表及び町会・自治会、青少年健全育成委員会、老人クラブ、商店、事業者、小・中PTAと各種団体及び個人</p> <p><b>【手段】</b> 年2回会議を開催し、情報交換・連絡調整を行って統一的な活動の方針を定める。エコポリス板橋地区環境行動委員会を構成し、清掃、その他環境活動を行う。</p> <p><b>【意図】</b> 住民による任意の環境活動が、組織的な連携を持つことにより活性化し、人と環境が共生する都市「エコポリス板橋」が実現することを目的とする。</p> <p><b>【成果】</b> 持続的な清掃活動は地道な活動だが、地域の関心が高まり、地域環境を保全していくための非常に重要な取り組みとなっている。また次代を担っていく小中学校等の若い世代への清掃活動の取り組みがまちづくりの大切さを学べる活動につながり、環境行動会議と各地区環境行動委員会が重要な役割を果たしている。</p>	<p><b>【開始時の周辺環境】</b> 環境問題は行政主導ではなく、各地区の環境行動委員会主体で独自に活動してほしいという考えから平成13年11月に上記要綱が制定された。</p> <p><b>【他自治体との比較】</b> 23区において、環境行動会議と類似の組織をつくり、環境美化や環境保全活動を行っている区は板橋区を含め6区である。</p> <p><b>【備考】</b> エコポリス板橋環境行動会議、エコポリス板橋地区環境行動委員会</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画	目標年度
① 活動指標	環境行動会議	回	4.0	4.0	2.0	2.0	100.0	2.0	2.0
		達成率 (%)	200.0	200.0	100.0	100.0		100.0	令和 5年度
② 活動指標	区内統一行動開催数	回	7.0	4.0	4.0	4.0	100.0	4.0	4.0
		達成率 (%)	175.0	100.0	100.0	100.0		100.0	令和 5年度
③ 活動指標	区内統一行動以外イベント数 (補助対象団体)	回	30.0	69.0	178.0	79.0	44.4	178.0	178.0
		達成率 (%)	16.9	38.8	100.0	44.4		0.0	令和 5年度
④ 成果指標	区内統一行動参加者数	人	0.0	2,228.0	21,000.0	16,715.0	79.6	21,000.0	21,000.0
		達成率 (%)	0.0	10.6	100.0	79.6		100.0	令和 5年度
⑤									
特記事項									

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	12,490	11,673	15,136	13,266	15,136	
事業費	千円	2,520	1,793	5,254	3,384	5,254	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,520	1,793	5,254	3,384	5,254
人件費	千円	9,970	9,880	9,882	9,882	9,882	
正職員	千円	9,970	9,880	9,882	9,882	9,882	
人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	統一行動・イベント1回あたり	千円	337.57	159.90	83.16	159.83	83.16
フルコストの増減理由							
地区環境行動委員会事業再開等による補助金の増							

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

<b>事務事業名</b>	310500 - 004 プラスチックごみ再資源化推進経費		
<b>担当所属</b>	資源循環推進課		<b>連絡先</b> 3579-2218
<b>関連所属</b>	環境政策課 板橋東清掃事務所 板橋西清掃事務所 地域振興課		

## 【事務事業基本情報】

<b>基本目標</b>	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
<b>基本政策</b>	Ⅲ-1 緑と環境共生		
<b>施策</b>	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
<b>根拠法令要綱</b>	「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」		
<b>計画事業番号</b>		<b>事業期間</b> 令和 3年度 ~	<b>施設種別</b>

## 【事業概要・環境変化】

<b>事業概要</b>	<b>環境変化・備考</b>
<b>【対象】</b> ・区民 ・各事業者 <b>【手段】</b> ・区民向け説明会や「かたつむりのおやくそく」ハンドブック全戸配付などの実施 ・収集運搬・中間処理・再商品化の各事業者との調整及び事業体制の構築 <b>【意図】</b> プラスチック再資源化を図る <b>【成果】</b> プラスチックごみの分別収集の実施	<b>【現状の周辺環境】</b> 国内におけるプラスチックごみの資源化の重要性が高まっている。 <b>【今後の予想される周辺環境】</b> 全ての関係主体がプラスチックごみの資源循環促進等を図る。 <b>【区民意識意向調査】</b> 区民アンケート調査において、85.7%がプラスチックごみ問題に関心を示していた。 <b>【アンケート・統計調査】</b> 令和3年度に実施した排出実態調査によると区内で排出されるごみのうち、リサイクル可能なプラスチック類は17.6%であった。 <b>【他自治体との比較】</b> 【渋谷区】令和4年7月から全プラスチックごみの分別収集開始 【豊島区】令和5年4月から一部区域で、令和5年10月から全区域で全プラスチック分別収集開始 【北区】令和5年4月から全プラスチックごみの分別収集開始

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画
① 活動指標	排出実態調査地区数	地区	—	6.0	—	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	令和 5年度
② 活動指標	モデル地区モニター調査世帯数	世帯	—	—	100.0	110.0	110.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	令和 5年度
③ 活動指標	区民アンケート調査世帯数	世帯	—	—	2,000.0	1,012.0	50.6	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	令和 5年度
④ 活動指標	区民説明会	回	—	—	—	—	54.0	54.0
		達成率(%)	—	—	—	—	—	100.0
⑤ 活動指標	かたつむりのおやくそくハンドブック発行部数	部	—	—	—	—	359,000.0	359,000.0
		達成率(%)	—	—	—	—	—	100.0

### 特記事項

令和3年度は、家庭から排出される可燃ごみ及び不燃ごみの中に含まれるプラスチックの量や組成割合を調べる排出実態調査を行うとともに、国や都の動向を踏まえ、中間処理施設及び運搬方法を検討した。令和4年度は、モデル地区によるモニター調査及び区民アンケートを実施し、プラスチック再資源化に対する区民の意向調査や区民への周知方法などの検討を行った。また収集運搬方法の決定及び中間処理施設の選定を行った。

【④成果指標の進捗率の考え方】  
 20%（排出実態調査の実施）、40%（モデル地区モニター調査及び区民アンケートの実施）、60%（中間処理施設及び収集運搬方法の選定）、100%（事業化の決定）

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	0	12,358	18,102	15,044	156,269	
事業費	千円	0	4,125	9,867	6,809	146,387	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	4,933	0	5,123
	一般財源	千円	0	4,125	4,934	6,809	141,264
人件費	千円	0	8,233	8,235	8,235	9,882	
正職員	千円	0	8,233	8,235	8,235	9,882	
	人員	人	0.0	1.0	1.0	1.0	1.2
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—	

### フルコストの増減理由

廃プラスチックの分別収集に向けた準備経費の増

<b>事務事業名</b>	310500 - 004 プラスチックごみ再資源化推進経費
--------------	-------------------------------

**【前回の二次評価結果への対応状況】**

前回の二次評価内容	
評価評語／改善の方向性	概ね順調／工夫して継続
<p>事業化に向けて、概ね順調に検討を進めている。          検討課題である中間処理施設及び収集運搬方法について、引き続き事業者等と連携し対応していく。</p>	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
<p>収集運搬方法の決定及び中間処理施設の選定を行った。</p>	

**【一次評価】所管課長による評価**

[活動結果や成果の分析]		達成度	C
1. 活動指標の計画値を満たしたか		70%未満がある	
2. 成果指標の計画値を満たしたか		—	
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	<p>区民アンケート調査について、2,000世帯に対する回収率は50.6%であったが、仕様書に記載の目標回収率（50.0%）は達成することができた。</p>		
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		大きく寄与している	
<p>プラスチックごみの分別収集を実施することでプラスチックごみの削減及び再資源化につながり、中間アウトカムの「リサイクル率の上昇」に寄与している。</p>			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか		最適化に取り組んでいる	
2. コスト最適化への取組状況	<p>プラスチックごみの分別収集実施に向けた区民に対する周知費用については、最小のコストで最大の効果が出るよう予算を計上した。今後は集積所数等を精査し、消耗品費・印刷製本費の見直しを行う。</p>		
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください		事業手法の見直し	
2. 具体的な手段を選択してください		コスト削減／活動・成果指標の維持	
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について	<p>コストを意識しつつ区民周知を徹底し、プラスチックごみの減量及び再資源化することで、リサイクル率の上昇を目指す。</p>		

**【二次評価】所管部長による評価**

評価評語／改善の方向性	概ね順調／工夫して継続
<p>プラスチックごみ再資源化事業の実施に向けて、区民への理解と協力が得られるPR活動を行うとともに、収集運搬・中間処理・再商品化を行う各事業者と調整を行い、事業体制を構築することが重要である。</p>	

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 005 ふれあい指導		
担当所属	資源循環推進課		連絡先 3579-2218, 3579-2258
関連所属	板橋東清掃事務所 板橋西清掃事務所		

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「東京都板橋区廃棄物の発生抑制」「再利用の促進及び適正な処理に関する条例」		
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区内の集積所の利用者または管理者</p> <p>【手段】 区民、事業者に対し対話を中心とするきめ細かな「ふれあい」を重視した方法で、手数料制度の徹底やごみの分別、排出指導等を行う</p> <p>防鳥用ネットの貸出・使用済み注射針回収容器の薬剤師会への提供</p> <p>【意図】 ごみの減量化やリサイクル促進を目指す カラス等による被害を防ぎ、集積所の美化を図る 区民や収集員の針刺し事故防止</p> <p>【成果】 平成21年度以降、収集員の針刺し事故は発生していない</p>	<p>【現状の周辺環境】 小規模な宅地開発などによる集積所の分散・戸別化や集積所の細分化に伴い、防鳥用ネットのサイズの多様化への対応などが求められている。高齢化による要医療患者の増加・病床不足による在宅医療に向けた様々な取り組みの中で、在宅自己注射患者数も増加、針刺し事故防止のため、使用済み注射針の適正な回収・処理が求められている。使用済み注射針回収容器については、区民と作業員の安全確保を図るため、板橋区薬剤師会に対する回収支援事業として、平成20年度より回収専用容器を板橋区が購入し、提供している。</p> <p>【他自治体との比較】 薬剤師会での使用済み注射針回収事業は全区で行っているが、薬剤師会に対し何等かの補助を実施している区は21区である。補助形態は容器現物支給・収集運搬費補助・処分費用補助・保管場所の賃借料補助等である。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 対象指標	回収箇所数(集積所・拠点・店頭)	箇所	23,500.0	24,000.0	24,500.0	24,500.0	100.0	25,300.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	防鳥用ネットの配布件数	件	2,197.0	2,275.0	2,300.0	2,179.0	94.7	2,300.0	2,300.0
		達成率(%)	95.5	98.9	100.0	94.7	—	100.0	令和 5年度
③ 活動指標	排出指導用警告シール使用枚数	枚	70,700.0	60,000.0	60,000.0	70,000.0	116.7	80,000.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
④ 活動指標	指導班による排出指導件数	件	3,472.0	5,937.0	0.0	8,982.0	0.0	0.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
⑤ 成果指標	使用済み注射針回収容器購入数	個	11,040.0	11,040.0	11,040.0	11,040.0	100.0	10,040.0	10,040.0
		達成率(%)	99.3	99.3	99.3	99.3	—	100.0	令和 5年度
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	310,767	307,125	307,682	307,391	307,370	
事業費	千円	9,532	8,593	9,114	8,823	8,802	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	410	627	375	373	623
	一般財源	千円	9,122	7,966	8,739	8,450	8,179
人件費	千円	301,235	298,532	298,568	298,568	298,568	
正職員	千円	299,919	297,211	297,284	297,284	297,284	
	人員	人	36.1	36.1	36.1	36.1	36.1
	再任用等	千円	1,316	1,321	1,284	1,284	1,284
	人員	人	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
コスト指標	集積所1か所あたり	千円	13.22	12.80	12.56	12.55	12.15
フルコストの増減理由							

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 005 大規模建築物排出指導			
担当所属	資源循環推進課		連絡先	3579-2218
関連所属				

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310500 循環型社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」			
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 用途に限らず3000㎡の建築物・事業用途に供する部分の床面積の合計1000㎡以上の建築物</p> <p>【手段】 完了検査・立入指導・廃棄物管理責任者講習会・事業系ごみハンドブックの作成・配布</p> <p>【意図】 廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理</p> <p>【成果】 廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理</p>	<p>【現状の周辺環境】 事業用大規模建築物の件数は横ばいで推移している。</p> <p>【アンケート・統計調査】 事業用大規模建築物に再利用対象物の再利用率は80%以上で推移している。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画
① 対象指標	事業用大規模建築物数	箇所	712.0	702.0	0.0	712.0	0.0	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	事業用大規模建築物立入検査	件	38.0	216.0	0.0	152.0	0.0	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—
③ 活動指標	事業用大規模建築物保管場所完了検査	件	18.0	7.0	0.0	13.0	0.0	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—
④ 活動指標	廃棄物管理責任者講習会	回	2.0	2.0	2.0	2.0	100.0	2.0
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—
⑤ 成果指標	事業系ごみ (持込ごみ) の排出量	t	28,125.0	32,897.0	29,368.0	0.0	0.0	29,845.0
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—

特記事項  
令和4年度の「事業系ごみ (持込ごみ) の排出量」については、令和5年9月ごろに数値が確定する予定。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	4,385	4,401	4,434	4,432	4,409
事業費	千円	231	284	316	314	291
特定財源	千円	0	0	0	0	0
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	231	284	316	314	291
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	0	0	0	0	0
人件費	千円	4,154	4,117	4,118	4,118	4,118
正職員	千円	4,154	4,117	4,118	4,118	4,118
人員	人	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—
フルコストの増減理由						

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 006 浄化槽指導経費		
担当所属	資源循環推進課		連絡先 3579-2217
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「浄化槽法」「板橋区浄化槽指導要綱」「東京都板橋区浄化槽法施行規則」「板橋区下水道未普及地域設置浄化槽汚泥収集運搬に関する要綱及び同要領」		
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~ 施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 公共下水道に直接接続できない場所に設置されている浄化槽を使用している区民に対し、浄化槽清掃時に排出される汚泥の収集運搬を区が行う。(対象浄化槽11基)</p> <p>【手段】 対象区民に認定書を発行する。対象区民が認定書取扱浄化槽清掃業者名簿に記載されている浄化槽清掃業者と清掃契約を結ぶのと並行して区が業者と汚泥の収集運搬委託契約を結び、その経費を業者に支払う。</p> <p>【意図】 浄化槽の適正管理</p> <p>【成果】 浄化槽の適正管理</p>	<p>【現状の周辺環境】 対象地域は現在も公共下水道未告示地域である。公共下水道の整備を行うに当たり土地境界確定協議を行ったが、全土地所有者からの合意が得られず、私道と公共用地の交換ができなかったため、公共下水道の整備を行うことができなかった。</p> <p>【区民からの意見】 浄化槽管理者である住民は浄化槽を撤去したいとの意向を持っている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	浄化槽汚泥収集運搬	件	9.0	10.0	11.0	10.0	90.9	11.0	11.0 令和 5年度
		達成率(%)	81.8	90.9	100.0	90.9		100.0	
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	1,742	1,738	1,746	1,738	1,746	
事業費	千円	80	91	99	91	99	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	80	91	99	91	99
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0
人件費	千円	1,662	1,647	1,647	1,647	1,647	
正職員	千円	1,662	1,647	1,647	1,647	1,647	
人員	人	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	対象浄化槽一基あたり	千円	193.56	173.80	158.73	173.80	158.73
フルコストの増減理由							

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 007 集団回収		
担当所属	資源循環推進課		連絡先 3579-2258
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「区資源の集団回収事業に係る支援要綱」		
計画事業番号		事業期間	平成 4年度 ~ 施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 資源となる古紙・古布・アルミ缶などを集めて回収業者へ引渡す自主的活動をする区民10世帯以上からなる団体とその回収業者</p> <p>【手段】 団体へ資源回収量によつての報奨金と活動助成金の支給、活動に必要な資機材(回収旗等)の貸与、回収業者へ報奨金の支給</p> <p>【意図】 資源の保護とごみ減量。身近なりサイクル活動を通じた地域コミュニティの醸成</p> <p>【成果】 ごみの減量。資源リサイクル向上。区による資源回収のコスト削減。</p>	<p>【現状の周辺環境】 古紙相場は全盛期と比べて低迷しているが、令和4年度の後半から少しずつではあるが、回復してきている。</p> <p>【アンケート・統計調査】 集団回収による資源回収量は、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で増加したものの、減少傾向にある。近年の新規登録の団体は全てマンションである。</p> <p>【他自治体との比較】 集団回収は23区全てで実施している。令和2年度の回収量は23区中2位。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	登録団体数	団体	901.0	900.0	900.0	893.0	99.2	890.0	890.0
		達成率(%)	100.1	100.0	100.0	99.2		98.9	令和 5年度
② 活動指標	実施団体数	団体	894.0	892.0	892.0	867.0	97.2	870.0	870.0
		達成率(%)	100.2	100.0	100.0	97.2		97.5	令和 5年度
③ 活動指標	回収量	t	12,223.0	11,867.0	11,867.0	10,855.0	91.5	10,855.0	10,855.0
		達成率(%)	103.0	100.0	100.0	91.5		91.5	令和 5年度
④									
⑤									
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	105,596	103,593	107,973	91,441	111,042	
事業費	千円	96,457	94,537	98,914	82,382	101,983	
特定財源							
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	5,000	
一般財源	千円	96,457	94,537	98,914	82,382	96,983	
人件費	千円	9,139	9,056	9,059	9,059	9,059	
正職員	千円	9,139	9,056	9,059	9,059	9,059	
人員	人	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	実施1団体あたり	千円	116.04	116.14	121.05	105.47	127.63
フルコストの増減理由							
業者報奨金単価及び回収量の減							

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 008 東清掃事務所維持管理経費		
担当所属	板橋東清掃事務所		連絡先 3969-3721
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~ 施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 事務所の維持管理、各種システム機器の管理</p> <p>【手段】 保守点検委託、光熱水費支払、施設改修、消耗品の調達</p> <p>【意図】 清掃事務所の業務を滞りなく行う</p> <p>【成果】 清掃事務所が支障なく機能することにより、円滑な区民サービスを提供できる</p>	<p>【開始時の周辺環境】 開設 昭和48年7月</p> <p>【現状の周辺環境】 建物の老朽化が激しいため、修繕・工事を今後も継続して行う必要がある。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	施設修繕・改修件数	件	9.0	6.0	—	6.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	保守点検委託数	件	10.0	10.0	12.0	12.0	100.0	10.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	43,720	42,084	85,596	87,893	50,024	
事業費	千円	27,761	26,042	66,965	69,262	31,393	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	72	71	71	73	71
	その他	千円	1,975	1,944	1,947	2,071	1,944
	一般財源	千円	25,714	24,027	64,947	67,118	29,378
人件費	千円	8,308	8,233	8,235	8,235	8,235	
正職員	千円	8,308	8,233	8,235	8,235	8,235	
	人員	人	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	7,651	7,809	10,396	10,396	10,396	
減価償却費	千円	7,651	7,809	10,396	10,396	10,396	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—	

フルコストの増減理由

建物老朽化による修繕等（工事請負費・委託料）の増減によるが、令和4年度は、受変電設備改修工事による増。また、令和5年からは光熱水費値上げにより増加もみられる。

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 009 西清掃事務所維持管理経費		
担当所属	板橋西清掃事務所		連絡先 3936-7441
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~ 施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 西清掃事務所の維持管理、各種システム機器等の管理 【手段】 保守点検委託、光熱水費支払、施設改修、消耗品の調達 【意図】 西清掃事務所の業務を滞りなく行う 【成果】 西清掃事務所が支障なく機能することにより、円滑な区民サービスを提供できる	【現状の周辺環境】 建物の老朽化が激しいため、施設改修や設備更新の必要性が高くなっている

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	
① 活動指標	保守点検委託数	件	11.0	11.0	11.0	11.0	100.0	12.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	
② 活動指標	施設修繕・改修件数	件	15.0	8.0	0.0	10.0	0.0	0.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	33,869	25,857	55,269	52,665	30,448
事業費	千円	23,418	15,466	44,876	42,272	20,055
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	0	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	51	50	50	50
	その他	千円	1,652	1,834	1,830	1,411
	一般財源	千円	21,715	13,582	42,996	40,811
人件費	千円	6,646	6,586	6,588	6,588	6,588
正職員	千円	6,646	6,586	6,588	6,588	6,588
	人員	人	0.8	0.8	0.8	0.8
	再任用等	千円	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	
経費	千円	3,805	3,805	3,805	3,805	3,805
減価償却費	千円	3,805	3,805	3,805	3,805	
その他	千円	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

令和元年度から令和2年度について、浴室改修工事による工事請負費の経費増  
 令和3年度から令和4年度について、受変電設備改修工事による工事請負費の経費増

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 010 志村清掃事業所維持管理経費		
担当所属	板橋東清掃事務所		連絡先 3969-3721
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~ 施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 清掃事務所の維持管理 【手段】 保守点検委託、光熱水費支払、施設改修、消耗品の調達 【意図】 清掃事務所の業務を滞りなく行う 【成果】 清掃事務所が支障なく機能することにより、円滑な区民サービスを提供できる	【開始時の周辺環境】 開設 昭和37年7月 【現状の周辺環境】 建物の老朽化が激しいため、修繕・工事を今後も継続して行う必要がある。

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	施設修繕・改修件数	件	5.0	4.0	—	7.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
② 活動指標	保守点検委託数	件	14.0	15.0	14.0	14.0	0.0	14.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	33,922	50,998	34,581	36,636	36,898
事業費	千円	17,455	34,643	18,223	20,278	20,540
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	17,352	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	98	98	98	441
	その他	千円	538	1,158	1,144	1,200
	一般財源	千円	16,819	16,035	16,981	18,637
人件費	千円	12,462	12,350	12,353	12,353	12,353
正職員	千円	12,462	12,350	12,353	12,353	12,353
	人員	人	1.5	1.5	1.5	1.5
	再任用等	千円	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	
経費	千円	4,005	4,005	4,005	4,005	4,005
減価償却費	千円	4,005	4,005	4,005	4,005	4,005
その他	千円	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

建物老朽化による修繕等(工事請負費)の増減によるが、令和3年度は、工業用水切替工事負担金による増があったもの。令和4年度は車両洗車用高圧洗浄機設置による増。

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

事務事業名	310500 - 011 中継所維持管理経費		
担当所属	板橋西清掃事務所		連絡先 3936-7441
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~ 施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 西台中継所（西台粗大ごみセンター）の維持管理等</p> <p>【手段】 保守点検委託、光熱水費支払、施設改修、消耗品の調達</p> <p>【意図】 西台中継所の業務を滞りなく行う</p> <p>【成果】 西台中継所が支障なく機能することにより、円滑な区民サービスを提供できる</p>	<p>【現状の周辺環境】 施設・設備の老朽化が激しいため、施設改修や設備更新の必要性が高くなっている</p> <p>【備考】 昭和56年10月 不燃ごみ中継所として開設 平成14年3月末 不燃ごみ中継所を廃止 平成14年7月～ 粗大ごみ中継所</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	保守点検委託数	件	8.0	8.0	9.0	9.0	100.0	9.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
② 活動指標	施設修繕・改修件数	件	5.0	3.0	0.0	4.0	0.0	0.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	14,664	14,372	14,554	14,743	15,751	
事業費	千円	10,983	10,721	10,902	11,091	12,099	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	897	430	430	430	430
	一般財源	千円	10,086	10,291	10,472	10,661	11,669
人件費	千円	3,323	3,293	3,294	3,294	3,294	
正職員	千円	3,323	3,293	3,294	3,294	3,294	
	人員	人	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	358	358	358	358	358	
減価償却費	千円	358	358	358	358	358	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—	

フルコストの増減理由

平成30年度から令和元年度について、需用費（消耗品費）及び、工事請負費の経費増

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 012 リサイクルプラザ運営経費		
担当所属	資源循環推進課		連絡先 3579-2258
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「板橋区立リサイクルプラザ条例」		
計画事業番号		事業期間	平成17年度 ~ 施設種別 環境関連施設

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 リサイクルやごみ問題などに興味・関心がある方</p> <p>【手段】 環境学習講座やリサイクル関連のイベントや展示を実施</p> <p>【意図】 区民意識の啓発並びに知識・経験の普及</p> <p>【成果】 資源循環型社会の構築</p>	<p>【アンケート・統計調査】 様々なイベントに関して満足割合が多い一方、交通の不便を指摘する声が多い。</p> <p>【他自治体との比較】 練馬区の「リサイクルセンター」が、同じく指定管理者制度によって運営している。</p> <p>【備考】 ＜開所＞平成18年1月 ＜指定管理者＞アクティオ（H17～21）三菱地所コミュニティ（H22～R1） ShoPro・板建総共同事業体（R2～）</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	来館者数 (単年度)	人	19,212.0	22,698.0	29,000.0	24,784.0	85.5	29,000.0	30,000.0
		達成率(%)	64.0	75.7	96.7	82.6		96.7	令和 6年度
② 活動指標	講座実施回数 (単年度)	回	59.0	91.0	119.0	92.0	77.3	119.0	122.0
		達成率(%)	48.4	74.6	97.5	75.4		97.5	令和 6年度
③ 成果指標	講座参加人数 (単年度)	人	1,386.0	4,474.0	2,610.0	3,692.0	141.5	2,610.0	2,730.0
		達成率(%)	50.8	163.9	95.6	135.2		95.6	令和 6年度
④ 成果指標	施設利用満足度 (単年度)	%	97.0	97.0	93.0	94.0	101.1	93.0	93.0
		達成率(%)	104.3	104.3	100.0	101.1		100.0	令和 6年度
⑤									
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	64,941	64,775	65,162	65,096	65,252	
事業費	千円	24,407	24,294	24,679	24,613	24,769	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	164	317	317	317	317
	一般財源	千円	24,243	23,977	24,362	24,296	24,452
人件費	千円	5,816	5,763	5,765	5,765	5,765	
正職員	千円	5,816	5,763	5,765	5,765	5,765	
	人員	人	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	34,718	34,718	34,718	34,718	34,718	
減価償却費	千円	34,718	34,718	34,718	34,718	34,718	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	来館者1人あたり	千円	3.38	2.85	2.25	2.63	2.25

フルコストの増減理由

--	--	--	--	--	--	--

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 013 安全衛生管理経費			
担当所属	資源循環推進課		連絡先	3579-2217
関連所属	板橋東清掃事務所 板橋西清掃事務所			

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進		
根拠法令要綱	「労働安全衛生法」「東京都板橋区清掃事業場労働安全衛生保護具措置規程」			
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<b>【対象】</b> 主に清掃技能系職員（技能V、VI） <b>【手段】</b> 定期的に保護具を、夏場に熱中症対策用品を、冬場に滑り止めなど支給 <b>【意図】</b> 清掃技能系職員の安全作業を確保するため <b>【成果】</b> 安全衛生の確保、熱中症予防など	<b>【現状の周辺環境】</b> 社会状況の変化により、保護具単価が毎年値上がりしている。 <b>【他自治体との比較】</b> 他区も同種の趣旨のもと、同程度の保護具や物品等を適度に支給している。

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画
① 対象指標	清掃技能系職員数（再任用含む）	人	188.0	185.0	—	182.0	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—
②		達成率(%)						
③		達成率(%)						
④		達成率(%)						
⑤		達成率(%)						
特記事項								

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	34,732	34,897	35,223	34,811	34,891
事業費	千円	8,977	9,375	9,694	9,282	9,362
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	8,977	9,375	9,694	9,282	9,362
人件費	千円	25,755	25,522	25,529	25,529	25,529
正職員	千円	25,755	25,522	25,529	25,529	25,529
人員	人	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—
フルコストの増減理由						

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

<b>事務事業名</b>	310500 - 014 事務諸経費 ( 収集総務 )			
<b>担当所属</b>	資源循環推進課		<b>連絡先</b>	3579-2217
<b>関連所属</b>	板橋東清掃事務所 板橋西清掃事務所			

## 【事務事業基本情報】

<b>基本目標</b>	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
<b>基本政策</b>	Ⅲ-1 緑と環境共生			
<b>施策</b>	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進		
<b>根拠法令要綱</b>	「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」			
<b>計画事業番号</b>		<b>事業期間</b>	平成12年度 ~	<b>施設種別</b>

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<b>【対象】</b> ①清掃職員 ( ① : 清掃被服の貸与、収集作業の運営や事務処理に要する経費 )、②ごみ処理券業務に携わる職員 ( ② : ごみ処理券管理システムの運用に係る経費 ) <b>【手段】</b> ①収集作業時に着用する被服を貸与、収集作業に必要な消耗品等の購入やリース、処理困難物や不法投棄された物品の処理、作業服のクリーニング等の実施、②ごみ処理券の発注から収納管理に至るまでシステムにより管理 <b>【意図】</b> ①収集作業時の安全を確保するため、収集作業の円滑な実施及び適正な処理、②効率的な事務作業を実現 <b>【成果】</b> ①収集作業の効率化、安全性の向上、②人件費の抑制	<b>【現状の周辺環境】</b> 家電リサイクル法の対象品目 ( エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機 ) や資源有効利用促進法の対象であるパソコンは、区では収集出来ないため、不法投棄された場合は規定された処理方法に従って処理を行う必要がある。予算措置にあたり、被服について必要数量の精査を求められている。しかし、近年、外国人のアルバイトも増加傾向にあり、幅広いサイズの被服を揃える必要がある。  <b>【他自治体との比較】</b> ごみ処理券管理システムは23区共通のシステムであり、システム保守委託契約については、23区清掃リサイクル主管課長会の分科会である有料シール検討会において、契約に関する業者との折衝を行っている。

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画	目標年度
①		達成率 (%)							
②		達成率 (%)							
③		達成率 (%)							
④		達成率 (%)							
⑤		達成率 (%)							
<b>特記事項</b>									

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
<b>フルコスト</b>	千円	31,028	29,925	30,676	29,909	37,460
<b>事業費</b>	千円	20,228	19,222	19,970	19,203	26,754
<b>国庫支出金</b>	千円	0	0	0	0	0
<b>特定財源</b>	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
<b>一般財源</b>	千円	20,228	19,222	19,970	19,203	26,754
<b>人件費</b>	千円	10,800	10,703	10,706	10,706	10,706
<b>正職員</b>	千円	10,800	10,703	10,706	10,706	10,706
<b>人員</b>	人	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
<b>再任用等</b>	千円	0	0	0	0	0
<b>人員</b>	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
<b>その他職員</b>	千円	0	0	0	0	0
<b>経費</b>	千円	0	0	0	0	0
<b>減価償却費</b>	千円	0	0	0	0	0
<b>その他</b>	千円	0	0	0	0	0
<b>コスト指標</b>	千円	—	—	—	—	—
<b>フルコストの増減理由</b>						

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 015 車両雇上			
担当所属	資源循環推進課		連絡先	3579-2217
関連所属	板橋東清掃事務所 板橋西清掃事務所			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進		
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」			
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区内の家庭ごみ</p> <p>【手段】 ごみを収集し、中間処理施設に搬送するための車両を雇い上げる</p> <p>【意図】 収集作業の注力による迅速で効率的な業務の推進</p> <p>【成果】 適切かつ効果的に収集作業を行うことができる</p>	<p>【現状の周辺環境】 正規職員の減員により雇上会社の稼働割合が増加している。年末等繁忙期における雇上会社としての人手不足などにより、車両の確保に苦慮している。</p> <p>【他自治体との比較】 東京二十三区清掃協議会規約第3条第1項の規定に基づき板橋区長名で東京二十三区清掃協議会が雇上会社と契約している。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画	目標年度
① 活動指標	雇上車稼働実績 (計)	延台数	25,204.0	24,935.0	24,960.0	24,641.0	—	25,567.0	—
		達成率 (%)	—	—	—	—		—	
②		達成率 (%)							
		達成率 (%)							
③		達成率 (%)							
		達成率 (%)							
④		達成率 (%)							
		達成率 (%)							
⑤		達成率 (%)							
		達成率 (%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	2,406,946	2,385,453	2,414,123	2,392,163	2,488,768
事業費	千円	1,463,988	1,451,007	1,479,450	1,457,490	1,554,095
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	1,463,988	1,451,007	1,479,450	1,457,490	1,554,095
人件費	千円	942,958	934,446	934,673	934,673	934,673
正職員	千円	942,958	934,446	934,673	934,673	934,673
人員	人	113.5	113.5	113.5	113.5	113.5
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—
フルコストの増減理由						

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 016 車両更新・維持			
担当所属	資源循環推進課		連絡先	3579-2217
関連所属	板橋東清掃事務所 板橋西清掃事務所			

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進		
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」			
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 直営車両 台数：46台</p> <p>【手段】 収集・指導等のため、車両をリースし業務を行う</p> <p>直営車両の任意保険料</p> <p>【意図】 収集・指導等に使用する車両の維持にかかる経費 任意保険の加入については、車両による事故は特別区自治体総合賠償責任保険の補償対象外であることから加入</p> <p>【成果】 効率的な収集・指導業務を行うことが出来る 迅速な補償及び清掃車両の迅速な現状復帰</p>	<p>【現状の周辺環境】 車両による事故は特別区自治体総合賠償責任保険の補償対象外であることから、迅速な補償及び清掃車両の迅速な現状復帰を目的として、任意保険に加入している。加入にあたっては保険料の見積金額と補償の限度額を比較し、契約している。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 対象指標	直営車保有台数(計)	台	47.0	47.0	47.0	0.0	0.0	46.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							

特記事項  
直営車の台数については、令和4年度に1台減車となり、現在46台。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	295,963	296,102	294,924	295,774	301,759
事業費	千円	56,460	58,721	61,873	58,443	64,428
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	56,460	58,721	61,873	58,443	64,428
人件費	千円	239,503	237,381	233,051	237,331	237,331
正職員	千円	235,116	232,994	233,051	233,051	233,051
人員	人	28.3	28.3	28.3	28.3	28.3
再任用等	千円	4,387	4,387	0	4,280	4,280
人員	人	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 017 中継所作業運営			
担当所属	資源循環推進課		連絡先	3579-2217
関連所属	板橋西清掃事務所			

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進		
根拠法令要綱	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区内全域で排出される粗大ごみ</p> <p>【手段】 粗大ごみの収集・運搬、中継業務の委託等</p> <p>【意図】 粗大ごみ収集・運搬、中継業務を効率的に行う。</p> <p>【成果】 区内全域の粗大ごみを、日曜日も含めて毎日（年末年始を除く）収集することができる。</p>	<p>【現状の周辺環境】 粗大ごみ排出の増加などにより、収集能力（人手・車両）の不足が懸念されている。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画	
① 活動指標	粗大ごみ収集個数	個	557,631.0	611,618.0	—	605,085.0	—	—	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	粗大ごみ回収量	t	4,260.0	4,694.0	—	4,630.0	—	—	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—	—
③		達成率 (%)							
		達成率 (%)							
④		達成率 (%)							
		達成率 (%)							
⑤		達成率 (%)							
		達成率 (%)							
特記事項									

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	318,205	350,654	374,363	374,340	380,438
事業費	千円	309,897	342,421	366,128	366,105	372,203
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	309,897	342,421	366,128	366,105	372,203
人件費	千円	8,308	8,233	8,235	8,235	8,235
正職員	千円	8,308	8,233	8,235	8,235	8,235
人員	人	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—
フルコストの増減理由						

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 018 古紙回収			
担当所属	資源循環推進課		連絡先	3579-2218
関連所属				

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進		
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」			
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民</p> <p>【手段】 集積所から回収した古紙を中間処理施設へ運搬し、処理した後、売却して資源の有効活用を行う。また、資源持ち去り行為者に対して委託業者による早朝パトロールを行う。</p> <p>【意図】 可燃ごみに含まれる紙ごみをできるだけ減らし、資源化する。また、売却で得た収入は区の歳入とする。</p> <p>【成果】 持ち去り行為を抑制することができ、資源物の適切な回収及びリサイクルができる。</p>	<p>【現状の周辺環境】 古紙の持ち去り行為に対する罰則を条例に規定している。また、可燃ごみに含まれる紙ごみを出来るだけ減らし、資源化できるよう雑がみの回収を実施している。</p> <p>【区民からの意見】 古紙として出せる紙の範囲の問い合わせがある。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 対象指標	回収箇所数 (集積所・拠点・店頭)	箇所	23,500.0	24,000.0	24,500.0	24,500.0	100.0	25,300.0	—
	達成率(%)		—	—	—	—		—	
② 活動指標	資源回収量 (集積所・拠点・店頭)	t	14,206.9	14,103.3	14,227.8	13,833.4	97.2	14,318.6	14,318.6
	達成率(%)		99.2	98.5	99.4	96.6		100.0	令和 5年度
③ 活動指標	資源回収量 (古紙)	t	5,358.4	5,374.6	5,657.0	5,407.4	95.6	5,580.0	5,580.0
	達成率(%)		96.0	96.3	101.4	96.9		100.0	令和 5年度
④									
⑤									

### 特記事項

新聞・雑誌の発行部数の減少、書籍の電子化等の影響を受けてはいるが、宅配やネット通販等の利用増により段ボールの排出量が大幅に増加しており、それに伴い全体として古紙の回収量は増加傾向にある。②の活動指標は、古紙・びん・缶・ペットボトル・トレイ・ボトル回収量の合計値であり、③の活動指標は古紙のみの数値である。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	195,334	197,944	212,810	212,304	218,660
事業費	千円	185,364	187,624	202,928	201,994	208,350
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	25,612	27,336	26,332	32,680	42,047
一般財源	千円	159,752	160,288	176,596	169,314	166,303
人件費	千円	10,409	10,320	9,882	10,310	10,310
正職員	千円	9,970	9,880	9,882	9,882	9,882
人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
再任用等	千円	439	440	0	428	428
人員	人	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

### フルコストの増減理由

車両雇上単価及び台数増

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 018 ペットボトル回収			
担当所属	資源循環推進課		連絡先	3579-2218
関連所属				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310500 循環型社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」			
計画事業番号	事業期間	平成 9年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

<p><b>事業概要</b></p> <p>【対象】 区民</p> <p>【手段】 集積所から回収したペットボトルを中間処理施設へ運搬し、処理した後、売却して資源の有効活用を行う。</p> <p>【意図】 可燃ごみに含まれるペットボトルをできるだけ減らし、資源化する。また、売却で得た収入は区の歳入とする。</p> <p>【成果】 資源としてリサイクルすることで、可燃ごみの割合が減っている。</p>	<p><b>環境変化・備考</b></p> <p>【現状の周辺環境】 飲料用容器としてペットボトルの普及が急速に進み、その回収、廃棄が問題となったため、平成9年より東京都においてコンビニなどの店等回収を開始し、清掃事業の区移管後、各区において集積所での回収が開始され、板橋区においても平成19年度より区内全域での集積所回収が開始された。 ペットボトル回収用のネット・コンテナが設置してある。</p> <p>【区民からの意見】 ラベルやキャップの処理方法を聞かれる。</p>
--	--

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)		計画
① 対象指標	回収箇所数 (集積所・拠点・店頭)	箇所	23,500.0	24,000.0	24,500.0	24,500.0	100.0	25,300.0	—
		達成率 (%)	—	—	—	—		—	
② 活動指標	資源回収量 (集積所・拠点・店頭)	t	2,470.6	2,562.8	2,570.0	2,568.2	99.9	2,718.0	2,718.0
		達成率 (%)	90.9	94.3	94.6	94.5		100.0	令和 5年度
③		達成率 (%)							
④		達成率 (%)							
⑤		達成率 (%)							
<p><b>特記事項</b></p> <p>飲料や調味料等のペットボトル化が増えているため増加傾向にある。</p>									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	344,030	352,745	354,243	354,967	358,726
事業費	千円	333,183	341,984	344,361	344,229	347,988
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	102,236	124,282	111,968	276,247	236,675
一般財源	千円	230,947	217,702	232,393	67,982	111,313
人件費	千円	10,847	10,761	9,882	10,738	10,738
正職員	千円	9,970	9,880	9,882	9,882	9,882
人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
再任用等	千円	877	881	0	856	856
人員	人	0.2	0.2	0.0	0.2	0.2
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—
フルコストの増減理由						

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 018 びん・缶回収			
担当所属	資源循環推進課		連絡先	3579-2218
関連所属				

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進		
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」			
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民</p> <p>【手段】 集積所から回収したびん・缶を中間処理施設へ運搬し、処理した後、売却して資源の有効活用を行う。</p> <p>【意図】 不燃ごみに含まれるびん・缶をできるだけ減らし、資源化する。また、売却で得た収入は区の歳入とする。</p> <p>【成果】 資源としてリサイクルすることで、不燃ごみの割合が減っている。</p>	<p>【現状の周辺環境】 アルミ缶・スチール缶とも買取相場の変動が大きく、年度により歳入に差が出てしまう。びん・缶回収用のコンテナがそれぞれ設置してある。</p> <p>【区民からの意見】 排出できるびん・缶の種類を聞かれる。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 対象指標	回収箇所数 (集積所・拠点・店頭)	箇所	23,500.0	24,000.0	24,500.0	24,500.0	100.0	25,300.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	資源回収量 (集積所・拠点・店頭)	t	6,357.6	6,145.2	6,000.0	5,837.8	97.3	6,000.0	6,000.0
		達成率(%)	106.0	102.4	100.0	97.3	—	100.0	令和 5年度
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
<b>特記事項</b> 飲料や調味料等がびん・缶からペットボトルに移ってきている傾向にある。									

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	336,147	327,335	345,223	344,713	360,200
事業費	千円	325,300	316,574	335,341	333,975	349,462
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	154,144	269,511	275,661	307,152	298,800
一般財源	千円	171,156	47,063	59,680	26,823	50,662
人件費	千円	10,847	10,761	9,882	10,738	10,738
正職員	千円	9,970	9,880	9,882	9,882	9,882
人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
再任用等	千円	877	881	0	856	856
人員	人	0.2	0.2	0.0	0.2	0.2
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

### フルコストの増減理由

びん・缶回収箱購入経費の増

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 018 トレイ・ボトル回収			
担当所属	資源循環推進課		連絡先	3579-2218
関連所属				

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進		
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」			
計画事業番号		事業期間	平成28年度 ~	施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民</p> <p>【手段】 集積所から回収した食品用トレイ・ボトル容器を中間処理施設へ運搬し、処理した後、資源の有効活用を行う。</p> <p>【意図】 可燃ごみに含まれる食品用トレイ・ボトル容器をできるだけ減らし、資源化する。</p> <p>【成果】 資源としてリサイクルすることで、可燃ごみの割合が減っている。</p>	<p>【現状の周辺環境】 一部の大規模マンション、集積所でモデル回収をしている</p> <p>【区民からの意見】 分別方法の問い合わせがある</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 対象指標	回収箇所数 (集積所・拠点・店頭)	箇所	220.0	220.0	220.0	220.0	100.0	220.0	—
			達成率(%)	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	資源回収量 (集積所・拠点・店頭)	t	20.3	20.5	22.8	19.8	86.8	20.6	20.6
			達成率(%)	98.5	99.5	110.7	96.1	100.0	100.0
③									
④									
⑤									
特記事項									

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	27,732	27,917	28,541	28,226	29,151
事業費	千円	17,323	17,597	18,659	17,916	18,841
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	17,323	17,597	18,659	17,916	18,841
人件費	千円	10,409	10,320	9,882	10,310	10,310
正職員	千円	9,970	9,880	9,882	9,882	9,882
人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
再任用等	千円	439	440	0	428	428
人員	人	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—
フルコストの増減理由						

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 018 使用済小型電子機器等回収			
担当所属	資源循環推進課		連絡先	3579-2218, 2258
関連所属				

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進		
根拠法令要綱	「使用済小型電子機器等の再資源化に関する法律」			
計画事業番号		事業期間	平成26年度 ~	施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<b>【対象】</b> 区民 <b>【手段】</b> 拠点回収、イベント回収、ピックアップ回収 <b>【意図】</b> 使用済小型家電に含まれる有用金属のリサイクル <b>【成果】</b> リサイクルにより、資源循環型社会の構築に寄与する	<b>【現状の周辺環境】</b> 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の入賞メダルを、使用済小型家電のリサイクル材により製作するプロジェクトが、同競技大会組織委員会により、平成29年4月から平成31年3月まで開催され、板橋区もプロジェクトへ参加していた。 <b>【他自治体との比較】</b> 23区においては、ほとんどの区が板橋区と同様に、3つの回収方法（拠点・イベント・ピックアップ）により回収を実施している。なお、板橋区は区民1人当たりの回収量が23区で上位である。

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	
① 活動指標	回収ボックス設置数	台	13.0	13.0	13.0	13.0	100.0	13.0
		達成率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0
② 活動指標	回収量（拠点回収・イベント回収）	t	5.4	6.6	5.4	6.4	119.3	6.4
		達成率(%)	84.2	102.7	84.4	100.7		100.0
③ 活動指標	回収量（ピックアップ回収）	t	557.6	501.7	501.7	432.5	86.2	432.5
		達成率(%)	128.9	116.0	116.0	100.0		100.0
④								
⑤								
特記事項								

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	27,394	27,290	30,001	25,318	25,703
事業費	千円	24,902	24,820	27,530	22,847	23,232
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	0	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	492	504	476	453
一般財源	千円	24,410	24,316	27,054	22,394	22,729
人件費	千円	2,492	2,470	2,471	2,471	2,471
正職員	千円	2,492	2,470	2,471	2,471	2,471
	人員	人	0.3	0.3	0.3	0.3
再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—
フルコストの増減理由						
ピックアップ回収資源化委託に係る委託料の経費減						

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 018 拠点回収			
担当所属	資源循環推進課		連絡先	3579-2218
関連所属				

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進		
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」			
計画事業番号		事業期間	平成 3年度 ~	施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<b>【対象】</b> 区民 <b>【手段】</b> ・区内14箇所の施設における廃食用油・古布・古着の回収 ・区内約300箇所における紙パック、乾電池、食品用トレイ、ボトル容器（プラスチック製）の回収 <b>【意図】</b> 再生可能な資源のリサイクル <b>【成果】</b> 資源循環型社会の構築	<b>【現状の周辺環境】</b> 28年度よりトレイ・ボトル容器のマンション・集積所でのモデル回収を開始したことにより、トレイ・ボトルの回収量が微減傾向にある。 <b>【区民からの意見】</b> 回収容器に入れていいものか否かの問い合わせが多い。（ボタン電池・毛布など）

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	廃食用油・古布 回収施設数	箇所	13.0	13.0	13.0	14.0	107.7	14.0	令和 5年度
			達成率(%)	92.9	92.9	92.9	100.0		
② 活動指標	廃食用油 回収量	t	4.1	4.6	4.7	5.5	118.5	4.8	令和 5年度
			達成率(%)	86.7	95.8	97.9	116.0		
③ 活動指標	古布・古着 回収量	t	89.7	119.1	92.0	125.6	136.6	104.0	令和 5年度
			達成率(%)	86.3	114.6	88.5	120.8		
④ 活動指標	紙パック、乾電池、食品用トレイ、ボトル容器回収施設数	箇所	667.0	665.0	665.0	653.0	98.2	653.0	令和 5年度
			達成率(%)	102.1	101.8	101.8	100.0		
⑤ 活動指標	紙パック、乾電池、食品用トレイ、ボトル容器回収量	t	115.4	114.6	114.6	107.3	93.7	111.5	令和 5年度
			達成率(%)	103.5	102.8	102.8	96.3		

### 特記事項

古布・古着、廃食用油ともに回収量が達成率（対計画値）を大きく超える数値となった。  
 （古布・古着 136.6%、廃食用油 118.5%）  
 令和2年度で緊急事態宣言により減少した反動と昨今の世界情勢によるリサイクルに対する意識が影響したものと思われる。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	43,248	43,023	43,282	43,226	45,391	
事業費	千円	32,839	32,703	33,400	32,916	35,081	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	591	647	625	2,283	1,884
	一般財源	千円	32,248	32,056	32,775	30,633	33,197
人件費	千円	10,409	10,320	9,882	10,310	10,310	
正職員	千円	9,970	9,880	9,882	9,882	9,882	
	人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
再任用等	千円	439	440	0	428	428	
	人員	人	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—	

### フルコストの増減理由

フルコストの増減理由						
------------	--	--	--	--	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 018 不燃ごみ資源化		
担当所属	資源循環推進課		連絡先 3579-2218
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」		
計画事業番号		事業期間	平成28年度 ~ 施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 集積所等に排出された不燃ごみ</p> <p>【手段】 資源化施設に運搬し、手選別により資源化適合物、資源化不適合物に選別し、資源化適合物を資源化する</p> <p>【意図】 不燃ごみ全量の資源化</p> <p>【成果】 埋立処分場の延命化及びリサイクル率向上を図る</p>	<p>【現状の周辺環境】 不燃ごみの収集量について、令和4年度は昨年度比較約10%の減量となった。 なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で増量となった。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】 今後も資源化率100%を維持できる見込みである。</p> <p>【他自治体との比較】 【練馬区】令和4年4月より不燃ごみ資源化事業を開始</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	不燃ごみの収集量	t	3,393.5	2,976.7	2,623.0	2,634.3	100.4	2,314.0	2,314.0
		達成率(%)	146.7	128.6	113.4	113.8		100.0	令和 5年度
② 活動指標	資源化施設に搬入した不燃ごみ量	t	3,393.5	2,976.7	3,169.0	2,634.3	83.1	2,709.0	2,709.0
		達成率(%)	107.1	93.9	100.0	83.1		85.5	令和 5年度
③ 活動指標	資源化施設に搬入した不燃ごみの割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	令和 5年度
④ 活動指標	資源化施設に搬入した不燃ごみの資源化量	t	3,393.5	2,976.7	3,169.0	2,634.3	83.1	2,709.0	2,709.0
		達成率(%)	107.1	93.9	100.0	83.1		85.5	令和 5年度
⑤ 活動指標	資源化施設に搬入した不燃ごみ資源化割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	令和 5年度
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	269,306	241,011	264,288	220,771	234,549	
事業費	千円	262,660	234,425	257,700	214,183	227,961	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	5,760	14,324	18,370	14,943	12,671
	一般財源	千円	256,900	220,101	239,330	199,240	215,290
人件費	千円	6,646	6,586	6,588	6,588	6,588	
正職員	千円	6,646	6,586	6,588	6,588	6,588	
	人員	人	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—	

フルコストの増減理由

不燃ごみ選別・資源委託にかかる委託料の経費減

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 019 し尿収集経費			
担当所属	資源循環推進課		連絡先	3579-2217
関連所属	板橋東清掃事務所			

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進		
根拠法令要綱	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<b>【対象】</b> 家庭系汲み取り便所 <b>【手段】</b> し尿の収集運搬委託 <b>【意図】</b> まちの環境美化 <b>【成果】</b> 区民の生活環境の保全	<b>【現状の周辺環境】</b> 戸数は減少しているが、一定の戸数の収集がある。 <b>【他自治体との比較】</b> 平成24年近隣区の分をあわせ収集箇所の多い区が代表して雇上契約している。 板橋区 27件 北区 7件 豊島区 1件と 板橋区が多い状況は変わらない。

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画	目標年度
① 対象指標	し尿収集対象戸数	戸	38.0	37.0	37.0	35.0	—	35.0	—
		達成率 (%)	—	—	—	—		—	
②		達成率 (%)							
		達成率 (%)							
③		達成率 (%)							
		達成率 (%)							
④		達成率 (%)							
		達成率 (%)							
⑤		達成率 (%)							
		達成率 (%)							
特記事項									

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	10,591	10,508	11,591	10,690	12,499
事業費	千円	8,929	8,861	9,944	9,043	10,028
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	8,929	8,861	9,944	9,043	10,028
人件費	千円	1,662	1,647	1,647	1,647	2,471
正職員	千円	1,662	1,647	1,647	1,647	2,471
人員	人	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—
フルコストの増減理由						

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 020 動物死体処理経費			
担当所属	資源循環推進課		連絡先	3579-2217
関連所属	板橋東清掃事務所 板橋西清掃事務所			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進		
根拠法令要綱	「廃棄物処理及び清掃に関する法律」			
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 ペット等の動物（野良、道路上の回収分も含む）</p> <p>【手段】 収集、保管したものを処分業者に火葬委託</p> <p>【意図】 まちの環境美化</p> <p>【成果】 区民の生活環境の保全</p>	<p>【現状の周辺環境】 年間を通して一定数の処理件数がある。</p> <p>【他自治体との比較】 23区内 同様の事業を行っている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画	目標年度
①	活動指標 動物死体処理（届出分） （計）	頭	794.0	714.0	945.0	621.0	—	921.0	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—	—
②	活動指標 動物死体処理（都道分） （計）	頭	35.0	26.0	29.0	21.0	—	32.0	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—	—
③									
④									
⑤									
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	13,647	13,311	14,010	13,038	14,059	
事業費	千円	2,847	2,608	3,304	2,332	3,353	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	804	796	901	747	858
	その他	千円	93	72	96	63	104
	一般財源	千円	1,950	1,740	2,307	1,522	2,391
人件費	千円	10,800	10,703	10,706	10,706	10,706	
正職員	千円	10,800	10,703	10,706	10,706	10,706	
	人員	人	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—	
フルコストの増減理由							

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 021 ごみ処理券経費			
担当所属	資源循環推進課		連絡先	3579-2217
関連所属	板橋東清掃事務所 板橋西清掃事務所			

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進		
根拠法令要綱	「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」			
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 粗大ごみ排出者や区収集を利用する中小規模の事業者</p> <p>【手段】 有料ごみ処理券を流通させ、対象となるごみを排出する際の廃棄物処理手数料の徴収方法として、券の貼付等を義務化</p> <p>【意図】 廃棄物処理手数料の徴収を効率的に行う</p> <p>【成果】 受益者負担の徹底に寄与</p>	<p>【他自治体との比較】 事業概要欄のとおり基本的に23区統一である。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)		計画
① 活動指標	ごみ処理券印刷枚数 (粗大)	枚	263,200.0	353,300.0	376,200.0	321,790.0	96.0	378,600.0	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	ごみ処理券印刷枚数 (事業系)	枚	750,700.0	754,700.0	786,200.0	743,500.0	94.6	748,300.0	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 活動指標	ごみ処理券交付枚数 (粗大)	枚	201,487.0	305,939.0	296,000.0	234,004.0	95.2	407,280.0	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—	—
④ 活動指標	ごみ処理券交付枚数 (事業系)	枚	764,162.0	753,091.0	717,500.0	703,173.0	98.0	700,500.0	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—	—
⑤									
<b>特記事項</b> 粗大ごみ処理券及び事業系ごみ処理券について、印刷枚数・交付枚数ともに減少傾向にある。									

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	52,282	53,452	54,448	52,859	66,706
事業費	千円	31,512	32,869	33,860	32,271	46,118
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	31,512	32,869	33,860	32,271	46,118
人件費	千円	20,770	20,583	20,588	20,588	20,588
正職員	千円	20,770	20,583	20,588	20,588	20,588
人員	人	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 022 粗大ごみ受付センター経費			
担当所属	資源循環推進課		連絡先	3579-2217
関連所属				

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進		
根拠法令要綱	「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」			
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<b>【対象】</b> (公財) 東京都環境公社 (令和5年3月13日より) (株) NTTネクシア <b>【手段】</b> 粗大ごみ受付業務を委託 <b>【意図】</b> 収集運搬の効率化及び有料粗大ごみ処理券の貼付の徹底化 <b>【成果】</b> 区民からの確実及び迅速な受付に対応	<b>【現状の周辺環境】</b> 粗大ごみ排出増により、区民からは確実及び迅速な粗大ごみ受付対応が求められている。 <b>【他自治体との比較】</b> 板橋区を含めて15区が当公社へ委託を行っていたが、公社の事業撤退に伴い、各区単独での業者選定を進めている。板橋区においては、令和5年3月13日から(株)ネクシアによる新たな粗大ごみ受付センターの運営を開始した。

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画
① 活動指標	粗大ごみ受付件数	件	448,958.0	460,394.0	—	430,635.0	—	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	粗大ごみ収集個数	個	557,631.0	611,618.0	—	605,085.0	—	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—
③ 活動指標	粗大ごみ受付件数 (NTTネクシア)	件	0.0	0.0	—	14,739.0	—	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—
④								
⑤								
<b>特記事項</b> 粗大ごみの受付件数、個数ともに増加傾向にあったが、令和4年度より減少傾向にある。								

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	44,518	56,615	149,028	100,866	106,709
事業費	千円	42,026	54,145	146,557	98,395	104,238
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	42,026	54,145	146,557	98,395	104,238
人件費	千円	2,492	2,470	2,471	2,471	2,471
正職員	千円	2,492	2,470	2,471	2,471	2,471
人員	人	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

### フルコストの増減理由

新粗大ごみ受付システム構築経費の増

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 023 資源化施設運営経費			
担当所属	資源循環推進課		連絡先	3579-2218
関連所属				

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310500 循環型社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」			
計画事業番号	事業期間	平成18年度 ~	施設種別	

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<b>【対象】</b> 区民 <b>【手段】</b> 回収したびん・缶の再資源化 <b>【意図】</b> 資源のリサイクル <b>【成果】</b> 循環型社会の構築への貢献	<b>【現状の周辺環境】</b> 事業開始より年数が経過し、機器等に老朽化が現れ始めている。 <b>【今後の予想される周辺環境】</b> 令和5年度に処理プラント内の機器更新を予定している。 <b>【アンケート・統計調査】</b> 搬入量等は減少傾向にある。

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画	目標年度
① 活動指標	搬入量	t	6,358.0	6,116.0	6,000.0	5,837.8	97.3	6,000.0	6,000.0 令和 5年度
		達成率 (%)	106.0	101.9	100.0	97.3		100.0	
②		達成率 (%)							
③		達成率 (%)							
④		達成率 (%)							
⑤		達成率 (%)							
特記事項									

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	242,055	220,432	217,879	221,690	337,314
事業費	千円	232,085	210,552	207,997	211,808	327,432
特定財源	千円					
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	1,752	1,824	1,827	1,932	1,914
その他	千円	1,421	1,025	1,003	1,093	1,010
一般財源	千円	228,912	207,703	205,167	208,783	324,508
人件費	千円	9,970	9,880	9,882	9,882	9,882
正職員	千円	9,970	9,880	9,882	9,882	9,882
人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	1 tあたり 千円	38.07	36.04	35.62	37.97	57.77

### フルコストの増減理由

--	--	--	--	--	--	--

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 024 中間処理経費			
担当所属	資源循環推進課		連絡先	3579-2217
関連所属				

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進		
根拠法令要綱	「東京二十三区清掃一部事務組合規約」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」			
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 東京二十三区清掃一部事務組合、東京都</p> <p>【手段】 東京二十三区清掃一部事務組合への分担金、東京都への廃棄物埋立処分委託料の支払い。</p> <p>【意図】 ごみ・し尿の中間処理及び中間処理施設の整備をしている東京二十三区清掃一部事務組合の運営経費の負担。また、例外的に中間処理を経ずに直接埋立する臨時ごみについて、最終処分場の管理者である東京都に埋立処分を委託するため、その委託料の支払い。</p> <p>【成果】 二十三区がその事務の一部を共同処理することによる経費等の負担が少なくなる。</p>	<p>【現状の周辺環境】 分担金額は東京二十三区清掃一部事務組合規約に基づき、同組合議会の議決を経て、管理者が定めることになっている。そのうえで、各区のごみ量等に応じて区毎の分担金額が算出されている。</p> <p>また廃棄物埋立処分委託の契約単価については、基本的に4年に1回、東京都において見直しを行っており、前は平成31年度に1.3円/Kg、前々回は平成27年度に0.1円/Kg、増加している。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 活動指標	廃棄物埋立処分量	t	1.3	1.3	1.8	1.9	103.2	1.7	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	
②									
③									
④									
⑤									
<b>特記事項</b> ほぼ横ばいで推移している。									

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	2,063,077	2,141,486	2,433,407	2,433,408	2,656,754
事業費	千円	2,062,246	2,140,663	2,432,583	2,432,584	2,655,930
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	459,285	531,114	543,392	519,425	580,377
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	1,602,961	1,609,549	1,889,191	1,913,159	2,075,553
人件費	千円	831	823	824	824	824
正職員	千円	831	823	824	824	824
人員	人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

### フルコストの増減理由

東京二十三区清掃一部事務組合経費分担金の増

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310500 - 025 事務諸経費 ( 資源総務 )			
担当所属	資源循環推進課		連絡先	3579-2217
関連所属				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進		
根拠法令要綱				
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 資源循環推進課 【手段】 課共有消耗品・郵券の購入・一般廃棄物処理業許可事務消耗品の購入 【意図】 課内事務作業時必要 【成果】 事務時間の短縮・作業効率化の向上	【現状の周辺環境】 節減により、年々予算削減となり、必要な文具を更に精査し、最低限の購入となるよう対応している。

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画	
①		達成率 (%)							
②		達成率 (%)							
③		達成率 (%)							
④		達成率 (%)							
⑤		達成率 (%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	3,473	2,445	2,536	2,536	2,556
事業費	千円	1,811	798	889	889	909
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	1,406	627	375	372	572
一般財源	千円	405	171	514	517	337
人件費	千円	1,662	1,647	1,647	1,647	1,647
正職員	千円	1,662	1,647	1,647	1,647	1,647
人員	人	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—
フルコストの増減理由						

# 令和 5年度 施策評価表 モニタリング

<b>施策名</b>	310600	自然環境と生物多様性の保全							
<b>SDGs (関連性のあるGOAL)</b>									
<b>基本目標</b>	Ⅲ 安心・安全で快適な緑のまち								
<b>基本政策</b>	Ⅲ-1 緑と環境共生								
<b>所管部長</b>	資源環境部長				<b>所管課長</b>	環境政策課長			
<b>関連所管</b>									

## 【施策基本情報】

施策概要(「基本計画2025」)	施策のアウトカムイメージ
<p><b>【概要(目標)】</b> 自然環境に関する基礎的な情報提供やイベント等を実施し、水と自然・生物多様性への関心を高め、保全行動を推進し、快適な環境や良好な水辺空間を維持・創出する。</p> <p><b>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】</b> 区民・事業者が環境に対して関心を持ち、環境保全活動に積極的に参加するとともに、エコライフスタイルを実践する。</p> <p><b>【主な取り組み】</b> 都市の水循環回復、水辺ふれあい、熱帯環境植物館運営など</p>	<p>水資源が適正に循環し、湧水や河川の水がきれいで、区民は安心して生活をしている。河川の水質浄化や水質改善、快適な自然環境の確保・維持に対する区民の意識の醸成が図られている。</p> <p>郷土の多様な生物との共存により、人も自然生態系の一員であることを自覚し、自然と調和した社会となっている。</p> <p>熱帯環境植物館では緑や水とふれあい、多くの区民が地球環境問題・環境保護に対する高い意識を持ち、自然の恵みを実感している。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 石神井川における生物化学的酸素要求量 (BOD75%値)	mg/L	0.9	0.8	0.9	0.9	1.0
		達成率(%)	—	—	—	—	令和 7年度
	② 白子川における生物化学的酸素要求量 (BOD75%値)	mg/L	2.7	2.8	2.7	2.5	2.0
		達成率(%)	—	—	—	—	令和 7年度
	③ 熱帯環境植物館の入館者数	人	35,861.0	100,581.0	122,830.0	130,000.0	130,000.0
達成率(%)		27.6	77.4	94.5	—	令和 6年度	
④ 自然・いきものさがしの報告件数	件	2,709.0	4,205.0	—	—	—	
	達成率(%)	—	—	—	—	—	
⑤ 自然環境に関するイベントによって意識の変化があった割合	%	—	86.2	88.8	89.0	—	
	達成率(%)	—	—	—	—	—	

**特記事項**  
①②施策指標は減少する目標値の為、達成率を表示しない／③改修工事による臨時休館「～令和3年4月19日」新型コロナウイルス感染症拡大防止の為の臨時休館「令和3年4月26日～令和3年5月31日(繁忙期)」／④区民参加型いきもの情報共有事業：区民からの報告件数【令和元年度～3年度実施】／⑤令和3年度よりイベント参加者に対して「自然環境やSDGsに関する行動変容に繋がった割合」を調査するアンケートを新規開始した。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	624,084	219,768	218,577	230,367	256,080
事業費	千円	538,685	126,901	125,614	137,404	170,528
特定財源	国庫支出金	千円	65	0	0	0
	都支出金	千円	76	74	96	48
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	3,597	3,084	475	1,807
一般財源	千円	534,947	123,743	125,043	135,549	169,287
人件費合計	千円	45,694	45,281	45,293	45,293	37,882
経費	千円	39,705	47,586	47,670	47,670	47,670

**フルコストの増減理由**  
R3: 「熱帯環境植物館」 工事委託費の減 (R2終了) ・機械修繕費の減 (R2実計)  
R4: 「熱帯環境植物館」 委託料の増 (光熱水費)

施策名	310600	自然環境と生物多様性の保全
-----	--------	---------------

**【前回の評価結果への対応状況】**

<b>前回の評価内容</b>		
評価用語／改善の方向性		
<b>前回の評価結果への対応状況</b>		
対応状況		

**【一次評価】所管部長による評価**

<b>[成果の分析] 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移</b>		
評価		
<b>[成果の分析] 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因</b>		
<b>[アウトカムの分析] 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か</b>		
評価		
<b>[環境変化の分析] 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）</b>		
評価		
<b>[今後の展開方針] 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか</b>		

**【外部評価】行政評価委員会による評価**

評価用語／改善の方向性	

**【二次評価】区の最終評価**

評価用語／改善の方向性	



# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

事務事業名	310600 - 001 水辺ふれあい			
担当所属	環境政策課		連絡先	3579-2593
関連所属				

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310600 自然環境と生物多様性の保全			
根拠法令要綱	環境基本法、水質汚濁防止法、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例、板橋区地下水及び湧水を保全する条例、板橋区環境基本計画2025			
計画事業番号		事業期間	昭和59年度 ~	施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 水辺に親しむ区民</p> <p>【手段】 河川の水質汚濁の状況や湧水量などの調査を実施し、結果を分かりやすく公表する</p> <p>【意図】 河川等に対して、環境保全や水質改善の意識を高める</p> <p>【成果】 快適な水辺環境の確保に努めていく</p>	<p>【現状の周辺環境】 環境政策課で実施した令和4年度の4河川（荒川、石神井川、新河岸川、白子川）の年間平均の調査結果では、水素イオン濃度、BOD（生物化学的酸素要求量）、浮遊物質、溶存酸素の生活環境保全に関する環境基準をすべて満たしていた。 また、水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定について、平成29年度から石神井川、新河岸川、白子川は東京都告示により基準が引き上げられた。</p> <p>【区民意識意向調査】 「緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている」は、令和3年度調査において『満足』が51.7%であった（令和元年度調査では47.3%）。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 活動指標	水質調査	回	12.0	12.0	12.0	12.0	—	12.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	湧水水量調査	回	12.0	12.0	12.0	12.0	—	12.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 成果指標	石神井川のBOD（75%値）	mg/L	0.9	0.8	1.0	0.9	—	0.9	1.0
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	令和7年度
④ 成果指標	白子川のBOD（75%値）	mg/L	2.7	2.8	2.6	2.7	—	2.5	2.0
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	令和7年度
⑤ 成果指標	自然・いきものさがしの報告件数	件	2,709.0	4,205.0	—	—	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—

### 特記事項

- ①②活動指標は定例業務の為、目標値を設定しない。  
 ③④成果指標は減少する目標値の為、達成率を表示しない。  
 ⑤区民参加型いきもの情報共有事業 区民からの報告件数 【令和元年度～3年度実施】

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 予算
フルコスト	千円	11,905	11,236	11,474	11,219	9,812
事業費	千円	1,935	1,356	1,592	1,337	1,577
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	1,935	1,356	1,592	1,337	1,577
人件費	千円	9,970	9,880	9,882	9,882	8,235
正職員	千円	9,970	9,880	9,882	9,882	8,235
人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2	1.0
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

### フルコストの増減理由

- 委託料の減 △16千円  
 需用費の減 △3千円

事務事業名	310600 - 001	水辺ふれあい
-------	--------------	--------

### 【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語／改善の方向性	概ね順調／工夫して継続
<p>調査の質・分析方法の改善・向上に、継続して取り組んでいく。          区民が水辺に親しみ水環境保全の意識が向上するよう、DXを更に推進し、調査結果及び河川の水質状況、湧水水量などを丁寧に分かりやすく公表していく。</p>	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
<p>各種イベントで湧水や河川に関するパネル展示やチラシ配布を行った。また、湧水できているピオトープについて、湧水及びヒキガエルの動画を作成しYou Tubeで配信したほか、季節の草花などをツイッターで紹介した。さらに、BODや湧水水量の経年変化などを環境データ集としてホームページに掲載した。分析方法の改善や必要経費の見直しについては今後も継続して行う。</p>	

### 【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	-
1. 活動指標の計画値を満したか			-
2. 成果指標の計画値を満したか			-
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		大きく寄与している	
<p>水質改善の啓発や計画的な調査は、区民の環境意識の醸成や自然環境の改善確保につながることから、中間アウトカムに大きく貢献している。</p>			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	A
1. コストは最適であるか		最適である	
2. コスト最適化への取組状況			
<p>試薬等は値上げ前に購入するなどコスト最適化への取り組みを継続して行っている。</p>			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください		工夫して継続	
2. 具体的な手段を選択してください			
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			

### 【二次評価】所管部長による評価

評価評語／改善の方向性	概ね順調／工夫して継続
<p>河川の水質状況や湧水水量の調査結果などをイベント展示やDXの推進により丁寧に分かりやすく公表して、区民の環境保全や水質改善に対する意識を高めていく。          調査や分析方法については質を維持しながら効率化に努めるなど、常に改善を図りながらコストの最適化を図る。</p>	

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310600 - 002 都市の水循環回復		
担当所属	環境政策課		連絡先 3579-2593
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310600	自然環境と生物多様性の保全	
根拠法令要綱	環境基本法、水質汚濁法、雨水の利用の促進に関する法律、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例、板橋区地下水及び湧水を保全する条例、条例施行規則、雨水貯留槽設置費補助金交付要綱、板橋区環境基本計画2025		
計画事業番号		事業期間	平成14年度 ~ 施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 雨水を浸透させる区民や有効利用する区民</p> <p>【手段】 雨水浸透ますや雨水貯留タンクの設置を助成する</p> <p>【意図】 地下水の涵養、または雨水の有効利用を推進する</p> <p>【成果】 水資源の循環の適正化に努めていく</p>	<p>【区民意識意向調査】 「緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている」は、令和元年度調査において『満足』が47.3%であった。</p> <p>【アンケート・統計調査】 令和4年1月、雨水貯留タンクについて環境政策課でアンケート調査を実施。対象者：平成30～R2年度に板橋区雨水貯留槽設置費補助金制度を利用した区民41名 回答率73% 「満足している」「概ね満足している」と回答した区民は97%と満足度は非常に高い。また「普及・推進は必要であり、補助金制度を続けるべきである」と答えた区民は90%であった。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	雨水タンク設置助成	個	16.0	16.0	20.0	16.0	—	20.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	9,389	9,297	9,557	9,291	7,878	
事業費	千円	250	241	498	232	466	
特定財源	国庫支出金	千円	65	0	0	0	
	都支出金	千円	76	74	96	48	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	109	167	402	184	378
人件費	千円	9,139	9,056	9,059	9,059	7,412	
正職員	千円	9,139	9,056	9,059	9,059	7,412	
	人員	人	1.1	1.1	1.1	0.9	
	再任用等	千円	0	0	0	0	
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
	減価償却費	千円	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	雨水タンク1個あたり	千円	586.81	464.85	477.85	580.69	393.90
フルコストの増減理由							
雨水貯留タンク設置単価の減 R4 当初予算16個 →実績16個							

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310600 - 003 自然との共生
担当所属	環境政策課
連絡先	3579-2593
関連所属	

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310600	自然環境と生物多様性の保全	
根拠法令要綱	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正に関する法律、板橋区環境基本計画2025		
計画事業番号		事業期間	平成15年度 ~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 野生鳥獣による被害を受ける区民 河川に親しむ区民 自然やいきものに関心を持つ区民</p> <p>【手段】 カラスの巣撤去及びカラス・ハクビシン等の捕獲駆除の他、河川の生物調査を実施し、結果を分かりやすく公表する 区民とともに自然やいきものを調査し公表する</p> <p>【意図】 野生鳥獣の適正数を確保し、外来生物を防除する 河川の水質浄化に対して意識の向上を図る 生物多様性の維持に対する意識を高める</p> <p>【成果】 快適な自然環境の確保に努めていく</p>	<p>【現状の周辺環境】 ハクビシンに関する相談件数が急増し、29年度よりハクビシン等被害対策事業を開始した。カラス被害の相談件数は依然として多く、野生鳥獣の被害対策に対する区民ニーズは高い。また、環境政策課が毎年実施する河川の生物種類数は維持傾向にある。 令和元年度より令和3年度の3年間、全区民を対象とした区内の自然やいきもの情報を収集する事業を実施した。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】 ハクビシン等、外来生物の侵入が自然環境だけでなく生活環境に影響を与えることが懸念されており、防除が必要となる。</p> <p>【区民意識意向調査】 「緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている」は、令和3年度調査において『満足』が51.7%であった（令和元年度調査では47.3%）。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	
① 活動指標	カラスに係る相談件数	件	112.0	102.0	100.0	96.0	—	90.0	∩
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	ハクビシンに係る相談件数	件	201.0	263.0	210.0	200.0	—	190.0	∩
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 成果指標	石神井川及び白子川の魚類種数	種	18.0	17.0	18.0	19.0	—	19.0	∩
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
④ 成果指標	石神井川及び白子川の魚類以外の水生動物種数	種	31.0	28.0	28.0	32.0	—	32.0	∩
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
⑤ 成果指標	自然・いきものさがしの報告件数	件	2,709.0	4,205.0	—	—	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—

特記事項

③④令和2年度まで2河川の生物調査を実施、令和3年度より1河川の生物調査を隔年で行う。令和4年度実施：白子川  
計画及び実績数は2河川とし、その年度に調査を行っていない河川については前年度の数値を使用し実施河川と合算する。  
⑤区民参加型いきもの情報共有事業 区民からの報告件数「令和3年度で事業終了」

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	19,820	19,789	16,832	16,704	14,535	
事業費	千円	4,866	4,970	2,009	1,881	2,182	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	662	702	0	761	668
	一般財源	千円	4,204	4,268	2,009	1,120	1,514
人件費	千円	14,954	14,819	14,823	14,823	12,353	
正職員	千円	14,954	14,819	14,823	14,823	12,353	
	人員	人	1.8	1.8	1.8	1.8	1.5
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—	

フルコストの増減理由

令和3年度で終了 カラストラップ事業  
令和3年度で終了 区民参加型いきもの情報共有事業

# 令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310600 - 004 熱帯環境植物館運営経費			
担当所属	環境政策課		連絡先	3579-2593
関連所属				

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310600	自然環境と生物多様性の保全			
根拠法令要綱	東京都板橋区立熱帯環境植物館条例				
計画事業番号	033	事業期間	平成 6年度 ~	施設種別	環境関連施設

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民等</p> <p>【手段】 植物・魚類の宝庫である東南アジアの熱帯雨林を温室等で再現し、その自然に満ちた生態系の展示・公開・企画展等関連イベントの実施等を行う</p> <p>【意図】 緑と水など自然を体験する機会を提供し、地球環境問題に対する意識啓発を行う</p> <p>【成果】 年間10万人を超える来場者に対し、自然環境保護についての知識を普及啓発し、余暇利用の増進に寄与する。 (臨時休館①改修工事による休館 ~令和3年4月19日) (臨時休館②新型コロナウイルス感染症拡大防止のため: 令和3年4月26日~令和3年5月31日)</p>	<p>【区民意識意向調査】 「緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている」は、令和3年度板橋区区民意識意向調査において『満足』が51.7%であった(令和元年度調査では47.3%)。</p> <p>【アンケート・統計調査】 令和3年度の館内アンケート調査では、施設の運営についての満足度が89.6%であり高い評価を得ている。 令和3年度より「自然環境やSDGsに関する行動変容に繋がった割合」を調査するアンケートを開始した。初年度の割合は、86.2%と高い結果であった。</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	企画展示・イベント	回	11.0	32.0	50.0	52.0	104.0	50.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	緑化相談	件	90.0	599.0	700.0	422.0	—	700.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 活動指標	ガイドツアー	人	21.0	0.0	750.0	178.0	—	750.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
④ 成果指標	入館者数	人	35,861.0	100,581.0	130,000.0	122,830.0	94.5	130,000.0	130,000.0
		達成率(%)	27.6	77.4	100.0	94.5	—	—	令和 6年度
⑤ 成果指標	自然環境に関するイベントによって意識の変化があった割合	%	0.0	86.2	87.0	88.8	102.1	89.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—

### 特記事項

令和3年度より活動指標「企画展示・イベント」の対象事業を変更(縮小)した。対象事業を「SDGsについて学ぶ場を提供する企画展等」のみに変更した。  
令和3年度よりイベント参加者に対して「自然環境やSDGsに関する行動変容に繋がった割合」を調査するアンケートを開始した。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	582,970	179,446	180,714	193,153	223,855	
事業費	千円	531,634	120,334	121,515	133,954	166,303	
特定財源							
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	2,935	2,382	475	1,046	485	
一般財源	千円	528,699	117,952	121,040	132,908	165,818	
人件費	千円	11,631	11,526	11,529	11,529	9,882	
正職員	千円	11,631	11,526	11,529	11,529	9,882	
人員	人	1.4	1.4	1.4	1.4	1.2	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	39,705	47,586	47,670	47,670	47,670	
減価償却費	千円	39,705	47,586	47,670	47,670	47,670	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	入館者1人あたり	千円	16.26	1.78	1.39	1.57	1.72

### フルコストの増減理由

12,414千円: 委託料の増(光熱水費ほか)

# 令和 5年度 施策評価表 モニタリング

<b>施策名</b>	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出				
<b>SDGs (関連性のあるGOAL)</b>	     					
<b>基本目標</b>	Ⅲ 安心・安全で快適な緑のまち					
<b>基本政策</b>	Ⅲ-1 緑と環境共生					
<b>所管部長</b>	土木部長		<b>所管課長</b>	みどりと公園課長		
<b>関連所管</b>	生涯学習課 産業振興課 くらしと観光課 まちづくり推進室 施設経営課、高島平ランドデザイン担当課、防災危機管理課、障がい者福祉課					

## 【施策基本情報】

<b>施策概要 (「基本計画2025」)</b>	<b>施策のアウトカムイメージ</b>
<p>【概要】 緑化意識の啓発と緑のまちづくりを進め、緑地の保全を図るとともに、地域ニーズにこたえる公園の整備などによって、潤いのある自然環境を創出する。</p> <p>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 関係課：公共空間における緑と水を保全し創出する。 区以外：敷地・建物の緑化と保全に努める。</p> <p>【主な取り組み】 「グリーンプラン2025」の推進、まちなみの緑の継承、公園の新設・改修、高島平緑地の環境整備など</p>	<p>都市公園法等の改正を踏まえ、緑の量的な目標だけでなく、利用者の視点に立った公園等の緑地の整備を行い、緑地の保全を図るとともに、潤いのある自然環境を創出する。また、区民の主体的な参加による緑地の維持管理を支援する仕組みの構築など、「緑の質」を向上する取り組みにシフトし、新たなニーズにも柔軟に対応しながら、誰もが楽しめ、暮らしやすく、住み続けたいまちを実現する。</p> <p>※都市公園法等の改正（平成29年6月15日施行）</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 区民意識意向調査（自然環境・公園に関する満足度）	%	—	50.4	—	?	?
		達成率 (%)	—	—	—	—	
	② 公園率	%	5.9	5.9	5.9	?	6.1
		達成率 (%)	96.7	96.7	96.7	—	令和 7年度
	③ 緑化面積（緑化指導）	m <sup>2</sup>	14,108.8	8,942.6	9,658.3	?	?
達成率 (%)		—	—	—	—		
④		達成率 (%)					
⑤		達成率 (%)					

**特記事項**  
指標②：基本計画2025の施策指標。区面積（32.22km<sup>2</sup>）に対する都市公園面積の占める割合であり、潤いのある自然環境創出のための公園面積を増加させる必要がある。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	2,609,704	2,555,582	3,217,487	3,029,078	3,287,413
事業費	千円	2,140,962	1,992,229	2,663,306	2,467,073	2,726,229
特定財源	国庫支出金	千円	489	0	0	0
	都支出金	千円	26,566	54,571	72,325	62,282
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	37,960	39,115	43,920
	その他	千円	96,087	47,379	29,652	28,753
一般財源	千円	2,017,820	1,852,319	2,522,214	2,332,118	2,591,677
人件費合計	千円	339,199	386,532	380,496	388,320	387,499
経費	千円	129,543	176,821	173,685	173,685	173,685

### フルコストの増減理由

イベント関連経費はコロナ禍で微減したものの、緊急経済対策及びPark-PFI事業の検討再開等によりフルコストは増額となった。

施策名	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出
-----	--------	--------------------

**【前回の評価結果への対応状況】**

<b>前回の評価内容</b>		
評価用語／改善の方向性		
<b>前回の評価結果への対応状況</b>		
対応状況		

**【一次評価】所管部長による評価**

<b>[成果の分析] 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移</b>		
評価		
<b>[成果の分析] 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因</b>		
<b>[アウトカムの分析] 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か</b>		
評価		
<b>[環境変化の分析] 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）</b>		
評価		
<b>[今後の展開方針] 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか</b>		

**【外部評価】行政評価委員会による評価**

評価用語／改善の方向性	

**【二次評価】区の最終評価**

評価用語／改善の方向性	



令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310700 - 001 緑と公園の推進会議運営経費			
担当所属	みどりと公園課		連絡先	3579-2525
関連所属				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出		
根拠法令要綱	板橋区緑と公園の推進会議設置要綱 板橋区緑と公園の推進会議設置要綱細目			
計画事業番号		事業期間	平成26年度 ~	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 いたばしグリーンプラン2025 (板橋区緑の基本計画)</p> <p>【手段】 学識経験者、区内の緑や公園等に関する各種ボランティアを行う団体関係者、緑のサポーター会議に所属する区民、その他区長が認めるものにより構成される「緑と公園の推進会議」を、みどり公園課が事務局となり運営する。</p> <p>【意図】 「緑と公園の推進会議」にて、いたばしグリーンプラン2025 (板橋区緑の基本計画)における計画事業の進捗状況の点検、評価を行うとともに、計画の推進方策や緑、公園等に関する課題についての提案及び助言を行うことで計画の実効性を高める。</p> <p>【成果】 年間4回会議を実施し、全78事業について進捗状況の評価と提案を受けた。</p>	<p>【アンケート・統計調査】 緑に関する区民意識調査(平成29年実施、回答数778)「住まいの周りの緑についての満足度」で満足・ほぼ満足と答えた人の割合 →35%</p> <p>【他自治体との比較】 各自治体で、同様の緑と公園に関する会議体を設けている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	緑と公園の推進会議開催回数	回	4.0	3.0	—	4.0	—	⇒	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	
② 成果指標	推進会議による進捗状況評価A及び実施済みの事業数	個	36.0	41.0	50.0	51.0	102.0	59.0	78.0
		達成率(%)	46.2	52.6	64.1	65.4		75.6	令和7年度
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							

特記事項

令和元年度より、いたばしグリーンプラン2025に示された各事業の進捗状況をA(事業を実施した)B(事業実施に向け検討をすすめた)C(実施できなかった。予定通りにいかなかった)の3指標で構成員から評価を受けるとともに、提案・助言を受けている。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	
フルコスト	千円	6,321	6,075	6,268	6,141	12,032	
事業費	千円	505	312	503	376	503	
特定財源	千円	0	0	0	0	0	
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	505	312	503	376	503	
人件費	千円	5,816	5,763	5,765	5,765	11,529	
正職員	千円	5,816	5,763	5,765	5,765	11,529	
人員	人	0.7	0.7	0.7	0.7	1.4	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	会議構成員一人あたり	千円	421.40	405	417.87	409.40	925.54

フルコストの増減理由

令和3年度の開催回数3回から令和4年度の開催回数4回への開催回数増による委員報償費歳出の増。

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310700 - 002 グリーンフェスタ		
担当所属	みどりと公園課		連絡先 3579-2533
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出	
根拠法令要綱	東京都板橋区緑化の推進に関する条例		
計画事業番号		事業期間	平成 2年度 ~ 施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民</p> <p>【手段】 美しい新緑のもとで緑に親しむイベントを実施</p> <p>【意図】 みどりを大切に作る心と行動を広く啓発し、イベント内での展示や体験型の催し物を通して、みどりや自然に親しみと関心をもってもらうことを目的とする。</p> <p>【成果】 グリーンフェスタの来場者数</p>	<p>【アンケート・統計調査】 緑に関する区民アンケート（平成29年実施、回収数778）の結果「公園でのイベントに行きたい、または既に行っている。」→31%</p> <p>区内の公園・緑地・植物園についてのモニターアンケート（令和3年実施、回答数79）の結果 みどりに触れる機会のない理由→「きっかけがない」65.3% 「気軽に参加できるイベントがあれば参加したい」90.9%</p> <p>【他自治体との比較】 各自治体で、春または秋に同様の緑化啓発イベントを開催している。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	グリーンフェスタ来場者数（単年度）	人	0.0	0.0	5,000.0	2,593.0	51.9	5,000.0	5,000.0
		達成率(%)	—	—	100.0	51.9		100.0	令和 7年度
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							

特記事項

目標値は緑の基本計画（いたばしグリーンプラン2025）を基に設定（平成30年度～令和7年度：延べ40,000人）。平成28年、29年度については年間4千人を目標値に設定している。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は中止、令和3年度は規模を縮小し動画配信のみ行った。令和4年度は通常開催した。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	5,234	6,517	6,989	6,939	9,497	
事業費	千円	249	1,577	2,048	1,998	2,085	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	21	109	480	349
	一般財源	千円	249	1,556	1,939	1,518	1,736
人件費	千円	4,985	4,940	4,941	4,941	7,412	
正職員	千円	4,985	4,940	4,941	4,941	7,412	
	人員	人	0.6	0.6	0.6	0.6	0.9
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
コスト指標	来場者10人あたり	千円	—	—	13.98	26.79	18.99

フルコストの増減理由

令和3年度はコロナ禍により縮小開催および動画配信のみ行ったが、令和4年度は通常開催したため事業費が増加した。

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

事務事業名	310700 - 003 地域緑化啓発			
担当所属	みどりと公園課		連絡先	3579-2533
関連所属				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出		
根拠法令要綱	板橋区緑化の推進に関する条例			
計画事業番号		事業期間	~	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民</p> <p>【手段】 緑に関するイベントや協働活動を実施し、緑化意識の啓発を行う。</p> <p>【意図】 区民にみどりの価値や魅力を知ってもらう。</p> <p>【成果】 2年ごとに政策企画課が実施している板橋区区民意識意向調査の結果で、公園・自然について満足・やや満足と回答した人の割合</p>	<p>【現状の周辺環境】 「緑確保の総合的な方針」の改定（令和2年7月） 都市緑地法の改正（平成29年6月、平成30年4月）</p> <p>【アンケート・統計調査】 （令和3年度調査結果） 公園・自然に関する区民満足度（2年度ごと調査） 満足・まあ満足と答えた人の割合：51.7% 不満・やや不満と答えた人の割合：10.8%</p> <p>【区民からの意見】 緑と公園の推進会議において委員から、緑の基本計画等の進捗状況や緑の課題について意見をもらっている。</p> <p>【他自治体との比較】 各自治体において、緑化啓発の取り組みを行っている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	緑のイベント・協働活動参加者数（単年度）	人	44,320.0	44,719.0	62,500.0	38,821.0	62.1	62,500.0	62,500.0 令和7年度
		達成率(%)	70.9	71.6	100.0	62.1		100.0	
② 成果指標	公園・自然に関する満足度（自然環境・公園に関する満足度）	%	—	51.7	—	—	—	?	?
		達成率(%)	—	—	—	—		—	
③									
④									
⑤									

特記事項

①②緑の基本計画 いたばしグリーンプラン2025における計画の目標数値。また、区民意識意向調査による「自然環境・公園に対する満足度調査」では平成29年43.2%、令和元年度47.3%、令和3年度51.7%と満足・やや満足と答えた人の割合が増加している。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	
フルコスト	千円	15,414	13,019	10,794	10,782	14,088	
事業費	千円	4,614	2,316	88	76	88	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	8	15	8	15
	一般財源	千円	4,614	2,308	73	68	73
人件費	千円	10,800	10,703	10,706	10,706	14,000	
正職員	千円	10,800	10,703	10,706	10,706	14,000	
人員	人	1.3	1.3	1.3	1.3	1.7	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	対象10人あたり	千円	3.48	2.91	1.73	2.78	2.25

フルコストの増減理由

コロナ禍の影響により緑のガイドツアー等の緑のイベント参加者が減少したため

事務事業名	310700 - 003 地域緑化啓発
-------	---------------------

### 【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語/改善の方向性	順調/工夫して継続
緑化推進に向けた意識啓発と、現行事務事業の相関関係を検証し、既定観念にとらわれない、合目的施策体系への再編を進める。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	検討中
現行事業の中でオンラインやSNS等の手法による創意工夫を継続して行いつつ、緑化推進の意識啓発により効果的な施策展開の内容について引き続き検討している。	

### 【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	C
1. 活動指標の計画値を満たしたか	-		
2. 成果指標の計画値を満たしたか	70%未満がある		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	コロナ禍により、緑のガイドツアー等の募集人数やイベント回数が引き続き少なかったため。		
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	B
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		寄与している	
コロナ禍でもSNSやオンライン等の手法を工夫して緑のイベント・協働活動を実施し、緑化意識の醸成に寄与した。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる		
2. コスト最適化への取組状況	ボランティアによるガイド、SNSによる告知など創意工夫を行いながら、実施している。		
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト維持/活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について	緑化意識の啓発や協働によるまちづくりの更なる推進に向けた施策展開の内容を見直し、創意工夫して実施可能な手法を検討していく。		

### 【二次評価】所管部長による評価

評価評語/改善の方向性	停滞/工夫して継続
板橋ブランドとしての赤塚植物園のあり方と緑化啓発としてのグリーンフェスタのあり方を原点に帰って再構築すると共に、ポストコロナ時代の施設運営やニーズの流れを踏まえた事業のあり方も研究する。	

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310700 - 004 民間施設緑化			
担当所属	みどりと公園課		連絡先	3579-2533
関連所属				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出		
根拠法令要綱	板橋区民間施設緑化助成要綱 板橋区緑化の推進に関する条例			
計画事業番号		事業期間	昭和54年度 ~	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区内の土地・建物の所有者又はこれらの緑化について権限を有するもの。</p> <p>【手段】 ①宅地接道部や屋上の緑化等を行う区民に対して一定の緑化助成を行う。 ②一定規模以上の建築行為等を行う事業者等に対して条例に基づく緑化を義務付ける。</p> <p>【意図】 緑化の推進を図る。ブロック塀を併せて撤去することによりブロック塀撤去費の助成も行い防災効果UPの一面も担う。</p> <p>【成果】 緑の基本計画の改訂時に行う、住まいのまわりの緑についてのアンケート結果で満足・やや満足と回答した人の割合</p>	<p>【現状の周辺環境】 平成30年6月に発生した大阪府北部地震によるブロック塀倒壊を受け、建築指導課と連携し補助制度の見直し及び強化を令和2年までに実施した。</p> <p>【アンケート・統計調査】 住まいのまわりの緑についての満足度 (平成21年度調査) 「満足・やや満足」45% 「不満・やや不満」32% (平成28年度調査) 「満足・やや満足」35% 「不満・やや不満」32%</p> <p>【他自治体との比較】 多くの自治体において同様の施策を実施</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 活動指標	緑化助成件数(接道部緑化・屋上緑化)	件	6.0	4.0	9.0	1.0	11.1	9.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	緑化面積(緑化指導)	m <sup>2</sup>	14,108.8	8,942.6	—	9,658.3	—	?	?
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 成果指標	住まいのまわりの緑の満足度	%	—	—	—	—	—	?	40.0
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	令和 6年度
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							

特記事項

緑化助成、緑化指導ともに申請によるものであるため、将来の目標値の設定はなし。(①、②)  
いたばしグリーンプラン2025の目標値(③)※H21、H28年度実績。次回はグリーンプラン2025改訂時令和6年度調査に実施する。  
H28に行った調査では、住まいのまわりの緑の満足度は35%であった。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	8,885	8,104	9,092	7,511	8,711	
事業費	千円	1,408	694	1,680	99	1,299	
国庫支出金	千円	489	0	0	0	0	
特定財源	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	919	694	1,680	99	1,299	
人件費	千円	7,477	7,410	7,412	7,412	7,412	
正職員	千円	7,477	7,410	7,412	7,412	7,412	
人員	人	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	緑化面積10m <sup>2</sup> あたり	千円	6.30	9.06	—	7.78	—

フルコストの増減理由

助成実績が減少したため

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310700 - 005 保存樹木等保護		
担当所属	みどりと公園課		連絡先 3579-2533
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出	
根拠法令要綱	板橋区緑化の推進に関する条例 板橋区保存樹木等管理助成要綱		
計画事業番号		事業期間	昭和54年度 ~ 施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 保存樹木等所有者 【手段】 保存樹木、保存樹林制度や特別緑地保全地区制度の活用 【意図】 緑地の保全を図る 【成果】 うるおいと安らぎを与える「街並みの緑」を次世代に継承	【区民意識意向調査】 「自然地の保全」に関する「満足」の割合 令和3年度⇒51.7% 【アンケート・統計調査】 最近5年間の近隣の緑の量について（緑に関する区民アンケート・平成28年度調査） 「かなり増えた・やや増えた」7%、「かなり減った・やや減った」25% 【区民からの意見】 保存樹木等の所有者から落葉の掃除等が負担であるとの意見があった。 【他自治体との比較】 多くの自治体で同様の取り組みを行っている。

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	保存樹木新規指定本数 (年間)	本	8.0	12.0	30.0	15.0	50.0	30.0	30.0
		達成率(%)	26.7	40.0	100.0	50.0		100.0	令和 7年度
② 活動指標	保存樹林面積	m <sup>2</sup>	31,173.5	30,462.5	—	30,462.5	—	⇒	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	
③ 活動指標	特別緑地保全地区指定箇所数	箇所	2.0	2.0	—	2.0	—	⇒	3.0
		達成率(%)	66.7	66.7	—	66.7		—	令和 7年度
④ 成果指標	緑被率	%	—	—	—	—	—	↗	21.0
		達成率(%)	—	—	—	—		—	令和 7年度
⑤									

特記事項

保存樹木等は各年度の4月1日現在の本数で計上している。  
④は5年に1回の調査である。(次回は令和6年度)

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	24,783	25,673	27,717	24,083	25,941	
事業費	千円	15,644	16,617	18,658	15,024	18,529	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	15,644	16,617	18,658	15,024	18,529
人件費	千円	9,139	9,056	9,059	9,059	7,412	
正職員	千円	9,139	9,056	9,059	9,059	7,412	
	人員	人	1.1	1.1	1.1	1.1	0.9
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
コスト指標	千円	14.04	15.05	15.56	14.26	14.57	

フルコストの増減理由

保存樹木等助成金申請件数の減少に伴い、補助金の支出金額が減少した

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310700 - 006 分収造林育成		
担当所属	みどりと公園課		連絡先 3579-2533
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出	
根拠法令要綱			
計画事業番号		事業期間	平成 2年度 ~ 施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 栃木県塩谷郡栗山村（現日光市）分収造林「板橋区の森」 土呂部字木ノコ峰国有林ほ2, 3, 4 小班</p> <p>【手段】 年間2, 3回板橋森林ボランティアにより、下草刈りや獣害防除作業等の活動を行う。</p> <p>【意図】 契約終了までの期間、分収造林として健全な樹木管理を進めていく。</p> <p>【成果】 不良木、枯損木が無くなり健全な分収造林が育成される。</p>	<p>【現状の周辺環境】 みどりと文化の交流協定締結をもとに、地域交流の一環として「いたばし森林塾」を実施していたが、熊の出没により平成19年度より活動を休止中としている。 分収造林により森林の有する多面的機能の発揮に資するとともに、地球温暖化による様々な影響が深刻化する中、二酸化炭素排出量実質ゼロに向けた活動に寄与している。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】 板橋区の森の整備に森林環境贈与税を活用しているが、今後さらなる用途の検討を進める。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	活動回数	回	0.0	1.0	3.0	2.0	66.7	3.0	3.0
		達成率(%)	—	33.3	100.0	66.7		100.0	令和 5年度
② 活動指標	作業面積	平米	0.0	20,000.0	65,000.0	40,500.0	62.3	65,000.0	65,000.0
		達成率(%)	—	30.8	100.0	62.3		100.0	令和 5年度
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							

特記事項

令和 4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「板橋区の森」での活動を 1 回中止した。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	5,271	6,425	6,625	5,966	4,888	
事業費	千円	286	1,485	1,684	1,025	1,594	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	286	1,485	1,684	1,025	1,594
	一般財源	千円	0	0	0	0	0
人件費	千円	4,985	4,940	4,941	4,941	3,294	
正職員	千円	4,985	4,940	4,941	4,941	3,294	
	人員	人	0.6	0.6	0.6	0.6	0.4
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
コスト指標	作業面積(100㎡)あたり	千円	—	32.13	10.19	14.73	7.52

フルコストの増減理由

令和 3年度は感染症予防のためボランティア活動回数を減らし、日光市森林組合に作業委託をしたため委託経費が増加した。令和 4年度はすべての作業をボランティアにより実施することができたため事業費が減少した。

# 令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 事務事業) モニタリング

<b>事務事業名</b>	310700 - 007 維持管理 (みどりと公園課)			<b>連絡先</b>	3579-2525
<b>担当所属</b>	みどりと公園課				
<b>関連所属</b>	土木部管理課				

## 【事務事業基本情報】

<b>基本目標</b>	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
<b>基本政策</b>	Ⅲ-1 緑と環境共生				
<b>施策</b>	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出			
<b>根拠法令要綱</b>	東京都板橋区公園条例				
<b>計画事業番号</b>	037、041	<b>事業期間</b>	～	永年	<b>施設種別</b>

## 【事業概要・環境変化】

<b>事業概要</b>	<b>環境変化・備考</b>
<p>【対象】 公園利用者</p> <p>【手段】 ①こども動物園（東板橋・徳丸ヶ原）のイベント開催や指定管理者による管理運営 ②公園を適切に管理するためなどの整備等</p> <p>【意図】 公園の適切な管理運営により、利用者の快適性・安全性を高める。</p> <p>【成果】 利用者が、快適かつ安全に公園を利用できる環境が整備された。また、指定管理者制度等による魅力ある公園づくりを推進した。</p>	<p>【区民意識意向調査】 令和3年度板橋区区民意識意向調査では、「憩える公園・緑地が整備されている」ことについて「満足」の割合が50.4%で、令和元年度の46.9%と比べ増加し、「不満」の割合は13.0%で令和元年度と比べ増減はなかった。</p> <p>【区民からの意見】 (区長への手紙) ・街に広い公園を増やしてほしい ・ボール遊びができる公園を増やしてほしい</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	公園台帳整備	か所	21.0	6.0	—	25.0	—	⇒	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 成果指標	陳情件数	件	1,543.0	594.0	—	546.0	—	↘	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 成果指標	こども動物園（本園・分園）利用者数	人	341,754.0	548,814.0	600,000.0	606,557.0	101.1	600,000.0	600,000.0
		達成率(%)	57.0	91.5	100.0	101.1	—	100.0	令和 7年度
④									
⑤									
<b>特記事項</b>									
②は令和3年度から、みどりと公園課のみの集計となった。									

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	1,844,937	380,854	291,235	280,206	384,347	
事業費	千円	1,511,686	146,294	188,355	177,326	280,643	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	536	484	653	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	36,607	37,944	42,762	39,061
	その他	千円	95,429	19,496	72	98	72
	一般財源	千円	1,416,257	89,655	149,855	133,813	241,510
人件費	千円	207,933	68,334	67,527	67,527	68,351	
正職員	千円	203,546	68,334	67,527	67,527	68,351	
	人員	人	24.5	8.3	8.2	8.2	8.3
	再任用等	千円	4,387	0	0	0	0
	人員	人	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	125,318	166,226	35,353	35,353	35,353	
減価償却費	千円	125,318	166,226	35,353	35,353	35,353	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	公園面積 100㎡あたり	千円	118.97	24.55	18.77	18.07	24.79

### フルコストの増減理由

西台公園斜面地改修及びPark-PFI検討再開等による委託料の増  
双葉町児童遊園解体工事等による工事請負費の増

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310700 - 008 維持管理 ( 南部土木サービスセンター )			
担当所属	南部土木サービスセンター		連絡先	3579-2508
関連所属				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出	
根拠法令要綱	東京都板橋区公園条例		
計画事業番号		事業期間	~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 公園等利用者 ( 南部土木サービスセンター所管区域内 )</p> <p>【手段】 公園清掃、樹木剪定及び公園施設破損箇所等の修理を実施する。</p> <p>【意図】 公園の適切な管理により、利用者の快適性・安全性を高める。</p> <p>【成果】 公園等利用者が、快適かつ安全に公園を利用できる環境が整備された。</p>	<p>【区民意識意向調査】 「緑地が保全され潤いのある、自然環境が整っている」、「憩える公園・緑地が整備されている」に約50%が『満足・まあ満足』と回答しており、増加傾向にある。</p> <p>【区民からの意見】 ( 区長への手紙、CRM ) ・ゴミが散乱しているので清掃し、気持ちよく使える公園にしてほしい。 ・公園内で喫煙している人がいるので注意してほしい。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画	目標年度
① 活動指標	公園維持補修工事	件	0.0	82.0	80.0	83.0	103.8	80.0	80.0 令和 5年度
		達成率 (%)	—	102.5	100.0	103.8		100.0	
② 活動指標	花壇づくり活動団体数	団体	0.0	49.0	—	50.0	—	—	—
		達成率 (%)	—	—	—	—		—	—
③ 成果指標	陳情件数	件	0.0	1,050.0	∞	957.0	—	∞	∞
		達成率 (%)	—	—	—	—		—	—
④									
⑤									
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	0	690,893	811,809	786,939	830,736	
事業費	千円	0	583,291	641,673	616,803	660,600	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	1,173	2,087	2,087	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	25,872	26,813	26,699	26,749
	一般財源	千円	0	556,246	612,773	588,017	631,190
人件費	千円	0	107,602	107,380	107,380	107,380	
正職員	千円	0	98,796	98,820	98,820	98,820	
	人員	人	0.0	12.0	12.0	12.0	12.0
	再任用等	千円	0	8,806	8,560	8,560	8,560
	人員	人	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	62,756	62,756	62,756	
減価償却費	千円	0	0	62,756	62,756	62,756	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—	

フルコストの増減理由

南部土木サービスセンターは、組織改正により令和3年4月に新設した。令和3年度決算と令和4年度決算において、令和4年度は公園樹木整備委託 ( R 4 経済対策事業 ) が増加したため、フルコストが増加した。

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

事務事業名	310700 - 009 維持管理 (北部土木サービスセンター)		
担当所属	北部土木サービスセンター		連絡先 5398-1251
関連所属			

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出	
根拠法令要綱	東京都板橋区公園条例		
計画事業番号		事業期間	令和 3年度 ~
			施設種別

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 公園等利用者 (北部土木サービスセンター所管区域内)</p> <p>【手段】 公園清掃、樹木剪定及び公園施設破損箇所等の修理を実施する。</p> <p>【意図】 公園の適切な管理により、利用者の快適性・安全性を高める。</p> <p>【成果】 公園利用者が、快適かつ安全に公園を利用できる環境が整備された。</p>	<p>【区民意識意向調査】 「緑地が保全され潤いのある、自然環境が整っている。」「憩える公園・緑地が整備されている。」に約50%が『満足・まあ満足』と回答しており、増加傾向にある。</p> <p>【区民からの意見】 ・公園樹木の剪定依頼 (高木剪定による日当たり改善、低木剪定による見通し改善) ・公園施設劣化に伴う危険予防のための補修工事依頼 ・公園樹木に作ったカラス等の巣撤去依頼、害虫の駆除依頼など</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画	目標年度
① 活動指標	公園維持補修工事	件	—	91.0	—	84.0	—	—	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	植栽 (実計分)	m <sup>2</sup>	—	100.0	100.0	104.0	104.0	100.0	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 活動指標	樹木の伐採・伐根 (実計分)	本	—	98.0	73.0	80.0	109.6	73.0	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—	—
④ 活動指標	花壇づくり活動団体数	団体	—	35.0	—	35.0	—	—	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—	—
⑤ 成果指標	陳情件数 (実績)	件	—	528.0	—	409.0	—	—	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—	—
特記事項									
組織改正により、北部土木サービスセンターのみの集計となった。									

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	0	744,816	843,290	826,699	861,775
事業費	千円	0	686,651	720,319	703,728	738,804
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	25,362	1,004	1,305
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	283	229	265
	一般財源	千円	0	661,006	719,086	702,158
人件費	千円	0	58,165	57,769	57,769	57,769
正職員	千円	0	43,635	43,645	43,645	43,645
	人員	人	0.0	5.3	5.3	5.3
	再任用等	千円	0	14,530	14,124	14,124
	人員	人	0.0	3.3	3.3	3.3
その他職員	千円	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	65,202	65,202	65,202
減価償却費	千円	0	0	65,202	65,202	65,202
その他	千円	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

### フルコストの増減理由

令和 3年度決算と令和 4年度決算において、令和 4年度は公園樹木整備委託 (R4 経済対策事業) が増加したため、フルコストが増加した。

事務事業名	310700 - 009 維持管理（北部土木サービスセンター）
-------	---------------------------------

### 【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語/改善の方向性	順調/工夫して継続
維持管理の標準化によるコスト削減、維持管理における民間活力の活用、協働の3つの視点から、事業実施体制の見直しに向けて、工夫し継続する。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	一部対応済
こども動物園のある徳丸ヶ原公園については、指定管理制度を令和2年6月から導入済みである。維持管理のコスト削減として、ベンチ板をプラ擬木を採用するなどの取組を行っている。	

### 【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	A
1. 活動指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上		
2. 成果指標の計画値を満たしたか	-		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	B
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		寄与している	
維持補修工事及び樹木の伐採・抜根等により、公園等の適正な維持管理、ひいては「自然環境・公園に対する満足度向上」に寄与している。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる		
2. コスト最適化への取組状況			
年間委託仕様内容について適正であるか確認を行い、コスト抑制に努めている。			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト削減/活動・成果指標の維持		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
維持管理費用の縮減や平準化を図るため、耐用年数の高い製品の仕様や製品部材の共通化、地域参加型の運営管理、民間との協力について今後さらに検討を進めていく。			

### 【二次評価】所管部長による評価

評価評語/改善の方向性	概ね順調/工夫して継続
公園等の維持管理に対する苦情・要望の多さに鑑みるに「維持管理」が順調に進んでいるとは言えない。苦情等の原因並びに対策・防止策を調査、研究すると共に、地域団体等との新しい関係づくりを進め、費用対効果の向上を図る。	

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310700 - 010 特色ある公園施設		
担当所属	南部土木サービスセンター		連絡先 03-3579-2532
関連所属	北部土木サービスセンター 土木部管理課		

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出	
根拠法令要綱	都市公園法、東京都板橋区立公園条例、東京都板橋区立公園条例施行規則		
計画事業番号		事業期間	～ 永年
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 公園施設利用者 【手段】 水車公園、日本庭園、交通公園（板橋・城北）、つり堀公園、薬師の泉、見次公園ボートの運営を行う。 【意図】 特色のある公園施設の運営を通して、公園施設利用の促進を図る。 【成果】 特色ある公園施設の利用促進	【他自治体との比較】 （特色ある公園施設の主な設置区） 舟遊場 練馬区、千代田区、江戸川区など 交通公園 練馬区、杉並区、世田谷区など つり堀公園 北区、墨田区、目黒区など

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	日本庭園（茶室）利用件数	件	397.0	526.0	—	573.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 成果指標	水車公園利用者数	人	9,374.0	12,436.0	—	12,030.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 成果指標	交通公園（板橋・城北）利用者数	人	228,679.0	284,195.0	—	245,118.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
④									
⑤									

特記事項

令和2年度は、4月8日～5月31日の期間中、特色ある公園施設の臨時休園を行った。  
（水車公園、日本庭園、交通公園（板橋・城北）、つり堀公園、薬師の泉、見次公園ボート）

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	0	59,056	60,183	60,058	63,151	
事業費	千円	0	38,473	39,595	39,470	42,563	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	1,353	1,171	1,158	1,193
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	37,120	38,424	38,312	41,370
人件費	千円	0	20,583	20,588	20,588	20,588	
正職員	千円	0	20,583	20,588	20,588	20,588	
	人員	人	0.0	2.5	2.5	2.5	2.5
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	利用者1,000人あたり	千円	0	59.06	60.18	60.06	—

フルコストの増減理由

令和2年度までは、みどり公園課所管の「こども動物園等」（310700-008）の中の事業であったが、令和3年度より土木サービスセンター所管の「特色ある公園施設」（310700-010）の事業となった。

# 令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 事務事業)

事務事業名	310700 - 011 こどもの池	
担当所属	南部土木サービスセンター	連絡先 3579-2532
関連所属	北部土木サービスセンター	

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち	
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生	
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出
根拠法令要綱	東京都板橋区立公園条例 東京都板橋区立公園条例施行規則	
計画事業番号	事業期間	施設種別 土木関連施設

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 こどもの池施設利用者</p> <p>【手段】 地域を主体とする団体と契約を締結し、夏期におけるこどもの水遊び場の運営を行う。</p> <p>【意図】 子ども達に健全な水の遊び場を提供するために、地域と共に運営を行っている。</p> <p>【成果】 地域の効果的な運営の推進と、夏期のこどもの水遊びの機会が提供される。</p>	<p>【開始時の周辺環境】 区内の利用対象年齢（2歳～12歳）の人口は、昭和52年（ピーク時）約8万人いた。</p> <p>【現状の周辺環境】 ●区内の利用対象年齢（2歳～12歳）の人口は、令和4年現在約4万4千人となっている。 ●近年の猛暑等により、熱中症予防による運営中止日が増加している。 ●こどもの人口減少のほか、こどもの遊び方の多様化により、こどもの池の利用人数が減少傾向にある。</p> <p>【他自治体との比較】 他区の水遊び施設は噴水やミストなど流れが多く、「こどもの池」に近い形態で、10箇所以上存在する区は、板橋区と足立区のみであり、ともに23区では最多である。（令和4年現在）</p>

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	こどもの池箇所数	箇所	23.0	21.0	21.0	15.0	71.4	19.0	21.0
		達成率(%)	109.5	100.0	100.0	71.4		90.5	
② 成果指標	こどもの池利用者数	人	—	—	—	13,110.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							

### 特記事項

- 令和2年度及び3年度について  
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、利用者および従事者の健康と安全を最優先するため、こどもの池の開催は中止とした。
- こどもの池箇所数について  
令和3年度までは設置箇所数としてきたが、令和4年度より運営を行った箇所数とした。

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
フルコスト	千円	0	0	25,364	25,323	35,050
事業費	千円	0	0	21,246	21,205	30,932
特定財源	千円	0	0	0	0	0
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	0	0	21,246	21,205	30,932
人件費	千円	0	0	4,118	4,118	4,118
正職員	千円	0	0	4,118	4,118	4,118
人員	人	0.0	0.0	0.5	0.5	0.5
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	こどもの池1箇所あたり 千円	0	0	1,207.81	1,688.20	1,844.74

### フルコストの増減理由

令和2年度及び3年度決算額は、こどもの池開催中止により0円である。

事務事業名	310700 - 011	こどもの池
-------	--------------	-------

### 【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語／改善の方向性	停滞／事業手法の見直し
<p>新たな利用ニーズに即した公園施設とするため、利用者・運営者の理解と参画のもと、多様な施設形態への展開を進める。また、現在の方法で継続して運営する施設については、ウイズコロナの観点に立った感染対策のもと、利用者の安全を確保した上で運営の再開をめざしていく。</p>	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
<p>令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染状況の鎮静化を受け、一定の感染防止策（入場制限等）を講じて安全を確保しながら運営を行った。</p>	

### 【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	A
1. 活動指標の計画値を満したか	全てが90%以上		
2. 成果指標の計画値を満したか	-		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	B
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		寄与している	
<p>これまで、こどもの池のあり方については検討を重ねてきており、地域のニーズや公園ごとの特色に合わせた施設として転換していく方針ではあるが、こどもの池の存在は「自然環境・公園に対する満足度向上」に寄与している。</p>			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる		
2. コスト最適化への取組状況			
<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入場制限による利用人数の抑制などで最適とはいえない結果となった。今後は、ウイズコロナの観点に立った感染対策のもと、利用者の安全を確保した上で利用しやすい事業手法を検討する。</p>			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト削減／活動・成果指標の維持		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
<p>こどもの池の施設そのものに関しては、経営革新計画に基づいた水施設の見直しを行っていく。こどもの池運営事業に関しては、夏期における子ども達の健全な水遊びの場として地域から好評を得ていることから、引き続き地元町会等の協力を得ながら運営していく。</p>			

### 【二次評価】所管部長による評価

評価評語／改善の方向性	順調／事業手法の見直し
<p>運営を継続している施設に対し、新たな展開に供する施設の方向を示す「水遊び施設の整備方針」に基づく刷新を確実に執行し、資産の有効活用と新しいニーズへの対応を実践する。</p>	

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 ) モニタリング

事務事業名	310700 - 012 赤塚植物園		
担当所属	みどり公園課		連絡先 3579-2533
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出	
根拠法令要綱	都市公園法 板橋区公園条例 板橋区緑化の推進に関する条例		
計画事業番号		事業期間	昭和56年度 ~ 施設種別 土木関連施設

【事業概要・環境変化】

<p><b>事業概要</b></p> <p>【対象】 区民</p> <p>【手段】 植物展示、講習会、自然観察会、農業体験イベントを行う。</p> <p>【意図】 来園者に自然環境を身近に感じてもらい、緑化環境・自然環境の大切さ、保全の重要性を確認し、自らの周辺の緑化等に努めてもらう機会を提供する。赤塚地域の特徴を伝え、樹林地や農の風景の保全の推進を高めるきっかけを作る。</p> <p>【成果】 来園者数や緑の相談回答件数は増加する。</p>	<p><b>環境変化・備考</b></p> <p>【現状の周辺環境】 令和2年に植物園隣接地に、主に子どもたちを対象に農業体験の場を提供する農業園が開園した。</p>
---	---

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	観察会開催回数	回	0.0	4.0	9.0	7.0	77.8	9.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	緑化講習会開催回数	回	0.0	10.0	10.0	7.0	70.0	10.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 活動指標	農業体験イベント回数	回	27.0	27.0	43.0	30.0	69.8	43.0	43.0
		達成率(%)	62.8	62.8	100.0	69.8	—	100.0	令和5年度
④ 成果指標	来園者数	人	24,715.0	80,467.0	96,000.0	72,701.0	75.7	96,000.0	96,000.0
		達成率(%)	25.7	83.8	100.0	75.7	—	100.0	令和5年度
⑤ 成果指標	緑の相談回答件数	件	708.0	705.0	—	568.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—

特記事項

令和4年度は前年度に引き続きコロナ禍の影響により、来園者数が少なかった。そのため緑の相談回答件数も減少した。緑化講習会は、講師や苗の発育状況により開催できない回があり全7回の開催となった。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	
フルコスト	千円	73,104	71,370	63,672	63,529	63,256	
事業費	千円	42,128	41,358	41,597	41,454	42,827	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	372	214	730	178	430
	一般財源	千円	41,756	41,144	40,867	41,276	42,397
人件費	千円	29,078	21,936	13,999	13,999	12,353	
正職員	千円	12,462	13,996	13,999	13,999	12,353	
	人員	人	1.5	1.7	1.7	1.7	1.5
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	16,616	7,940	0	0	0	
経費	千円	1,898	8,076	8,076	8,076	8,076	
減価償却費	千円	1,898	8,076	8,076	8,076	8,076	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	来園者10人あたり	千円	29.57	8.87	6.63	8.74	6.59

フルコストの増減理由

令和4年度も引き続き周辺道路拡幅整備工事を行った。令和4年度はそれに加え、空調設備保守点検委託を行ったため、事業費が増加している。

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

事務事業名	310700 - 013 公園・公衆便所		
担当所属	みどり公園課		連絡先 3579-2531
関連所属	南部土木サービスセンター 北部土木サービスセンター		

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出	
根拠法令要綱			
計画事業番号	035	事業期間	~
		施設種別	土木関連施設

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 公園等利用者</p> <p>【手段】 公園・公衆トイレ（229箇所）の清掃と破損箇所等の修理、更新</p> <p>【意図】 誰もが快適かつ利用しやすいトイレを目指し、清掃・修繕を遅延なく行うとともに、利用者が施設を快適かつ安全に利用できるように改修を行う。</p> <p>【成果】 全公園・公衆便所の定期的な清掃・修繕を行うとともに、ユニバーサルデザイン化したトイレに改修する。</p>	<p>【現状の周辺環境】 バリアフリー法により誰もが利用しやすい、ユニバーサルデザイン化されたトイレの設置が義務付けられている。（法第8条第1項、第2項）</p> <p>【区民からの意見】 公園・公衆トイレは、汚れ・いたずらによる使用不能等、日々様々な意見や要望がある。また、和式トイレから洋式化への改修について、区議会に対し陳情が提出、議会採択され執行機関送付を受けている。</p> <p>【他自治体との比較】 豊島区では、公民連携重点プロジェクトとして、「としまトイレプロジェクト」を展開している。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	公園公衆便所清掃委託	回	53,874.0	57,478.0	—	62,068.0	—	⇒	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	公園・公衆便所維持補修工事	件	18.0	30.0	—	17.0	—	⇒	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 活動指標	公園・公衆トイレの改修	箇所	4.0	8.0	—	5.0	—	↗	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
④ 活動指標	公園・公衆トイレの改築	箇所	—	2.0	7.0	5.0	71.4	9.0	15.0
		達成率(%)	—	13.3	46.7	33.3	—	60.0	令和 7年度
⑤									
特記事項									
④の箇所数は累計値。									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	259,349	214,918	245,926	243,484	332,399	
事業費	千円	232,680	195,933	227,158	224,716	313,631	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	21,500	27,500	68,750	58,237	60,000
	特別区債	千円	0	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	211,180	168,433	158,408	166,479	253,631
人件費	千円	24,342	16,466	16,470	16,470	16,470	
正職員	千円	24,342	16,466	16,470	16,470	16,470	
	人員	人	2.9	2.0	2.0	2.0	2.0
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	2,327	2,519	2,298	2,298	2,298	
減価償却費	千円	2,327	2,519	2,298	2,298	2,298	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	箇所数あたりの単価	千円	1,117.88	926.37	1,060.03	1,058.63	1,445.21
フルコストの増減理由							
改築箇所数の増加によるコスト増（R3）2箇所→（R4）3箇所							

事務事業名	310700 - 013 公園・公衆便所
-------	----------------------

### 【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語/改善の方向性	停滞/工夫して継続
安全性・利便性・快適性の確保は最重要課題であり、引き続き整備経費の軽減など研究・改善を進め、長寿命化の視点も含めた事業量の拡大を図る必要がある。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	検討中
「公園・公衆トイレの適正配置・改修計画」に基づくバリアフリートイレの整備を行い利便性・快適性の向上を図った。	

### 【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	C
1. 活動指標の計画値を満したか	70%未満がある		
2. 成果指標の計画値を満したか	-		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	原材料コストの高騰に伴う入札不調により2箇所を令和5年度整備へ計画変更した。		
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	B
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		寄与している	
公園・公衆トイレを快適かつ利用しやすいトイレとして日々維持管理していくことは公園利用者の利用満足度にもつながり、中間アウトカム「自然環境・公園に対する満足度向上」に寄与している。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる		
2. コスト最適化への取組状況	構造や仕様を検討し、経費の削減を探っていく。		
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト削減/活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について	適正配置も含めたトイレのあり方を検討し整備コスト、維持管理コスト削減を探っていく		

### 【二次評価】所管部長による評価

評価評語/改善の方向性	概ね順調/工夫して継続
法的制約により高水準の仕様が求められる中、整備促進に対するニーズは年々拡大しつつある。これまでの常識にとらわれることなく、新たな構造や運営を含めた一層の整備促進を図る。	

# 令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

事務事業名	310700 - 014 公園遊具			
担当所属	みどりと公園課		連絡先	3579-2531
関連所属	南部土木サービスセンター 北部土木サービスセンター			

## 【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出			
根拠法令要綱	都市公園法・板橋区公園条例				
計画事業番号	024	事業期間	平成28年度 ~	施設種別	土木関連施設

## 【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<b>【対象】</b> 公園利用者 <b>【手段】</b> 「公園遊具長寿命化計画」の推進 <b>【意図】</b> 公園遊具の老朽化対策や安全性確保のために必要な修繕・更新など整備を進める。 <b>【成果】</b> 遊具の老朽化対策、新しい安全規準に適合した遊具の整備が進み、安心・安全なサービスが提供できる。	<b>【現状の周辺環境】</b> 「遊具の安全に関する規準」に準拠した整備内容となっている。

## 【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画
①	成果指標	公園遊具長寿命化計画の推進 (更新遊具数)	基 101.0 達成率 (%) 32.7	131.0 42.4	156.0 50.5	157.0 50.8	100.6 59.5	309.0 令和 7年度
②								
③								
④								
⑤								

特記事項  
基数は累計値

## 【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	49,534	67,664	111,410	107,448	93,984	
事業費	千円	45,380	59,019	99,881	95,919	84,102	
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
特定財源	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	45,380	59,019	99,881	95,919	84,102	
人件費	千円	4,154	8,645	11,529	11,529	9,882	
正職員	千円	4,154	8,645	11,529	11,529	9,882	
人員	人	0.5	1.1	1.4	1.4	1.2	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	公園 1 か所当り	千円	1,547.94	2,255.47	4,456.40	4,297.92	—

フルコストの増減理由  
緊急経済対策による事業量の増加

事務事業名	310700 - 014	公園遊具
-------	--------------	------

**【前回の二次評価結果への対応状況】**

前回の二次評価内容		
評価評語／改善の方向性	停滞／工夫して継続	
現在、対症療法的性格の強い遊具の点検・更新について、長寿命化の視点を強化し、公園遊具全体の長期的な事業効率の向上について、利用ニーズや社会状況、対象年齢なども含めた総合的な検証・検討を進める。また、インクルーシブ遊具の導入を促進する。		
前回の二次評価結果への対応状況		
対応状況	一部対応済	
遊具更新履歴の整理を行い長寿命化計画に基づいた整備をおこなった。インクルーシブ遊具の設置については配置計画の検討が必要であるため、令和7年度策定予定の公園施設長寿命化計画で対応する。		

**【一次評価】所管課長による評価**

[活動結果や成果の分析]		達成度	A
1. 活動指標の計画値を満したか			－
2. 成果指標の計画値を満したか			全てが90%以上
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	B
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか			寄与している
「遊具の安全に関する規準」に準拠した整備を計画的に行うことで公園利用者の安全性向上を図り、中間アウトカム「自然環境・公園に対する満足度向上」に寄与している。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか			最適化に取り組んでいる
2. コスト最適化への取組状況			
更新コストが増加している中、遊具の比較検討を行いながらコストの縮減に努めた。			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください			事業手法の見直し
2. 具体的な手段を選択してください			コスト削減／活動・成果指標の維持
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
複数の遊具を比較検討しながら安全基準や安全領域を踏まえ最善の遊具を選択するなど、引き続きコストの縮減に努めていく。			

**【二次評価】所管部長による評価**

評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し
遊具に対する広場空間、こどもの相対的ニーズを確認しつつ、遊具の複合化を推進し安全性と長寿命化の一層の推進を図る。	

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

事務事業名	310700 - 015 公園灯		
担当所属	みどり公園課		連絡先 3579-2531
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出	
根拠法令要綱	都市公園法・板橋区公園条例		
計画事業番号	041	事業期間	令和元年度 ~ 令和 7年度
		施設種別	土木関連施設

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 区で管理する公園・児童遊園等の公園灯 【手段】 老朽化した公園灯を優先しながらLEDに更新する 【意図】 LEDの導入による環境問題（省エネ・水銀規制）への対応 【成果】 公園灯のLED化	

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	公園灯	基	475.0	759.0	1,334.0	1,523.0	114.2	1,564.0	1,836.0
		達成率(%)	25.9	41.3	72.7	83.0		85.2	令和 7年度
② 成果指標	経常的なCO2削減量	t	0.0	74.6	—	205.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							

特記事項

①の基数は累計値。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	173,320	227,918	516,563	463,230	171,053	
事業費	千円	158,532	191,693	481,976	428,643	158,700	
特定財源							
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	158,532	191,693	481,976	428,643	158,700	
人件費	千円	14,788	36,225	34,587	34,587	12,353	
正職員	千円	14,788	36,225	34,587	34,587	12,353	
人員	人	1.8	4.4	4.2	4.2	1.5	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	公園灯1か所当り	千円	731.31	802.53	898.37	805.62	743.71

フルコストの増減理由

緊急経済対策による事業量の増加 (R3) 284基 (R4) 764基

事務事業名	310700 - 015 公園灯
-------	------------------

**【前回の二次評価結果への対応状況】**

前回の二次評価内容	
評価評語/改善の方向性	順調/工夫して継続
環境負荷の低い運営をめざし、消費電力の抑制だけでなく、照度設定や配置など多角的な視点から検証しつつ事業執行を急ぐ。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
照度分布図による公園灯の適正な配置や公園の利用形態別の光源色の採用により公園利用者の安全性を考慮した更新をおこなった。	

**【一次評価】所管課長による評価**

[活動結果や成果の分析]		達成度	A
1. 活動指標の計画値を満たしたか	-		
2. 成果指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	B
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		寄与している	
公園灯の更新により落下、転倒事故の未然防止・省エネ性能の向上を確保することにより、中間アウトカム「自然環境・公園に対する満足度向上」に寄与している。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる		
2. コスト最適化への取組状況			
これまで灯具等の標準グレードを定め、維持管理を含めたコスト縮減を進めた。			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください			
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
事業後期で施行条件の悪い公園灯が対象となるため、確実な現地調査を実施して適正な設計を行う。			

**【二次評価】所管部長による評価**

評価評語/改善の方向性	順調/工夫して継続
省エネルギーのみならず、夜間の景観演出など環境課題に合致した機能選択を行いながら夜間照明という本来の目的を視点とした調査・設計を行う。	

令和 5年度 事務事業評価表 ( 令和 4年度 事務事業 )

事務事業名	310700 - 016 計画改修			連絡先	3579-2531
担当所属	みどりと公園課				
関連所属	施設経営課 スポーツ振興課 防災危機管理課 障がい政策課				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出			
根拠法令要綱	都市公園法・板橋区公園条例				
計画事業番号	022, 026	事業期間	平成28年度 ~	施設種別	土木関連施設

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 公園等</p> <p>【手段】 改修整備</p> <p>【意図】 防災機能の充実やバリアフリー化など地域ニーズをくみながら公園の老朽化に対応する。</p> <p>【成果】 地域ニーズを反映した公園が整備される。</p>	<p>【現状の周辺環境】 開園年度及び前回改修年度から40年経過した公園をベースに優先順位を定め、計画的に改修を進める。</p> <p>【区民からの意見】 老朽化した公園施設に対し、改修・補修要望が多く寄せられている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	公園の改修	箇所	7.0	0.0	8.0	8.0	100.0	10.0	31.0
		達成率(%)	22.6	0.0	25.8	25.8		32.3	令和 7年度
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	143,552	25,848	120,433	98,974	375,010	
事業費	千円	127,850	21,731	113,845	92,386	348,658	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	5,066	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	122,784	21,731	113,845	92,386	348,658
人件費	千円	15,702	4,117	6,588	6,588	26,352	
正職員	千円	15,702	4,117	6,588	6,588	26,352	
	人員	人	1.9	0.5	0.8	0.8	3.2
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
コスト指標	公園 1か所当り	千円	—	120,433	98,974	187,505	

フルコストの増減理由

事業量増加によるコスト増  
 改修工事 (R3) 0か所→(R4) 1か所  
 設計委託 (R3) 0か所→(R5) 2か所

事務事業名	310700 - 016 計画改修
-------	-------------------

### 【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語/改善の方向性	概ね順調/工夫して継続
老朽化など施設維持の観点だけでなく、ファシリティマネジメントの考え方に基づく整備効果にも着目しながら、板橋ブランドとなり得る公園と地域のニーズにマッチした使い勝手の良い公園のメリハリある整備手法の確立を推進する。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
徳丸公園こどもの池跡地を遊具広場に再整備することでデッドスペースの解消を行い公園施設の機能向上を図った。板橋公園は板橋ブランドの発信拠点としての公園を目指しP-PFIを前提とした公募支援業務委託を発注した。	

### 【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	B
1. 活動指標の計画値を満たしたか			
2. 成果指標の計画値を満たしたか		全てが90%以上	
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	B
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		寄与している	
緑と環境共生の根幹を成す事業である。			
地域ニーズの変化を捉えた公園の改修により、安心・安全で快適な環境整備を推進するとともに、区民の自然にふれあう機会・創出に努め、中間アウトカム「自然環境・公園に対する満足度向上」に貢献している。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか		最適化に取り組んでいる	
2. コスト最適化への取組状況			
令和4年度からの3カ年で「板橋公園基本計画策定及び公民連携事業支援業務委託」を発注してP-PFIの導入に向けた検討を行い、魅力ある公園を念頭に改修計画を進めている。			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください		工夫して継続	
2. 具体的な手段を選択してください		コスト削減/活動・成果指標の維持	
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
令和4年度に発注した「板橋公園基本計画策定及び公民連携事業支援業務委託」においてP-PFIの導入に向けた検討を行い、魅力ある公園を念頭に改修計画を行っている。			

### 【二次評価】所管部長による評価

評価評語/改善の方向性	概ね順調/工夫して継続
地域のニーズが拡大・多様化する中で、その集約の手法も前進させるべく研究を進め、整備後の満足度を高める工夫を行っていく。	

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310700 - 017 (仮称) 史跡公園整備経費 (みどりと公園課)		連絡先	3579-2531
担当所属	みどりと公園課			
関連所属	生涯学習課 施設経営課 産業振興課 産業戦略担当課長			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出			
根拠法令要綱	都市公園法・板橋区立公園条例				
計画事業番号	015	事業期間	平成28年度 ~ 令和11年度	施設種別	土木関連施設

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 (仮称) 史跡公園</p> <p>【手段】 公園の新設</p> <p>【意図】 地域振興・産業振興へつなげ、まちづくりに貢献することを念頭に置き、国指定史跡「陸軍板橋火薬製造所跡」を保存・活用する目的で、公園として整備する。</p> <p>【成果】 「板橋の歴史・文化・産業を体感し、多様な人々が憩い、語らう史跡公園」として整備される。</p>	<p>【現状の周辺環境】 10ha未満の公園は区が、それ以上の公園は都が設置・管理している。</p> <p>都市公園法等の改正が平成29年6月15日に施行された。【保育所等の社会福祉施設(通所利用)を占用対象に追加など】</p> <p>【区民からの意見】 老朽化した公園施設に対し、改修・補修要望が多く寄せられている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度			令和 5年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	(仮称) 史跡公園整備	%	—	—	—	—	—	⇒	100.0
		達成率(%)	—	—	—	—		—	令和11年度
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
フルコスト	千円	0	6,432	67,529	11,766	1,495	
事業費	千円	0	4,785	63,000	6,825	671	
特定財源							
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	0	4,785	63,000	6,825	671	
人件費	千円	0	1,647	4,529	4,941	824	
正職員	千円	0	1,647	4,529	4,941	824	
人員	人	0.0	0.2	0.6	0.6	0.1	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	公園 1 か所当り	千円	0	6,432	67,529	11,766	1,495

フルコストの増減理由

北側道路の公道化に向けた擁壁予備設計委託による事業費の増加